

新市立病院建設調査特別委員会

(会議録)

日時 令和3年7月26日(月)

10時00分～14時59分

場所 奥州市役所6階議場

1 開 会

2 挨拶

高橋政一委員長、小沢昌記市長

3 調査事項

奥州市立病院・診療所改革プランの素案について

4 その他

5 閉 会

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

出席委員 (23名)

高橋政一 委員長、小野寺満 副委員長、小野優 委員、及川春樹 委員、千葉和彦 委員、  
高橋晋 委員、高橋浩 委員、千葉康弘 委員、瀬川貞清 委員、千葉敦 委員、  
廣野富男 委員、及川佐 委員、菅原由和 委員、飯坂一也 委員、加藤清 委員、  
阿部加代子 委員、中西秀俊 委員、菅原明 委員、小野寺重 委員、藤田慶則 委員、  
今野裕文 委員、及川善男 委員、佐藤郁夫 委員 (23名)

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

欠席委員 (1名)

渡辺忠 委員

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

説明のための出席者 (11名)

|      |        |                      |
|------|--------|----------------------|
| 市長部局 | 小沢 昌記  | 市長                   |
|      | 高橋 利徳  | 福祉部長                 |
|      | 千田 嘉宏  | 福祉部長寿社会課長            |
| 医療局  | 岩村 正明  | 病院事業管理者              |
|      | 朝日田 倫明 | 経営管理部長兼新市立病院建設準備室長   |
|      | 岩渕 清彦  | 経営管理部経営管理課長          |
|      | 家子 剛   | 経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監 |
|      | 山形 直見  | 総合水沢病院事務局事務長         |
|      | 高橋 功   | まごころ病院事務局事務長         |
|      | 高橋 純   | 前沢診療所事務局事務長          |
|      | 高橋 馨   | 衣川診療所事務局事務長          |

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

傍聴者数 (23名)

なお、リモート傍聴のため7階委員会室にモニター等を設置したが、利用者なし

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

報道機関 (3名)

岩手日報、胆江日日新聞、岩手日日新聞

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

事務局職員出席者

瀬川事務局長、高橋事務局次長、千田議事調査係長

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

## 議 事

午前10時 開会

○委員長（高橋政一君） それでは、ただいまから新市立病院建設調査特別委員会を開会いたします。  
委員長の挨拶を申し上げます。

本日の調査事項につきましては、お示ししたとおり、奥州市立病院・診療所改革プランの素案についての内容というふうになります。その中身につきましては、新しく示された部分もありますが、この部分についても示されるべきではないかというような内容もあろうかというふうに思います。その部分につきましては、質問されても結構ですけれども、当局がこれまでの検討で回答できる範囲内での回答というふうになるかと思しますので、よろしくお願いいたします。

また、通常は、7階の委員会室を使用しての特別委員会を開催してきておりますけれども、今回は、傍聴の皆さんがかなり多いのではないのかというふうに想定されましたので、幹事に諮って、議場で開会をするというふうになりましたので、よろしくお願いいたします。

それでは、進めていきたいと思います。

小沢市長より挨拶をいただきます。小沢市長。

○市長（小沢昌記君） 改めて、皆さんおはようございます。

まず初めに、本来であれば、我々の予定、あるいは皆様の考え方等々からすれば、1か月ほど前に様々なものをお示しできるように準備をしたわけでございますけれども、本日、この委員会において、少し遅ればせではありますけれども、遅れた理由などを少しだけお話をさせていただきたいと思えます。

まず、奥州市立の病院・診療所改革プランを作成するに当たっては、何よりも収支の見通しをしっかりと立てることが大切であるということに第一義を考えさせていただきました。でないと、改革プランでも、予算、収支案のないものということでは、これは極めてまずいということで、それに時間を費やしてしまったということでございます。

それから、新市立病院をどのような医療機能を持って運営していくのか、それをどのようにつくり上げていけばいいのかということについて、医局内部で十分な議論をしていただいたということでもありますけれども、なかなか全体の総論としては合意を得ているわけではありますが、各論としての部分のところについて、医療を担当していただく先生、スタッフの皆さんの意見を収集しながら、一つでもより多くの実現を図るべき調整を重ねてまいったというふうなところで時間を要してしまったということについて、遅れてしまったということをおわびするとともに、ぜひご理解をいただければというふうに思うところでございます。

本日お示しいたしますのは、さきにご提出をしております資料に基づいて医療局のほうからお話をさせていただきたいというふうに思っているところでございます。私とすれば、働き方改革であるとか、あるいは周産期の医療の不足であるとか、様々な問題が山積みであるというふうな部分の中で、令和の時代に入って、これからも市立の医療局をしっかりと残し、そして市民の皆様へ安心・安全を提供できる体制を整えていかなければならないという思いでこれまでも当たってきたわけがあります。それに先立ちまして、国の考え方としても、新しい病院を造るためには、県の医療審議会等の同意を得た上で病院を建てるということをさきに言われてきたところであります。そして、その後においては、厚生労働省のほうから、この奥州金ヶ崎圏域における病院の在り方の一つの指針として、水沢病院、まごころ病院、そして県立ではあります、江刺病院というふうな部分についての集約も含めて

考えるべきであろうという大きな方向性を示されました。

続いて、そのような背景の中において、我々とすれば、今後あるべき姿はどうあればいいのかということを含めて、そして医療だけではなく介護も、強いて言えば、一人の患者さんが介護保険であったり、医療保険をご利用なさるということからすれば、これは不可分、密接に連携するというふうな形の中から、奥州医師会の先生方の全面的なご協力を得ながら、奥州金ヶ崎医療・介護の計画、その見立てについてしっかりとした提言書も作成していただき、その提言を基に、その計画を基に今回奥州市立病院・診療所の改革プランを策定するという、その順番で作業を進めてきたということをご理解いただければと思います。

本来であれば、今あるべき医療施設が、未来にわたってその場所で安定的に経営をし続けていくことが何より住民の皆さんにとっては大切なことであろうというふうに思うところではありますが、今申し上げましたような時代の変化に応じて対応していかざるを得ないというふうな部分で、さて、奥州市とすればどのような形が最も住民の皆様、市民の皆様にとってあるべき未来を示すものなのかというところを心を砕いて検討してきたところでございます。

また、一方で、新型コロナウイルスというような、我々が今まで経験したことがないような状況の中で、市立病院の果たしてきた役割というのは極めて大きいということを改めて強く感じたところがあります。一たびクラスターが起こるといふような状況になれば、多数の患者さんが発生するというか、出てきて、その患者さん方を安全に対応しながら医療を提供するといふような部分、このことは、やはり県立だけでは及ばぬ部分について、きめ細かに市立の医療機関が対応できたということは、この地域に住む皆さんにとっては大きな安心・安全のよりどころになったものというふうに考えております。

その一方で、力を果たすべき医療スタッフ、医師の皆さんの不足は極めて大きな問題であります。新しい先生方を招聘するに当たっても、やはり広くこの市における医療の在り方などを高らかにお話を申し上げながら、その方向で奥州市に任務していただく先生、勤務していただく先生を広く募集できる体制をしっかりと整えるということが何よりも大切であるということでもあります。分散して、なかなか力が発揮できないというふうな部分について、今回の案の骨子は、一つにまとめ、大きな力、あるいは効率的な医療が提供できるような体制を将来にわたって憂いなきように創出しようということでご考えたものでございます。現状のままでは、医師の不足を解消する大きな手だてもなく、そして、このまま赤字というような医療負担を繰り返すということになれば、それはそれとして、対応はいたしてまいりますけれども、やはり限界はおのずと見えてくるのではないかとこのように私としては考えているところであります。そのような諸課題を解決するためにも、やはり新しい組織の構築をしていかなければならないというふうに思っているところでございます。

今に至る部分の、私としての、実に簡単ではありますが、率直な思いをお話しさせていただきました。以後については、担当のほうから丁寧にご説明を申し上げたいと思います。皆さんのほうから様々な建設的なご意見を多数お聴かせいただきますことを心から願い、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長（高橋政一君） 本日の出席者は、小沢市長、岩村病院事業管理者のほか、次第に記載されている皆さんになります。よろしくお願いをいたします。

なお、欠席通告者は、26番渡辺忠委員であります。

それでは、次第により進めます。

2の調査事項、奥州市立病院・診療所改革プランの素案についてであります。当局からご説明をいただき、その後質疑を行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高橋政一君） 異議なしと認め、そのように進めることといたします。

当局の説明を求めます。医療局経営管理部長、朝日田部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） それでは、これから資料に基づきまして説明をさせていただくわけですが、まず最初にお断り申し上げたいと思いますが、今日の時点での資料の構成が2部になってしまっております。ちょっとまだ調整が済んでいないといえますか、体裁の問題でございまして、ちょっとそのような状態でお示ししたことについて大変申し訳なく思っておりますが、最終的には、きちんとした1部のものとして製作をしていきたいと思っておりますので、ご容赦をいただきたいと思っております。

そして、もう一つですが、3月25日時点で特別委員会にてお話をしておりました再編統合の方針、再編の方針に関しましてのキーポイントとなります統合した後の新病院の建設場所、こちらに関して、今現在、関係者との調整がまだ必要な部分がございます関係で、本日の資料にはお示しをしてございません。実は、今日の夜、そして8月に開催を予定しております市の地域医療懇話会、こちらがございまして。今晚が1回目になりますが、2回目は8月中旬を予定してございまして。できれば2回目の懇話会に間に合うように建設場所候補地等の資料も調整をさせていきたいというふうに思っておりますので、その辺についてもご了解をいただきたいと思っております。

では、これ以降、資料の説明につきましては、行政専門監及び経営管理課長より申し上げますので、よろしく願いいたします。

○委員長（高橋政一君） 家子経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） それでは、私のほうから、プラン案についてご説明をします。途中、あと、岩淵課長と交代をさせていただきます。

まず、はじめに、ということで、1ページでございましてけれども、このプラン作成の意図でございまして。

将来にわたる医療・介護体制の確立に向けた議論を進めていくために、金ケ崎町と連携をして、奥州金ケ崎地域医療介護計画を昨年の11月に策定をいたしました。これについては、議員の皆様にも説明をしておたっておりでございます。具体の機能分担及び再編については、この改革プランにおいて定めることとしたというものでございます。

一方では、令和元年9月に厚労省から再編統合の再検証が必要な病院ということで水沢病院、まごころ病院が公表されまして、検討結果の報告を求められているという状況でございます。また、市立医療機関においては、医師の数の減少などによる患者数の減に歯止めがかからず、病院経営は大変厳しい状況にございまして、施設全体の再編を含めた抜本的な経営改善が急務となっております。このままでは、近い将来、運営継続が困難になることが心配されますことから、将来にわたっても安定的な奥州市としての医療体制を構築していくために、この市立医療施設全体の再編について検討したこのプランにおいて検討し、策定をしようというものでございます。

第1章、市立医療施設をめぐる状況ということで、胆江地域の医療の現状に対する課題ということでございまして、これにつきましては、地域医療介護計画において胆江圏域の現状分析をしております、これらについては既に説明をしておりますのでございまして、それらの再掲でございまして、こ

この部分は、ですから、改めて説明をするということではなくて、省略をさせていただきたいというふうに思います。

2 ページでございます。

2 番の市立医療施設の現状と課題ということでございますが、これも、基本、この医療介護計画の考察を引用したものでございまして、説明は省略をさせていただきますが、ただ、付け加えておいたのは、5 行目、コロナ関係でございます。このように医療現場を取り巻く環境はますます厳しさを増している中、新型コロナウイルス感染症についてと、本市においても、奥州医師会の多大なご協力をいただき、一丸となって対応しているところだということを書き添えてございますし、また、あと、(1) 水沢病院のところも、コロナ対応の状況について触れてございます。4 行目、今後も引き続き感染症病床の継続及び新たな感染症患者への対応が求められているというふうに書き添えてございます。あとは、るる、それぞれの施設の部分につきましては、地域医療介護計画でも触れているのとほぼ同じ内容でございます。

それを踏まえまして、3 ページの第 2 章、市立医療施設の今後の方向性ということでございます。1 の基本的な方向性、(1) 国・県の情勢についてということでございますが、これについては、先ほど、1 ページのはじめにというところに書いたとおりの部分が重複してございますが、厚労省の公表のこと、あとは、これまで種々、様々改革プラン等に基づいて、あるいは国のプラン等に基づいて改革に取り組んできたのだけれども、経営は依然として厳しい状況であるというようなことを触れてございます。

4 ページでございます。それに基づいて、(2) 再編のための基本方針ということでございます。3 行目、「厳しい財政状況の中にあっても地域に必要な医療を守るため、各医療機関の機能分担と連携を強化し、他の病院と重複し過剰と認められる機能を見直し、地域に不足が見込まれる機能へ特化をしていくとともに、経営・財政ともに持続可能な組織体制に変えていく」というような視点を持って当たっていきこうというものでございます。そのためには、相応のダウンサイジング、縮小ですね、は避けて通れないのではないかとというふうにしてございます。

そういったような基本方針を基に、(3) 市立医療施設の再編方針ということでございます。これにつきましては、3 月の再編方針案に議員の皆様にお示ししたとおりでございまして、二重丸でございます。総合水沢病院、まごころ病院、前沢診療所を統合した新病院を建設する、令和 7 年度中の完成を目指す。なお、それまでの間は、現施設での診療を継続すると。衣川診療所については、病床については新病院へ集約をするが、外来については歯科診療所とともに維持をしていくというものでございます。

(4) 新病院の運営ビジョンとしまして、「面倒見のよい病院として、全人的医療を担う」ということで掲げているところでございます。

(5) 新病院の機能といたしましては、4 行目、特にも、水沢病院、まごころ病院及び前沢診療所がこれまで担ってきました急性期から回復期医療及び感染症への対応、地域包括医療、そして予防医学の機能等々、各施設の特徴的な取組みを新病院が引き継いでいくというものでございます。

あと、もう一つは、令和 6 年度から医師の働き方改革を具体的に進めるということになりまして、医師の負担の軽減に取り組んでいかなければならないと。現在ある診療科については維持していくことを基本としておりますけれども、この働き方改革の目線で、必要な診療科については見直しを図っていくことも考えられるという部分も触れております。

5 ページ、(6) 病床規模でございます。地域医療介護計画で示された市立医療施設の病床削減方針等を踏まえつつ、この下の表のように再編を行おうというものでございます。下から2行目、3行目の文章でございますが、要するに、過剰である急性期病床を縮小する一方で、包括ケア病床を含む回復期を拡充するなど開院当初の病床数を124床とし、その後においては、医師確保の状況を踏まえながら病床機能の充実を図っていくというふうにしてございます。

この再編案の表でございますけれども、総合水沢病院は急性期115、回復期30、感染4の149床、うち50床が今、休床をしております。まごころ病院については回復期48、前沢診療所は慢性期19でございますが、現在休床中です。衣川診療所は回復期19ということになってございまして、全部で235床と、うち69床が休床中という状況でございます。再編後においては、急性期36、回復期84、感染4、合計124ということで、トータルでは111床の減ということを想定してございます。

(7) 胆江医療圏における市立医療施設の連携方針ということですが、新病院になった後におきまして、2つの県立病院との連携、あるいは民間病院との連携、介護施設との連携等々について、このような考え方によって進めていくということと、具体的な項目として、①以下、掲げてございます。そういった項目についての取組みについて、今後具体的に詰めてまいるというふうにしてございます。①救急・急性期及び回復期の機能連携、②予防医学と健康保健活動との連携、③在宅療養支援病院の検討、次ページで、④在宅医療及び民間医療機関、介護施設との連携、⑤感染症病床の対応、⑥医療・介護関係機関職員との研修会の開催、⑦県立胆沢病院からの地域医療連携パスの推進、⑧レスパイト入院の受入れということで、レスパイト入院と申しますのは、家族の看護あるいは介護で家族が対応できないときに一時入院を受け入れるというのがレスパイト入院ということでございますが、現在、正式に行っておりませんので、そういうところを具体的に検討してまいりたいということでございます。あと、県立病院からの連携パスについても、県立病院の患者さんをきちんとカルテを引き継ぎながら胆沢病院と新病院でスムーズな入院施設への受入れ等々をしていくという意味でございます。

(8) 医師確保の取組みについてでございます。これについても従来進めてまいりまして、今後も安定的な医師確保体制の構築に引き続き取り組みますということで、現在、義務履行の状況については、ご覧のとおりでございます。

あと、(9) 番のその他でございます。新市立病院建設後の既存施設につきましては、介護福祉施設などの有効活用を検討してまいります。2つ目、建設候補地においては、通院の継続や高齢化の進展等に配慮し、公共交通の利便性を高めていくために新病院と各地域をつなぐバス、交通網の見直しや再構築を図ってまいります。

重点施策の対応でございます。これについては、地域医療介護計画におきまして、市立医療施設の再編統合に向けまして、以下8つの重点項目が示されておりましたが、それについて、新市立病院として、施設全体として対応または検討していくということにしてございます。

項目だけ申し上げますけれども、(1) 在宅医療介護連携拠点の設置、(2) 地域包括ケア病床の拡大及び在宅療養支援病院の検討、(3) 訪問看護ステーションの体制強化、(4) 病後児保育事業所の再開、(5) 妊産婦支援、子育て支援の整備、(6) 感染症病床の維持、新たな感染症等への対応を考慮した体制構築、(7) 急性期機能の機能分化による再編の検討、(8) へき地医療提供体制の維持と、これらについても、既にやっているところもありますけれども、ただ、あと、詳細を具体的にこれから医師、関係者、医師とか医療スタッフと具体的に詰めていかなければならないところも

いっぱいございますので、詰めていくということでございます。

次、説明者、交代します。

○委員長（高橋政一君） 岩渕経営管理課長。

○医療局経営管理部経営管理課長（岩渕清彦君） では、私のほうからは、8ページ以降、3の経営の健全化以降についてご説明を申し上げたいというふうに思います。

大変恐縮ではございますが、座って説明させていただきたいというふうに思いますので、ご了承いただければと思います。よろしく願いいたします。

では、8ページ、経営の健全化になります。これ以降につきましては、ちょっと冒頭、部長のほうからご説明、おわび申し上げましたとおり、ちょっと体裁がうまくいきませんでしたので、別紙という形で別冊をご用意させていただきました。別紙のほうをご覧くださいというふうに思います。

別紙のほうです。それでは、1番になります。令和元年度までの経営状況になります。令和元年度までは、この表では、実績値になってございます。なお、令和2年度につきましては、まだ決算のほうの報告、認定をいただいておりますので、こちらについては、見込みという形の数字でなっておりますことをご了承いただければというふうに思います。

それでは、総合水沢病院です。水沢病院の医業収益は、平成27年度から減少しております。入院、外来共に収益が低下していますと。給与費については、平成29年度より減少しているものの、医業収益における給与費率は、医業収益と比較して上昇傾向となっています。そのため、医業利益は、平成27年度から令和元年度までにおいて約3億円から9億円の赤字というふうになってございます。医業外収益・費用を加えた経常利益・当年度純利益は、平成27年度から平成28年度までは黒字でございましたが、平成29年度以降は赤字となりも、と書いていますが、大変申し訳ございません、これ、誤字でございます。削除願います。平成29年度以降赤字となり、同じ推移という傾向になってございます。

なお、その下の表でございます。総合水沢病院の医療機能数値目標・実績値でございます。それから、右側が経営数値目標の実績値でございます。こちらのほうは、令和元年度まで、毎年度ごとに公表したものを再掲したものでございますので、ここは割愛させていただきます。

2ページ目になります。

2ページ目のほうは、経営状況の概要です。総合水沢病院の収益的収支と資本的収支、それから一般会計の繰出金になってございます。単位を100万円で丸めてございますので、若干四捨五入の関係でずれる場所があることはご理解いただければというふうに思います。

なお、先ほど申し上げましたとおり、令和元年度まで、2019年度までの数字につきましては、決算で認定をいただいているものでございますので、詳細については割愛させていただきます。なお、2020年度につきましては、決算見込みということで、今、現時点で捉えておる数字ということになってございます。

では、続いて、3ページ目になります。

イのまごころ病院です。まごころ病院の医業収益は、入院収益より外来収益が高い傾向になってございます。平成27年度からの収益推移は、大きな変化は見られません。医業費用においても、給与費・材料費ともに大きな変化は見られていません。給与費率は、増減があるものの、約80から95%程度で推移している傾向がでございます。平成27年度から令和元年度における医業利益は赤字傾向であり、経常利益・当年度純利益も赤字を計上しておるといような状況でございます。下の表については、先ほど水沢病院のほうで説明したものと同じでございます。



4 ページ目についても、経営状況の概要で、まごころ病院、これも100万円単位で掲載してごさいます。元年度までは決算、2年度については決算見込みの数字でごさいます。

5 ページ目になります。

ウの前沢診療所です。前沢診療所は、外来診療のみ現在は行ってごさいます。医業収益は、外来収益が約80%を占めてごさいます。その他医業収益が約20%となっています。医業収益は、平成27年度から令和元年度まで増加傾向となっています。医業費用における人件費・材料費とも減少傾向というのが見られます。平成27年度に医業利益は赤字傾向となっていますが、経常利益は、平成28年度が赤字というふうな状況でごさいます。目標・実績値については、先ほどの2病院と同じということでごさいます。

6 ページ目でごさいます。経営状況の概要、前沢診療所の分でごさいます。こちら、元年度までは実績値、2年度については見込みという数値でごさいます。

では、エの衣川診療所、7 ページになります。

衣川診療所は、有床診療所として19床の入院機能を有していますと、しかし、医業収益における入院・外来の割合を見ますと、外来収益が約70%を占め、入院は約20%というふうな状況でごさいます。平成28年度より、医業収益は減少傾向となっております。医業費用における給与費は一定であり、材料費のみ減少と、こういった傾向が見られます。医業利益は、平成27年度から赤字傾向となっており、経常利益は平成29年度と令和元年度のみ赤字を計上してごさいます。目標・実績値については、他の施設と同じように、元年度までは実績値、2年度は見込みということでごさいます。

8 ページ目をご覧ください。

8 ページ目は、衣川診療所の経営状況の概要でごさいます。こちら、元年度までは実績値、2年度は見込みということでごさいます。

9 ページでごさいます。衣川歯科診療所です。

衣川歯科診療所は、外来のみの歯科診療を行っております。そのため、医業収益の約80%は外来収益が占め、医業収益は平成28年度から減少傾向というふうになってごさいます。医業費用における給与費・材料費ともに減少傾向となっております。医業利益は平成27年度から赤字傾向となっておりまして、経常利益は平成28年度と令和元年度のみ赤字というふうな状況でごさいます。

10ページでごさいます。

10ページは、衣川歯科診療所の経営状況の概要でごさいます。元年度までは実績値、2年度は決算見込みというふうな数字になってごさいます。

続いて、カになります。経営状況の概要、今度は医療局全体のものをまとめたものでごさいます。2019年度、元年度までは決算の数字でごさいます。令和2年度については、決算見込みの数字で、こちらのほうは掲載しておるものでごさいます。というのを確認いただければというふうに思います。

それでは、改革プランのほうにお戻りいただければというふうに思います。

改革プランのほうの9ページのほうになります。よろしいでしょうか。

(2)の収益確保に向けた取り組みでごさいます。先ほどご説明したとおり、経営状況についてはこういった状況でごさいます。こういったのを踏まえまして、収益確保に向けた取り組みを進めていかなければならないということで、ちょっと概要になりますが、掲載させていただいております。市立医療施設の再編に伴い、収益確保に向けた以下の取り組みを行い、健全経営の実現を図りたいというふうに考えてごさいます。

①病床利用率の向上です。現在、市立医療施設の病床利用率は各施設とも低い利用率となっております。病床利用率の向上を図るために、地域に求められる医療資源の提供を行うとともに、地域の医療施設や介護施設との連携を強化して新規入院患者数の増加を図っていききたいと。

②診療報酬制度への的確な対応でございます。ほか、省略させていただきます。

それから、③高額医療機器の共同利用です。市立医療施設のみならず、胆江圏域の県立医療施設や民間医療施設の医療連携を強化して、高額医療機器の1台当たりの稼働件数の増加を図っていききたいというふうに考えてございます。

(3)です。コスト削減に向けた取り組みになります。市立医療施設の再編に伴い、コスト削減に向けた以下の取り組みを行って、健全経営の実現を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

①人員配置の適正化です。現在、市立医療施設では、医業収益に対する給与費比率が極めて高い状況にあることから、給与と手当の状況について再点検を行いたいと考えてございます。今後、外部委託の拡大や施設基準に沿った人員配置及び新病院に向けた業務体制の見直しを図りながら、職員の再任用や新規採用及びキャリア職員の中途採用を効果的に行い、人件費の抑制を図るとともに、計画的・効率的な職員配置に努めていききたいと考えてございます。

②材料費の適正化でございます。こちら、現在も取り組んでおるものでございますが、引き続き取り組んでまいりたいというふうに思います。

③委託経費の適正化です。こちら、現在、ある程度できるものについてはまともながら業務委託を実施してございます。こちらのほうも、引き続き実施していききたいというふうに思っております。

それから、④効率的な医療機器の更新でございます。市立医療施設の再編に伴いまして、同一医療機器が重複するということがあります。更新や購入など重複した費用が必要となることから、今後、医療資源の集約化に伴って、医療機器の耐用年数とのバランスをとりながら、効率的な業務運営と経費削減に取り組んでまいりたいと考えてございます。

4番です。新病院開業までの準備等々でございます。

こちらのほうですが、市立医療施設の再編整備まである程度の期間が必要になります。こういったことから、その間、いろいろな準備を下記により進めてまいりたいというふうに考えてございます。

10ページをご覧くださいというふうに思います。

(1)新体制までのスケジュールになります。新市立病院の建設は、令和7年度の竣工、8年度の開院を目標としております。以下のスケジュールにより、今後実施してまいりたいというものです。基本構想、基本計画については3年度から4年度、今年度から来年度にかけて、以降、基本設計、実施設計を行い、令和6年度に発注で、6年度、7年度にかけて建設工事をして、8年度から開業、開院をしたいというふうに考えてございます。

それから、(2)新病院の建設候補地でございます。こちらのほうは、現在、いろいろ県と協議をさせていただいているところでございますが、先ほどご説明申し上げましたとおり、候補地選定の考え方として、2病院1診療所の統合施設という背景がございます。そういったところを勘案しながら、市内各地からの幹線道路・公共交通のアクセスがよくて必要な駐車場を十分に確保できる用地、こういったものをまず候補として考えたいというふうに思います。また、総合水沢病院とまごころ病院、前沢診療所、休床となる衣川診療所からも交通アクセスの利便性を考慮した場所ということも併せて考慮して選定をして、今現在選定しているような状況でございます。

では、(3)病院間・診療所間の連携でございます。

再編統合の円滑化に向けた取組み、今後どんどん進めていかなければいけないんですが、再編統合を円滑に推進するため、準備組織を立ち上げて、それぞれシステムであったり、医療機器の統一であったり、いろんなワーキングや研修を開催しながら進めていきたいというふうに考えてございます。

それから、（４）です。市民への情報提供と意見聴取です。ア、情報提供です。市民に対して事業の進捗状況や方向性について、適宜、市の広報やホームページ等々を利用して情報提供に努めてまいりたいというふうに考えてございます。それから、イ、意見聴取です。市民への情報提供とともに、市民からの市立医療施設等についての意見を積極的に伺うよう努めてまいりたいと考えてございます。続いて、第３章になります。

医療局市立医療施設の収支計画でございます。改革プランの着実な推進のため、数値目標を掲げるとともに、開業前及び開業後における新市立病院・診療所の収支見通しを別紙のとおり試算しましたということでございます。大変申し訳ございません、また別紙のほうに戻っていただければというふうに思います。

ページは12ページになります。まず、アでございます。総合水沢病院の数値目標及び事業収支計画、令和7年度までの数値、事業を想定してございます。こちらのほうは、昨年度の終わりから今年度、コロナの状況、コロナ感染症の対策等々でなかなか厳しい状況、数値についても厳しい状況でございます。こういったところから、今年度についてはこういったところが目標になってございます。4年度以降でございますが、ある程度ワクチン接種が進んで、人の行き来ができるようになるのであれば、4年度以降徐々に回復していくのではないかと数値の予測をしてございます。目標としては、平成30年度あるいは令和元年度の数値が目標、それぞれの医療機関がそういったところの数値目標になってございます。なお、入院診療単価、外来診療単価等につきましては、今年度、4月から6月、4月途中までなんですけど、こういったところの傾向を加味して、現在、推定ではじいているものでございます。4年度以降については、先ほど申し上げましたとおり、徐々に回復するという前提で今、積算をしてございます。

13ページの水沢病院の収支計画になります。こちらのほうも、参考までに、令和2年度の決算の見込みでございますが、こちらを載せてございます。先ほどの経営状況のところにも令和2年度の分を載せてございましたが、どちらでも比較できるように、両方載せてございます。令和3年度から令和7年度までの目標で、目標というか、収支見通しでございます。毎年度、2億円から5億円ぐらいの経常損失が出るというふうに見込んでございます。

では、めくって、14ページになります。まごころ病院です。

まごころ病院も、今年度、どの病院・診療所もそうなんですけど、コロナの感染対策等々でなかなか出歩かない、病院にもいろいろ制限がかかっているところがございまして、実績の見込み等についてもかなり厳しい数字を入れてございます。4年度以降については、状況が落ち着いて、徐々にではあるが回復するのではないかとこのことを見てございます。なお、まごころ病院につきましては、胆沢の地区の方々が利用されているのが大半です。なかなか人口減少というところがございましたので、そういったところも加味して、この患者数等々については今、数値を見込んでおるといところでございます。

15ページになります。まごころ病院の事業収支計画です。

まごころ病院も、約4,000万円から6,000万円程度の経常損失を見込んでございます。なお、7年度につきましては、統合前ということで、いろんな人的配置とか、あるいはいろんな施設の修繕等々、

そういったところを行わないといった、そういったところも考えてございますので、令和7年度については経常の利益が出ているというようなところでございます。

では、16ページになります。前沢診療所になります。

こちらのほうも、令和3年度、若干でございますが、他の施設に比べると若干いいかなというところも見受けられます。ただ、やはりこちらのほうもなかなか思ったほどの回復が見込めないんですが、こちらも大体令和7年度ぐらいで30年度、令和元年度程度の実績に戻れるような見込みをさせていただきます。ただ、訪問看護事業につきましては、令和3年度から総合水沢病院のきらりのほうに統合してございますので、そちらのほうは省いたような数字になってございます。

17ページの事業収支計画でございます。こちらのほうは、試算として大体100万円ぐらいの損失から四、五百万円ぐらいの利益を見込んでございます。といったところでございます。

では、続いて、18ページの衣川診療所でございます。

衣川診療所につきましては、そのまま残すということでございますので、それぞれ令和12年度までの数字を入れてございます。こちらのほうも、令和3年度についてはなかなか厳しい数字になるのかなというふうでございます。令和8年度以降は、病床をなくして外来のみということの数字で試算してございます。衣川につきましても、地元の患者さんが多いということで、人口減少を加味して、ちょっと外来の患者さんについてはなかなか増えないだろうというふうな数字でございます。

続いて、19ページの事業収支のほうでございます。

衣川については、大体、毎年同じような数字で推移していくのではないかというふうに思います。令和7年度あるいは令和8年度以降の病床削減以降につきましては、経費等々が削減されることによって利益が出るような、そういった収支になってございます。

続いて、20ページでございます。衣川歯科診療所になります。

衣川歯科診療所についても、令和12年度までの数値を見込んでございます。こちらについては、特段再編等々ございませんので、今の現状等を見ながら積算したもので、推定したものでございます。こちらも、人口についてはなかなか増が、減っていくような傾向がございますので、併せて外来患者を減らしているような格好でございます。

事業収支でございます。21ページになります。

こちらのほうでございます。歯科診療所につきましては、大体、利益が出るのではないかというふうに見込んでございます。若干、外来患者数の状況によっては損益も出るところの数字が出るのかなというふうに思います。

続いて、22ページでございます。

カの新市立病院の数値目標と事業収支計画になります。こちらのほうは、令和8年度以降、統合後の病院の数値でございます。こちらのほうは、総合水沢病院、まごころ病院、前沢診療所、それから衣川診療所のベッド機能を集約しておりますので、そういったところを加味した数字を目標として掲げてございます。入院患者については大体4万人前後、外来が8万人前後ぐらいというふうに、今、推定しておるものでございます。診療単価についても、4万円前後、3万8,000円から4万円前後ぐらいに落ち着くのではないかというふうに思います。外来診療単価については、1万2,000円、1万3,000円を切るぐらいの数字になるのではないかというふうには見通しを立ててございます。

23ページの収支計画でございます。

8年度以降でございます。8年度以降の経常利益については、4億円前後ぐらいの損益が出るので

すが、減価償却として4億円、5億円前後ぐらいの償却を見てございますので、実際の現金収支についてはプラスの利益が出るのではないかとこのように考えてございます。こういったところでございます。

24ページをご覧ください。

24ページは、全体の医療局としての収支でございます。医療局としては、令和、大体2億円から5億円ぐらいの毎年度の損失を見込んでございます。こういった中で、令和8年度以降統合することによって改善が見られるというふうに試算してございます。もちろん、いろんな現施設の維持費であったり、経費の削減がありますので、そういったところはプラスに働いておるとこのように考えてございます。

なお、一般会計からの繰り出しでございます。毎年度15億円程度でございます。令和7年度ぐらいまで、15億円程度の繰り出しを見込んでございますし、統合後については11億円前後ぐらいの繰り出しで何とかやっていけるのではないかとこのように考えてございます。令和5年度から令和7年度につきましては、建設がありますので、そういったところの一般会計からの出資金の増があるので、ちょっとここだけ膨らんでおるような状況でございます。

では、また戻っていただいて、改革プランの10ページになります。

第4章になります。点検・評価・公表でございます。こちらにつきましては、全プラン同様に目標に対して評価をして公表していくといったものを引き続き行っていきたいというふうに考えておるのでございますので、詳細については、ここでは割愛させていただきたいというふうに思います。

以上、ちょっと長くなって申し訳ございませんでしたが、説明になります。ありがとうございます。

○委員長（高橋政一君） 説明が終わりましたが、ここで、11時5分まで休憩をいたします。

午前10時52分 休憩

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

午前11時5分 再開

○委員長（高橋政一君） 再開いたします。

それでは、先ほど説明をいただきました奥州市立病院・診療所改革プランの素案について質疑はありませんか。13番及川佐委員。

○13番（及川 佐君） 及川佐ですが、幾つか質問、6つぐらいかな、いたします。

まず、1点目、新病院の建設候補地がはっきりいたしませんでしたが、これはまず確認したいのですが、令和3年3月25日の特別委員会においては、かなり細かく設立、新病院建設候補地ということで、選定ポイントが1、2、3、4、5、6、6つぐらい書かれてありますが、これは今回記載されませんでした。この前にお示した、例えば医療施設が少ない胆沢地域の医療環境への配慮とか、こういう項目が25日付の特別委員会で報告がございました。これは、同様に、これに基づいて選定するという事なのかどうか。

というのは、この選定場所とか地域によっては、広さ、要するに土地代とかも変わってきますので、これ出されないことには、この計画も根拠がなくなってしまうのですが、それは、3月25日を前提に改めて出すということなのか。その意味では、この計画費用も随分変わってくる可能性がある、この点について1点お伺いいたします。

続いて、資料の24ページに基づいて質問いたします。

これは、市立医療施設全体の事業収支計画、※経営管理部を含むというところの、24ページに従っ

て質問いたします。

まず、一般会計からの繰出金について。これは、一番下のほうに書いてあります。収益的収支と資本的収支が書いてございます。これを見ますと、先ほどちょっと発言があったかもしれませんが、2024年、令和6年は、合わせて、収益的収支と資本的収支を合わせて25億1,300万円、令和7年においては28億1,000万円が計画されています。従来は、15億円ほどの繰出金だったんですが、それからするとかなり多い、10億円近く、この2年間に計上されています。この理由について、どのような理由なのかお伺いいたします。

続いて、3点目に、この24ページに書いてございますけれども、ずっと帯というか、色というか、網がかかっているところがございますが、当年度純利益、これが下の、大きな囲みの下のほうに当年度純利益というのがありまして、例えば2020年には4億2,300万円の赤字、2021年、令和3年では2億3,600万円の赤字というふうになっています。最終的にこの累積が下のほうにありますので、最終的には2030年、令和12年には60億6,100万円というのが累積的な欠損金の合計になります。毎年毎年、例えば、令和7年以降も、新しい病院が建った後、令和8年からですか、相変わらず3億4,000万円、例えば令和8年ですと当期純利益が3億4,700万円、合わせると3億円から3億5,000万円、場合によっては4億円とかそういうようになるかもしれません。このようなことが、新しい病院が建ってもなぜ赤字のままできるのか。これ、本来ならば、やっぱり赤字は新病院を建てることによってせめてゼロ。というのは、繰出金を入れているわけです、15億円とか。あるいは、たまたま二十何億円ありますけれども、繰出金入れてなおかつ赤字にするということは、本来の目標値がおかしいと。本来、せめてゼロに近い状態で収支をしなければ改革にはならないと思うのですが、これについてはどのようにお考えなのか。

それから、キャッシュフローについてお伺いします。

キャッシュフローは、先ほど触れたような、2024年、すなわち令和6年の一般会計繰出金の25億円あるいは2025年、令和7年の28億円ということに関係するかどうかちょっとはつきり分かりませんが、今、大体、10億円ぐらいもキャッシュフローが、手持ち現金が9億円ぐらいだと思うんです。恐らく二、三年、例えば4億円とか3億円とかになってしまうと、二、三年で恐らく枯渇する可能性があるわけですよ。これはどのように対処するおつもりなのか、この繰出金と関係するのかどうかちょっと分かりませんが、それについてお伺いします。

それから、5点目、新病院の建設費に関してお伺いします。

この表によりますと、資本的収支、例えば2段目のところでですけども、2024年、令和6年に資本的支出、建設改良費39億5,000万円、それから2025年、令和7年、50億1,100万円の計上がされているんですが、これが建設費なのでしょう。多分そうじゃないかと思うんですが、この件についてどうなのかについてお伺いします。

それから、6点目か、5点目か、給与、医師、職員その他の方々の給与に関してお伺いします。

この24ページの給与費というのが上のほうから、医業費用の中で(1)で書かれています。例えば、2020年、令和2年においては、医業収益24億8,600万円だったんですけども、費用の中の給与が24億7,700万円ですから、ほとんど収益に対して給与費が使われてしまっていると。九十数%。だから、いただいた収益が給与のほとんどでなくなっちゃうと、こういうことなんです。これが、例えば令和3年においては、医業収益は23億3,400万円ですが、給与費は25億8,100万円ですから、持ち出していると。これは、医業収益に対してですよ、医業外は入らないとすれば、ほとんどが収入に対して給与

費を出すほうが令和3年には多いと、こう見ることもできるんです。これは、既に前から言われていて、前の文章の中でも、考えなきゃあかんという文章がありますけれども、しかし、それは具体的にどのようにするつもりなのか、2025年、令和7年までは約90%前後の医業収益に対して、賞与、給与その他、そういうことで費やされていますから、ほとんど余裕がない状態で数字は物語っています。

新病院設立開設後も、例えば2026年、令和8年では、やはり以前よりは確かに比率は高くはないんですけれども、それでも結構78%とか、80%近い状態が続くわけです。医業収益にしても、70から80%だと、実際立ち行かないんですよ。というのは、大体、類似団体は63%前後が比重なんです。それが70から80、まして今は90近いんですけれども、ほとんどそれに使われちゃったら、やっぱりどうしても赤字になるんです、それは。そういう構造そのものを変えないといけないと思うんですけれども、その計画そのものが入っていないと。具体的にどうするか。いろいろやり方はあると思うんですが、前のほうにはいろんな項目がありますけれども、具体性がないので、本当にそうなのか、本当にできるのか。本来ならば、63%ぐらいが妥当だという、総務省かな、の一覧には書いてございます。もっと低いところは55%ぐらいの給与費の比重なんですけれども、そうとはいえ、63%前後じゃないと経営はできないということなはずなんです、それに対して、根本的にどうするのかということはどうお考えになっているのか分かりませんので、説明を願います。

以上、6点か、7点か、お願いいたします。

○委員長（高橋政一君） 6点であります。家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 一番最初にご質問ございました用地選定のポイント、前にお示しした6つのポイントございましたけれども、それに沿って、今、それに沿って選定をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（高橋政一君） 岩渕経営管理課長。

○医療局経営管理部経営管理課長（岩渕清彦君） では、私のほうから、残り5点についてご説明申し上げたいというふうに思います。

まず、資料の24ページの繰入金が多いということでございます。令和6年度、7年度について、資本的収支の分の繰入れが大きくなってございます。こちらにつきましては、この年度、5年度からなんですけれども、新病院の建設を始める予定でございまして、こういったところで、医療局としては、起債を借り入れてその部分にするんですが、起債の借入れの残りの分については、一般会計からの負担金という格好で、出資金という格好で事業を組んでございます。そういった関係で、この6年度、7年度については増えておるものでございます。

それから、関連しまして、5番目にありました建設費がこの年度、6年度、7年度に資本的支出の建設改良費の部分が増えているので、これではないかということなんです、こちらについてはそのとおりでございます。

それから、3番目の純利益をゼロに近い数字にすべきではないかということで、純利益というか、経常利益ですね、これについては、ご指摘のとおり、ここについては何とか頑張ってどんどん額を圧縮していかなければならないというのはそのとおりだというふうに思います。個々の年度につきましては、先ほど若干お話し、説明させていただきましたが、減価償却費も結構な大きい数字になりますので、こういった試算上の表、貸借対照表とかそういったところの表からすると、どうしてもここ、全体の収益としては上がっていくのでございますが、利益としては損失がどうしても出ていってしま

うというような状況になってございます。これについては、今後いろいろ、もっと圧縮するように検討していかなければいけないというふうに考えてございます。

それから、4番目のキャッシュフロー、現金についてということでございます。こちらにつきましては、令和2年度の見込みでございますが、キャッシュとして、資料上は15億円程度残っていることになってございます。こういったところの出し入れをしながら、令和7年度までこの現金を何とか枯渇しないように持っていきたいというふうに考えておるところでございます。

それから、もう一つが、給与に関してということでございます。給与に関して、人件費についてもある程度積算をさせていただきました。職員数についても、いろいろ検討してございます。今後、今の状況、令和7年度までは現体制で診療していくということですので、ここについてはなかなか厳しいですが、退職をされる方々、今後ちょっと定年延長もあるんですが、そういったところを見ながら、なるべく必要最低限のところ職員を補充をしながら何とかそこまでいきたいなというふうに考えてございます。

あわせて、新病院の職員体制についても、ある程度の数値は見込んでございます。ただ、どういった、今後いろいろ細かいところ、どんどん検討して、詰めていくことになるんですが、そういったときにどういった診療科を持ってどういった診療体制をとっていくのか、そういったところによって職員の数というのは大分変動があるのかなというふうに思っております。こういったところ、職員については、やはりある程度見込みを立てるとともに、それから、人件費比率も高いですので、そういったところも加味しながら今後いろいろさらに詰めていきたいというふうには考えておるものでございます。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 及川佐委員。

○13番（及川 佐君） 今の総論、総じた話では、これから詰めていくということが多過ぎて、計画にならないんじゃないですか。計画は、やっぱり実行するために出すんであって、総論で、何とか頑張りますとか、あるいは赤字も何とか解消したいとか、希望的観測、それは結構ですけども、具体的裏づけはこういうものに出す数字じゃなきゃ困るんですよ。だから、あまり、これからどうしたいという希望じゃなくて、この数字そのものに根拠がなければ難しいということは前提と思うんです。

まず、1番目の建設候補地に関しては、これは、だって、恐らく企業に相当影響を及ぼす、例えば市有、奥州市の市の土地なのか、あるいは民間の土地なのか、こういうことによって全く変わってくる。相当な桁、広さもどうなるかによるんですけども、桁が変わってきたら、こんなの、はっきり言うと、計画そのものがとんでもない話になるかもしれないでしょう。だから、早めにこれをやらない限りは、いろいろ困難なこともあるんですけども、計画そのものが実効性が伴わないという可能性があるんで、それはやっぱり、いろんな個人情報とか様々あるかもしれないけれども、計画が立てられないじゃないですか、そこは。曖昧ですと。

先ほど、6月25日の特別委員会で6項目の確認をしましたけれども、このときの6項目、だったらここに何で載らないんですか。公式には、同じ特別委員会ですけども、選定することに関しては出しているわけで、それは変わったのかどうかも分からなかったから聞いたんですけども、継続するということなんですけれども、だったらここに記載すべきです、はっきり。選定すべき候補地の根拠。これは、もう一回ちゃんと載せるべきだと思います。

それから、一般会計から繰出金が25億円、通常10億円が25億円になる、それから、令和7年では28

億円になるという、10億円以上増えるわけですよ、2年度で。これは、ほかの事業に影響を及ぼさないのでしょうか。結構大きな金額ですよ。二十何億円とか、合わせれば53億円近い、52億円かな、53億円ぐらいの2年間で繰出金を出すわけですよ。これは、非常にほかの財政の影響を考えれば、大きな影響を及ぼすと思うんですが、これについてどのようにお考えでしょうか。

それから、3点目の、新病院開設後も相変わらず経常利益は3億円以上で続くと。この表の中の、最終的には65億6,000万円の累積の欠損金、これは、現実には言えば、いろんなやりくりをしながら、どうしても払うべき額ではないんだけど、赤字が続くとたまっていくわけです、これ。どこかでやりくりしてこれをやっているわけですけども、それでも、幾ら何でも65億6,000万円の数字が相当膨大であることは間違いないわけであって、したがって、毎年3億円以上の新病院設立後も出すということは、これはちょっと大き過ぎる。努力しますじゃ済まないですよ。だったら、数字をゼロにすべきですよ。赤字じゃなくて。そのような計画を立てるべきだと私は思いますが、いかがでしょうか。

それから、キャッシュフローは、またちょっと認識、令和3年度の予算なんかで15億円と今、おっしゃいましたか、10億円ちょっとだと思ったんですが、事実だけちょっと確認したいです。

それから、新病院の建設費は、今お話あったように、2024年、令和6年では39.5億円、それから、令和7年では50.11、50億円ですから、合わせて90億円ぐらいです。90億円ぐらいの建設費は、先ほど、最初に述べたように、広さも決まっていない、診療科も決まっていない、土地も決まっていない。それ、建設費、こういう金額で済むんですか。だったら、その辺のところ、あらかじめはっきりした上でこの金額だということなら分かるんですけども、よくそれが、前の質問と同じようなことなんです、それで済むのかなという、ちょっと分からないです。建設費も、広さによって変わりますので、診療科によって変わるので、これは計画に値しないと思うんです。この金額も。

それから、給与の問題は、医師及び看護師、准看護師、事務局、医療技術者とか、様々いますので、医師だけの問題ではないんです。総じて、年齢も高いこともあるんです。看護師さんもそうだし、医師もそうですけれども、高いということもあるので、よほど下げるか、あるいは若い方を入れて、そうじゃない方を補うような形で、ピラミッド型にするのならそれは分かりますけれども、そういうことを全く触れていないので、頑張ると言われても、ほとんどが、収益が給与費に費やされてしまって、ほかのことができないということが今の数字を見ても明らかですので、これは、もう少し根本的に見直すことが必要だと思うんですが、いかがでしょうか。

以上、簡単ですけども、再質問。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 建設候補地の部分でございますけれども、次回の懇話会ときには場所をお示しするというようにしておりましたが、その際に、委員さんからご質問あったように、その決定に至った経緯とか、あるいは考え方も含めて一緒にお示しをさせていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 岩渕経営管理課長。

○医療局経営管理部経営管理課長（岩渕清彦君） では、私のほうからご説明を申し上げたいというふうに思います。

3点ほど頂戴したかというふうに思います。

まず、先ほどもご指摘いただきました純損益の部分、経常利益ゼロにすべきではないかということだというふうに伺ったと思います。こちらにつきましては、先ほども申し上げたとおり、なかなか1回ではここでは行けないのではないかというふうにも若干思っているところです。こういったところは、いろいろ事業を見直し、あるいは医師数の見直しをしながらどんどん計画を毎年度見直していかなければいけないだろうというふうに思っておるところでございます。

それから、キャッシュフローの点についてでございます。こちら、令和2年度の決算の資料をこれから議会でお出し、お示しすることになるのかなというふうに思うんですが、現時点で、決算のキャッシュフローで見ているところでは、14億円ちょっとを今、持っているというような状況でございます。こちらが、決算議会のときに改めてお示しできるのかなというふうに思います。

それから、建設費に関してでございます。建設費、90億円程度で済むのかというようなお話だったというふうに私、捉えました。この建設費につきましては、いろいろ、今ある条件の中で算定をさせていただきました。どのぐらいの建物が必要で、どのぐらいの規模になるのかということなんですが、今のところ、124床程度のベッド数を想定してございます。こういったところから、こういったものが必要になるかというはあるんですが、概算で1病床当たりこのぐらいかかるだろうという概算の費用を見込んでおります。こちらについては、昨年度、いろんな病院等々で建設が行われておりますが、そういった資料を基に、ちょっと高めの数字ではじき直しておるものでございます。こういったところから、おおむね、事業費の中でいろいろできるのではないかとこの辺で見込んだものでございます。

それから、給与についてでございます。給与については、確かに委員おっしゃられたとおり、病院のスタッフ等々の数も入っています。今、概して言いますと、総じて言いますと、看護師さん等々、それから医療技術者さん等々の年齢層が高いのはそのとおりでございます。こういった方々、統合前後にかけて結構多くの方々が定年を迎えられることになってございます。こういった方々を再雇用とか、あるいは新しい方を新採で採用することで、この辺は若干であります、抑えられるのではないかとこの辺で見込んでございます。

なお、現時点で今、なかなかどのぐらいの、というのが難しいんですが、職員については、正職員でおおむね現体制から統合後については30人前後ぐらいを減少しなければいけないのだろうというふうに見てございます。そういったところは、定年とか、そういったもので、時間をかけてそこに持っていければなというふうに今、考えておるところでございます。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 及川佐委員。

○13番（及川 佐君） もう一つ、例えば、お金に対する影響では、非常に金額も大きいので、どうなんですかという話も聞いたつもりなのですが、どうでしょうか。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） 答弁が漏れておった部分でございますが、要は、市の財政としての影響というようなことのご質問だったかと思いますが、市のほうでの財政計画を昨年度ですか、見直した際に、この病院の関係の繰出金、こちらに関しましては、建設費用に関しても当時の考え方としてトータル100億円程度の考え方で資金繰りというのはもう想定してございました。ですので、この繰り出し、その辺を基本にいたしまして、負担割合がその考え方ということで、金額については若干動きが、その後、こちらの考えでも動いていま

すので、それに併せた形の見方をして数字として入れているということですから、現状においては、計画の中においては、見込んでいる数字の範囲内と、繰出金はそうなっているというふうに考えてございます。

○委員長（高橋政一君） 及川佐委員。

○13番（及川 佐君） 繰出金の話出ましたけれども、あと、さらに経常利益です、この件もそうなんですけれども、やはり改革プランって改革するためのプランなんですよ。これじゃ、改革、私は、改革というのは、やはり少なくとも計画上であっても3億円とか4億円のマイナス、経常利益じゃなくて、ゼロにすると。結果的にどうなるかと、もちろんありますけれども、だからこそ、新病院建てて、一般会計の繰り出しも減って、何とかなるという数字要求だったらまだそれに値するのかもしれないけれども、これ見た限りでは、規模も縮小するし、もちろん繰出金も減る、繰出金は基準がありますから当然減る、当然のことですね。だから、そういうことが、累積的に赤字が進むような体質であれば改革に値しないと私は思うんです。したがって、もう少し大胆な、例えば職員の給与も含めて、30人ぐらいという、今、ちょっとお話あって、その辺は知りませんでしたけれども、あわせて、構成を変えるわけでしょう。要するに、若い方を入れて、お年寄りの方をなるべくリタイアしていただく。これは簡単にいかないんですよ。相当な荒療治、時間かかるんですよ。どっちかしかないんです。

そういう意味で、プラン自身もはっきりしないので、特に、医師に関してもやはり同じです。やっぱり55歳ぐらいの平均年齢で、ほかのところは四十何歳台ですよ。47歳とか、平均的に。こういう構成を変えようと思うと、結構大変な年数がかかるし、ましてや、こちらが欲しいのにかかわらず、若い方来るとは限らないですよ。だから、難しいんですけれども、ただ、そういうところに手をつけずに、このまま新設後も永久に、永久とは言わないけれども、これ見る限りは、出ている限りは、赤字のまま3億円、4億円ずっと続くわけですよ。これは、どう見たってほかの仕事、ほかの仕事って、ほかのものに使いたいものが使えなくなってしまうということなんです。

だから、改革で出すんならば、もう少しその辺は現実的にするべきだと思うんですが、これは、じゃ、市長に聞いて終わらしましょう。

○委員長（高橋政一君） 小沢市長。

○市長（小沢昌記君） 今、及川委員指摘の部分については、本当に私も同様に考えるところであります。ご指摘の中で出た部分が、まさに問題なのであります。ぶら下がっている生首をすぐはねることができるかとか、指、手を挙げて、すぐお医者様や看護師の皆さんが山ほど来てくれるかというふうな部分を想定できれば、このような数字にはならないわけでありまして。約3から4ということの赤字になっていますけれども、医師数で言うと20人で予定をしていますけれども、ここを22とか23の医師数で想定を変えれば、このほとんどが収支を賄うような形にも、数字上はできるということでありましてけれども、固く見込んで、確実に今の医師数を減らさずに運営し始めていくところの中で予算を組んだということでございます。しかし、予算を組んだにしても、このような赤字では意味があるのかというご指摘については、今のご提言等々も含めて、より我々とすれば、スタッフ、特にお医者様をいかに集めるかというふうな部分についてさらに知恵を重ねていかなければならないというふうな考えているところでございます。

ただ、1つだけ言えるのは、現状何も手をつけずにというふうな形で推移させるとすれば、ただただ悪化の一途をたどるだけだというふうな部分のところからすると、何としても医師の数を増やす、あるいは経営状況をよくするというふうな部分においては、さらに経営上の計画は十分に精査する必

要はありますけれども、現状のままでは、あとはじり貧、あるいはかなり急激に坂を転げ落ちてしまうというふうな状況をまずはとどめ、そして、今、ご指摘されたような部分についてももう少し明確に答えられるよう、さらに努力をするよう医療局に申しつきたいというふうに思います。

○委員長（高橋政一君） ほかにございませんか。千葉康弘委員。

○7番（千葉康弘君） 7番千葉康弘です。2回に分けて質問させていただきます。

1点目は、改革プランの4ページの基本方針の中にありますけれども、医療機関の機能分担、連携ということで書かれていますが、現在、胆沢病院とかと話し合いをされているかと思いますが、県の医療局とはどのような形で話されているのか、また、医師会のほうとはどのような形で話されているのかについて質問いたします。

次に、別紙プランのほうなんです、別紙プラン5ページの中に、前沢診療所、衣川診療所、衣川歯科診療所の部分が出ていますが、この中に、経営数値目標、実績がこの3者については書かれていないということになりますけれども、私たちも全体を見たいと思いますので、例えば、水沢病院とかまごころ病院みたいな形の様式でこれは出していただくのがいいと思いますが、これは作っていただければと思います。医業収益とか、経営収支比率、給与費、あと材料費というのがあるわけですので、そのような形も出していただければというふうに思います。

次に、別紙の22ページなんです、医師数ということで20名を想定して新市立病院のほうを計画されています。その中で、お医者様方が全て来ていただくということで想定されていますが、例えば、令和元年、令和2年で、水沢病院でたくさんの方が退職されたという事案があります。これは、どのような形で退職されたのかについて検討されているのでしょうか。

また、皆さん全員、お医者さんに来ていただくのが一番ベストなわけですが、なかなかそういうような形にはならないのではないのかなという心配がありますが、この辺の危惧について伺います。

次に、同じく22ページですが、令和8年度からの入院診療単価、こちらが3万9,000円台で書かれております。しかし、直近の令和2年度の見込みで見ますと、水沢病院のほうは3万7,265円、また、まごころ病院ですと2万8,862円というふうに見込まれていますけれども、今回目指す新市立病院のほうは、主に120床前後の部分で、回復期、包括ケアを重点とした病院を考えられています。となりますと、当然的に入院単価が下がるのではないかと思います、この点についてはどのようにお考えになっているのかについてお伺いいたします。

次に、同じく22ページですが、外来患者の数になりますが、令和2年度の見込み、これは令和3年6月16日の特別委員会の資料ですと、外来患者さんですと12万343人を見込まれているということなんです、今回の資料、令和8年からの資料を見ますと、新市立病院の資料ですと、8万1,692円見込まれているというようなことで、約4万人の外来患者さんが少なくなっているという計画ですけれども、私たちが一番頼りにしているのが、やはり地域の方のための病院、市民のための病院、地域医療ということが一番の重点ではないかと思いますが、実際の計画は地域医療からかけ離れているというふうに見られますが、この点についてお伺いいたします。最初の質問です。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） 今、ご質問いただきました中で、1点目につきましては私のほうからお答えをさせていただきまして、その後は課長のほうから答弁をさせていただきたいと思います。

最初にお尋ねいただきました県立病院、そして医師会等々との協議はどのようにというふうなお話

でございました。これまで、まず、私どもがつくるプランの前段で地域医療介護計画というものがあるわけですが、こちらの作成の段階、段階といいますか、作成においては、まずは医師会さんも一緒に参画いただいて、その傾向を見ながら、地域ですね、医療の環境というものを見て、どのような方向が望ましいのか、どういう需要があるのかというようなことは、その時点でそういった方々と一緒に整理したというのがあります。それを踏まえてのプランという言い方がまず、今あります。ですから、大きな方向性としては、その地域医療介護計画の中にあると思っています。

細かい部分については、あまり今時点で具体的に細部の調整ができていないわけではございませんけれども、まず、病床数等に関しましては、病院院長会議というものを胆江地区の公立、民間含めての病院長さん方の協議の場というのがございますし、そこで、こういった機能でどうなのかというようなことを協議させていただいております。ただ、連携等々については、まだこれから細部を詰めなきゃいけないというところがございますし、医師会の関係でいきますと、例えば、本日の夜予定しておりますような地域医療懇話会にも医師会長さんに入らせていただいておりますし、また、公立病院の先生方にも、院長先生方にもメンバーとして入らせていただいておりますので、そういった機会を捉えて、さらにいろいろ協議をさせていただきたいというふうに思っております。

○委員長（高橋政一君） 岩渕経営管理課長。

○医療局経営管理部経営管理課長（岩渕清彦君） まず、5ページの数値のお話でございました。こちらは、前回の経営改革プランにのせておいた目標と実績を再掲したものでございます。ちょっと同じような形で、ということは可能ではございますので、ちょっと検討させていただきませんが、目標値としては定めていないので、実績値のみの数字になるかもしれません、ということをおっしゃるかじめお話しさせていただきたいというふうに思います。

それから、ちょっと飛ばしまして、診療単価についてでございます。診療単価、ご指摘のいわゆる包括の分が増えると、単価として下がるのではないかなというお話でございます。私のほうで、診療科目ごとにどのぐらいの単価になっているかというのをちょっといろいろ分析させていただきました。その中で、それぞれの科で2万7,000円台とか、ちょっとお高いと5万円台というのもあるんですが、こういったところは、今後の新しい病院において、こういった先生をちょっと迎え入れたいというところを今ちょっといろいろ検討させていただいておりますし、交渉もいろいろさせていただいております。そういったところを加味して、こういった診療単価というのを今、推計したものでございます。

それから、外来患者数がちょっと少ないのではないかなということでございます。こちらは、私の中でいろいろ検討したものでございます。今いる病院・診療所の患者さんが新しい病院にどれだけ来られるのか、来ていただけるのかといったところをちょっといろいろ加味させていただきました。なるべく、今かかっている患者さんがそのまま新しい病院に来ていただければ全然問題ないんですが、ある程度の患者さんについては違ったところ、今の段階でもそうなんですが、違ったところに行かれる方もいらっしゃるのではないかと、そういったところでちょっと若干低めの数字にしておるものでございます。こちらについては、引き続き来ていただけるようなそういった方策を検討していかなければいけないだろうというふうに感じております。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） すみません、

もう一点私のほうから。

過去の話ということだと思いますが、水沢病院のほうで、2年前あたりですか、一番医師数が減少したという時期がございました。理由は、というふうにお尋ねいただきましたが、はっきり言って理由はそれぞれにございまして、同じパターンということではないです。個人的な事情というのがほぼ全てになります。

例えば、環境的にどうなのかというようなことが問題になってお辞めになるとかという方がいれば、私どもも当然そういったところは注視しながら考えなければいけない部分なんですけど、あくまでも、最近の退職の理由ということに関しましては、個人個人の事情によるところというふうに私どもでは捉えてございます。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 千葉康弘委員。

○7番（千葉康弘君） 千葉康弘です。

ご答弁いただきましたが、最近、2年前ですか、水沢病院で大量にお医者さんが退職されたらと、各事情はあるわけですがけれども、やはり個人個人の事情、これも当然あります。ただ、それだけで済ませますと、次には新しい病院に20人ということは、なかなか考えられないのではないかなと思いますので、その辺は十分に吟味されて、今後の計画をされたほうがいいのかというふうに思います。

これは、例えば、病床利用率を見ましても、今、50%とか60%台が新しい病院では80%、90%というようなことで計画されています。なかなかこれは難しい部分がある計画じゃないかなというふうに危惧されますので、やはり最初の部分が大事ではないかなというふうに思います。その点、お伺いさせていただきます。

次に、財政的な部分が心配されていますけれども、私自身は心配しているんですが、病院の建設費、約100億円ぐらいというお話のようですが、これは、あくまでも建設なわけですし、このほかに医療機器、器具とか設備、当然かかるわけですので、それらをどのくらいにお考えになっているのかということをお伺いさせていただきます。

次に、奥州市、財政が大変だというふうに言われております。この間、令和2年2月5日の全員協議会の中でも、財政調整基金、市の貯金の部分に当たるわけですが、これが枯渇するんじゃないかと、危機があるという話をされていますが、その中でも、この建設というのは対応できるというふうに踏まれているのかどうかについて質問いたします。

再度、繰り返しになりますけれども、先ほど及川委員のほうからありましたけれども、累積欠損金、今現在23億円ぐらいになっていますが、これが年々膨れ上がったというようなことで、ここにあります令和12年度ですと65億円ぐらいになるというふうにあります。これは、病院経営とか一般会計の影響、最終的にはこれはどのような形で処理する、すぐには影響がないという話のようですが、どのような形で処理するのかについてお伺いいたします。

以上になります。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） それでは、今は、5点ほどですか、ご質問いただいた中で、私のほうから2点ほどお答えをさせていただきたいと思います。

まず、先ほどの医師退職に絡めての、医師退職が多かったということに絡めてのご質問でございま

すが、20人をキープするのは大変難しいのではないかと、逆に、ここは最低限で今、見ています。今いらっしゃる方々が残るといった想定をまず先にさせていただいて、ただ、本当は増やしたいんです。ただ、増やすための確実な手段が今のところなかなかないために、まず、人数的にはこのキープをまず最低限のラインというふうに考えて想定をしております。そういった事情でございます。

ですので、当然、今後お辞めになる方がもしいらっしゃるようなときには、当然、後任の方なり、新たな考え方を持たなきゃいけない部分も出てきます。ただ、現状においては、そういう想定は今のところしていないので、いらっしゃる方を基本というようなことでの数字になってございます。

あともう一点、市の財政の関係でございます。建設費用100億円、100億円というのは大分前に出ている数字で、財政計画でも当初そのような形で見ているという数字ではございます。計画の話というのは、あくまでも将来見通しとしてこれくらいかかるんだろうという、100億円というのが今のところありますけれども、それによって市の財政がどうなりそうかという見通しを立てたのが今ある財政計画であり財政見通しであるということになっています。ですから、その範囲で収まる分には問題ないといえますか、何とかやっつけていけるというふうな判断になるわけですが、ただ、建設費に関しては、この後もう少し内訳等もお話しさせていただきますが、若干下がるであろうというふうに見ております。ですので、また、市の財政のほうとして、一定の、先ほど言いましたように、繰り出しの関係は、一定の考え方で負担を一般会計と病院事業会計とそれぞれで持とうという考えがあった中で組んでおりますので、トータルの数字、建設費用が変われば当然それに連動して、それぞれの負担も変わってくるというふうなものでございます。

○委員長（高橋政一君） 岩渕経営管理課長。

○医療局経営管理部経営管理課長（岩渕清彦君） それでは、私のほうから、建設費100億円で、ということではございました。若干、その内訳についてお話をさせていただければというふうに思います。

私のほうで、今回、この収支計画に当たって、いろいろそれぞれの項目を検討させていただきました。建築に関しては、建築工事費で大体60億円程度、今、見込んでおります。それ以外に医療機器等々、什器とかいろんなシステムというのでも20億円程度を今、見込んでございます。そのほかに、いろいろな予備費とか、ちょっとリスク、場所によってはいろんな土壌調査等々もしなければいけない必要が出てくるのかなといったそういったリスク対策も含んで九十何億円という数字を今、積算しておるものでございます。ですので、この100億円以外にそういった医療機器とか、そういったものの経費がかかるのではないかとということではございますが、こちらについては、今の時点では含んだ数字になっておるものでございます。

それから、欠損金のお話でございます。どういった処理をするのかということではございます。欠損金、会計上どういった処理をしていかなければ、会計上の話なのであれなんですけれども、毎年度におけるこういった経常利益の部分でどんどん圧縮していかないと、会計上どんどんここだけが膨らんでいるような格好になっておるような状況でございます。ここは、佐委員さんのほうからもご指摘があったとおり、この部分をどんどん圧縮していかないと積み重なっていくだけですので、これについては、いろいろ検討して圧縮、削減できるような形をもうちょっと検討したいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 千葉康弘委員。

○7番（千葉康弘君） 最後になります。

今回、新しい病院を建設するという事で予算を組まれていますけれども、奥州市は、財政的になかなか県内でも、また類似団体と比べましても高いという部分がありますが、その中で、連結実質赤字比率が1つあります。また、公債費比率、また将来負担比率ありますが、これは、早めに全員に周知していくような形で教えていただきたいなと思いますが、これはできるわけなのですか。どうでしょうか。

○委員長（高橋政一君） 小沢市長。

○市長（小沢昌記君） まず、後段のほうのお話でありますけれども、合併15年ということで検証しておりますので、いかに数字の比率が改善されているかということについては、明らかな式をもってご開示できますので、例えば、このぐらいあった累積の借金が今これだけ減りましたよとか、何百億円と減りましたよとか、あるいは、将来負担比率が200%前後であったのが100%以下になったとか、全ての数値がこの15年で大きく改善されているということは事実でございます。これは、数字はうそをつきませんので、これは後ほどご開示させていただくと。これは、合併の検証の部分でお話しさせて、ご説明させていただけるということでご説明に代えるというか、情報開示はさせていただくと。

それから、何か100億円の話だけが独り歩きしておりますけれども、最大100億円をかける覚悟で考えたときに、これは、100億円を言ったのは大分前の話なんですけれども、いずれ、長期の財政計画にもしっかりと盛り込む必要がありますので、想定のある程度しないと計画もつけれないということで対応した一つの目安としてお出ししたものでありますので、100億円だけが独り歩きするということではありません。

例えば、そのときの部分で土地の取得価格が〇〇円だったというふうの一つ一つ足して合計100億円となったわけで、それが半分で取得できればその分だけ減るわけでありまして、また、そのときは、全ての病床数を足して200床以上の病院を建てる、250床の病院を建てるというふうな試算をしたような、ちょっとはつきりしていませんが、そんなところが、ベッド数が半減されていますから、ベッドを1つつくるのに何千万かかったとかというような一応簡単な試算があるんです。その辺の部分から、二百何十床から125床ということになれば、その分だけでも掛け算だけで大いに違ってくるということになるわけでありまして。

入れる医療機器に関しては、これは、当時よりは日進月歩でいい機械が出ておりますので、もしかすると当時よりは僅かに高い金額になるかもしれませんが、いずれ、今、病気になっても、患者様に大きく負担をかけずに検査ができるような機器、こういうふうな最新の機器を使って対応できるような病院を、ということでございます。

いずれ、今るる申し上げましたが、ご理解をいただきたいのは、100億円かかるということが約束されているものではなく、たとえかかっても100億円以内で確実に済むし、それがもしかすると半減するかもしれない。例えば、4割減とか、3割減とかというふうな形に当然なると、そうなった際でも、一応マックスで100見ていれば、奥州市が一般会計等々を含めた形の財政を大きく混乱させることなく建設できますよという最大の値であるということでございますので、ご理解をいただければと思います。

それから、累積欠損金のお話でありますけれども、これは、例えば会社を経営する場合に、ある程度の金額を立てて土地建物を取得し、そしてそれを法定の減価償却年数において毎年何%ずつ償却をしていくというのがこれはルールなんです。これは、例えば20年とか、30年とかという減価償却期間において割り算をすると、毎年何億円ずつは現金で減価償却費をためなさいというふうなものが計算上

出てくるわけでありませう。よろしいですか。その部分において、次に建てる時に必要な金額ではありませんけれども、じゃ、それを金融機関にお返しするとかというたぐいのお金ではないんですよ。ためる、計算上それを出すということは必要とされていますけれども、それを積み立てることがなければ、3億円分累積欠損ということで、それは、本来ためるべき部分がためられませんでしたね、ということになるお金であります。ですから、累積欠損金イコール借金で、それをどこぞの金融機関にお支払いするという金額ではないと。もちろん、累積欠損金が出るという経営自体は、これは褒められたものではないですけれども、そのことによって経営圧迫するというふうな類いの数字ではないと。

もちろん、経営者とすれば、そういうものが出ないように経営をしていかなければならないわけでありませうけれども、累積欠損金を消すことができる唯一の手段は、黒字を出すことなんです。ですから、黒字が出れば、自動的に帳簿上の累積欠損金は減っていくということになるわけでありませう。今は、大分内輸、内輸の数字で医師数などもかなり現実的な部分を対応して記載しておりますけれども、ここを何とか頑張って対応していくということを今考えなければならぬ。

具体的に、一番分かりやすい話をさせていただきます。現状における累積欠損金は、二十数億円ぐらいたしかあつたはずですよ。しかし、現金15億円、約15億円持っているんですよ。おかしい話じゃないかというふうに思われるでしょう、千葉さん。だって、25億円赤字なのに何で現金15億円持っているんだと。この辺のところ、経理財政上の部分でしっかりと長い時間かけてご説明すれば分かるんですよけれども、本来は累積欠損金もなく、そして内部留保の基金がきちっとあるというのが、これが望ましい経営なんですよけれども、いずれ、日々、年々の経営をしていく分においては、まだ、若干でありますけれども体力があると。しかし、それもいずれ枯渇するというので、より具体的、よりはっきりとしたものを計画として出すべきだということ、今、13番委員さんからもはっきりとそこのご提言として頂戴いたしましたので、その部分についてしっかりと努力をし、精査に耐え得る数字をお出ししたいと。すべく、医療局のほうには頑張ってもらうよう指示をいたしたいと考えております。

○委員長（高橋政一君） 岩渕経営管理課長。

○医療局経営管理部経営管理課長（岩渕清彦君） すみません、1点、ご質問に対して答弁が漏れておりましたので、その点お答えさせていただきたいと思ひます。

病床利用率が90%ぐらいという、非常に高い数字ではないかというお話でございました。こちらのほう、私どもで計算するとき、今ある病院のベッド数、それから入院されている患者さん、それから新しい病院で、こういった先生も何とか招聘したいと、そういったところを見込むと入院患者数が出るんですが、こういったところを総合的に勘案すると、90%前後ぐらいの数字になるのではないかと。数字自体がすごく大きな、90とかとなっているんですが、内容からすると、何とかここは達成というか、到達できるのではないかと。ちよつと目標を込めての数字でございませう。

以上でございませう。

○委員長（高橋政一君） あと何人の方、質問。

それでは、1時5分まで休憩をいたします。

午後0時5分 休憩

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

午後1時5分 再開

○委員長（高橋政一君） 再開します。

それでは引き続き、奥州市立病院・診療所改革プランの素案について、質疑を行います。

今野裕文委員。

○25番（今野裕文君） 25番今野です。

病院改革プランをお示しいただきました。私とすれば、前にもお話ししているとおり、まちづくりの観点からも、あるいは地域医療というのは広過ぎるんで、在宅医療という観点からいっても賛成できないなというふうに思います。

まず、私はやっぱりまちづくりという点から言えば、今日の改革プランには関係ないというお話になるんですが、まごころ病院があるところは、住所は南都田だかもしれませんが、実態とすれば供養塚と一連の地域であります。あのところから、まず幼稚園がなくなり、病院がなくなり、小学校がなくなると。そういうことになれば、これはもうまちづくりとして成り立たない。そういうふうに思います。

質問のほうですが、改革プラン全体を読ませていただきまして感じますのは、訪問診療あるいは学校医も含めて、高齢者施設との委託契約等いろいろまごころ病院は担っているわけではありますが、先ほど来議場の議論を聞いておきますと、要は収支で黒字を出さなきゃないと。経営の健全化という点でも収支の確保とコスト削減がうたわれているところでもあります。多分、運営は奥州市がやるんでしょうが、公営企業法全部適用でやるだろうというふうに思います。そうなれば、こういう議論が先行するのであれば、訪問診療はできないだろう。ましてや市立病院が学校医を担うと。そういうことが本当にできんのかやと、私は率直に思います。

訪問看護はきちんと位置づけられておりますが、新しい病院で本当に訪問診療できる体制ができるのかと。今日の説明では全く理解できない状況です。奥州金ヶ崎の医療介護計画においては、一丁目一番地に位置づけられているわけですが、どういうふうに担保しようとされているのか。一、二年はやるんだかもしれませんが、公営企業法全部適用で減価償却費の分も稼がねばないという議論がされるようであればできないだろうと私は思うんですが、どのように実施しようとしているのかお尋ねをします。読みますと、ほかの医療機関との連携があちこちに書かれていますので、実際は市立病院ではやらないんじゃないのというふうに私には読めたりしますが、最大の私の関心事はそこにありますけれども、どのように位置づけられているのかお尋ねをいたします。

あと、気になるのは、住民合意どう取るのかという点で、前は住民説明会について、一定回答があったように思いますが、今日のプランの中にはそういうくだりはないようですが、今日、懇話会にかけてしまえば、実情中身については確定すると私は考えておりますが、住民合意を取るためにどういう努力をするのか。今まで新聞報道しか出ていないわけですので、あまりにもひどいのではないかとこのように思うんですが、その点お尋ねをいたします。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） それでは、在宅医療について申し上げます。

委員さんご心配のとおりで、これまでお話をされておまして、私どもも先般、新病院における在宅医療の在り方というものについて、まごころ病院の先生、誰とは申し上げませんが、先生と水沢病院の先生と私ども入って議論をさせていただきました。ご案内のとおり、まごころ病院の在宅医療のやり方と、あと水沢病院もやっていますけれども、やり方、内容、全部違います。それらを新病院に

なったときにどのように進めていくのかというところについては、もちろんその日は結論は出ませんでした。しかし、言ったのは間違いなくやると。やらなきゃいけないということだけは一致をしておりますし、やらない理由もないと。先般の院長・所長会議においても、水沢病院の先生方もこのプランに書いてあるとおり、ぜひ必要だということは異論のないところでございました。

ですから、やることはやるということなんでございますけれども、委員ご心配のように財政の問題等も含めて、あるいはやり方が違うというか、やり方が違うところがあると。医師の考え方もそれぞれだということで、難問ではございますが、いずれそのことについては、このプランがこれと並行して、さらに具体的にどのように新病院に向けて進めていかなきゃならないのかというところについては、具体的に今後並行して詰めていかなきゃいけない。

まごころ病院においても、委員ご心配のとおり、約百四、五十人、在宅医療の患者を抱えているという中で、今後これを維持していけるのか、いけないのか。あるいはできないとなれば、どうするんだか。できるのであれば、それはいいんですけども、その辺の考え方がないと、今後の5年後の新病院開設に向けての方針が定められないと、その間どうしていいか分からないというような議論も呈されておりますので、早急に方向性を見いだしながら、まごころ病院さんあるいは水病さんにおいても、その在宅医療の進め方について、少なくともこの5年間の間、どうしていくのか。そして、5年後のその後に向けてゴールをきちんと見定めて、その間どういうふう動きをしていくのかというところを早急に整理していかなければならないというふうに思っております。

繰り返しますが、在宅医療について新病院においては、必ずやるというところについては意思確認をしております。ただ、内容については今それ以上の具体的に申し上げられないところということでございますので、これから詰めていくというところでございます。

あと、住民との意思疎通の部分でございましてけれども、このまま大きな不測の事態なくこのプランが懇話会含めて進めていくとすれば、お盆明けに住民への説明会を企画しております。そのときに住民の皆さん、各区といいますか、各地域歩いてこのプランの説明をしていただきながらやっていきたいと思っておりますし、またあと、医療局の職員の皆さんにもあした以降、このプランの内容をお示しして、ご意見等いただくようにしていくということも先般の院長・所長会議でも了解いただきましたので、そのようにして様々な方面、職員あるいは住民の皆様からも貴重なご意見をいただきながら、それを尊重しつつ、このプランをもっとさらによいものに仕上げてまいりたいというふうに思っております。よろしく申し上げます。

○委員長（高橋政一君） 25番今野裕文委員。

○25番（今野裕文君） 私は詭弁だと思います。片方で黒字を出すと言っているんですよ。出さなきゃないと。それが経営方針だと言っている。どうやってやるんですか。このプラン見れば分かるんですけども、訪問看護はやる、そういう機関を置きますよね。訪問診療できますか。訪問診療やるときは、私は基本的には全部適用の病院ではできないというふうに思っています。それから、100床規模の病院は多分できないだろうというふうに思っています。ただ、現実は今、全部適用でやっています。まごころは今48床。赤字を垂れ流せばいいという主張をするつもりはありませんけれども、そういう中で新しい病院で20人の先生を抱えて、病院経営をやっていくとなったら、訪問診療やるにはそれに見合っただけの繰入れをしなきゃできない。福祉医療という位置づけで繰入れをしないとできない。十把一絡げで11億円という話では保障されない。本当にやるんだったら、そういうこともきちんと明確にすべきだ。私はそう思います。別に新しい病院建てろと言っているのではないので、誤解のない

ようにお願いしますけれども。そういう性格なものです。それを5年後に決めるという話では承服できないし、もう既にまごころ病院は訪問診療の新規受付はやめようとしているでしょう。それがやっぱり私は現実だと思うんですね。医療介護計画からもそれていくと。実際、じゃどうするかとなれば、市立病院でないところをお願いして行っていただくしかない。そういうことじゃないですか。私はそう思います。皆さんの説明を聞いて分かりましたとはなかなか言えないですが、どういうふうに具体化されるのですか。白紙の上で今議論しているのですか。そこをお尋ねします。

あとそれから、住民説明会については、異論が出たらこの改革プランは変わるんですか。私はなかなかそう思えないんですけれども、そういう余地があるんですか。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 委員さんのご心配もごもっともだと思います。そのために先ほど言いましたように、並行して進めていくということでございます。まごころ病院さんのほうで患者を減らすとは言っていないはずですが、このままできないということになれば減らさざるを得ないとは言っていますけれども、減らすとは言っていないはずですが、減らすということにならないよう、あるいはその内容が変わるとしても、きちんと医療局の中で合意形成をして、5年後の新病院における在宅医療の在り方をきちんと市民の皆様にお示しをして、こういった内容でなりますと。どうしても赤字の分にならざるを得ない部分も含めて、やらざるを得ない場合はこういうところはどうしても赤字になります、市民の皆さんからのご理解をいただきながら進めていかざるを得ない、いかがでしょうかということもお示しを含めてやらなきゃいけないだろうというふうに思っておりますので、私どもとしてもその具体的な進め方については、いずれ鋭意並行して進めていきたいと思っておりますので、まずはご理解をお願いしたいというふうに思っております。

住民説明会等において、このプラン変わるのですかといいますか、というところでございますが、もちろん様々ご意見をいただいて修正すべきという判断になればしていくということにはなろうかと思いますが、これを取り下げるとか、やめるとかいうことは私どもは想定しておりません。

以上でございます。

○委員長（高橋政一君） 25番今野裕文委員。

○25番（今野裕文君） 時間もあれですから、1つだけ。

先ほどの答弁の中に訪問診療も入っているんですか。

今日の懇話会については、傍聴は可能なのですか、会場が明らかにされておられませんけれども。それを聞いて終わります。会場言えるのであればお聞きします。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 今日の会場は3階講堂で6時40分ということで、ただ3密を確保しながらの傍聴者入りということでございますので、100人とか、ちょっと何人まで入れるかどうかは今、傍聴の方あまりあぶれるようであればあれですが、いずれ今日の大方の今日であれば入れるのだろうというふうに思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（高橋政一君） ほかに。

19番阿部加代子委員。

○19番（阿部加代子君） 19番阿部加代子です。3点ほど確認をさせていただきたいというふうに思

います。

まず今回、市立病院の改革プランが示されたわけでありますけれども、今も住民説明の中で修正すべきところは修正をするということでございましたが、でも、水沢病院、まごころ病院、そして前沢診療所を1つにする、統合する、再編するということは変わらないということによろしいのでしょうか。お伺いをさせていただきたいというふうに思います。

それから、建設場所ということで様々ご意見出ていましたけれども、次の特別委員会には示していただけるということでよろしいでしょうか。お伺いをいたします。

それから、今回示していただきました「改革プラン(案)」ということになっておりますけれども、この「(案)」がいつ取れるのかお伺いをしたいというふうに思います。

○委員長(高橋政一君) 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監(家子 剛君) じゃ、私から申し上げます。

3つの施設の統合案ということで進めておりますが、これは私どもとしては変わるものではございません。この目標に向けて今進めているというところでございます。

あと、場所ですが、次の8月16日の昼間、特別委員会を予定されておりますが、そのときには……まだ決まっていないですか、すみません、8月16日の第2回懇話会を予定しておりますが、そのときに場所をはっきりお示しする予定でございます。併せてそのときに特別委員会も開催をしていただければ幸いです。取り計らいをよろしくお願ひしたいと思います。

あと、最後のこの「(案)」がいつなくなるのかということでございますが、地域医療懇話会が一応8月の末に3回目を予定しております、それは一応まとめを予定しております。大きな混乱がないのであれば、そのまとめをして、懇話会において了承をいただくというような予定しております。それで、それをもって9月の県の地域医療連携会議において説明をして、県の皆様あるいは病院長の皆様あるいは関係団体の皆様、各首長の皆様に了解をいただければ、それでもって、後はその後にパブリックコメントをしまして、そして市長決裁をもって、このプラン(案)を確定していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長(高橋政一君) 小沢市長。

○市長(小沢昌記君) まず、「(案)」が取れるというふうな分については、丁寧に住民説明もしなければならぬということ、それから、案のままで9月に開催予定のこの地域医療連携会議に「(案)」をつけたままでご提案を申し上げ、ご異論がなければ、最終的にその内容で病院を建てるということになると、以前と違って非常にハードルが高うございまして、最終的には県の許可を得るというふうな形、分かりやすく言えば岩手県の医療審議会の中で諮っていただいて、この案でよかろうということが決着して初めて「(案)」が取れるということでもあります。いずれ我々が建てたい、あるいは住民の皆さんのご要望も聞きながら調整すべきは調整をして、案にしたとしても最終的には岩手県、イコールこれは国になるわけでありますけれども、国がお認めをいただける内容であるか。その内容のポイントが極めて重要であるわけでありますけれども、今回、医師会の皆様等々関係する方々に十分にご理解をいただきながら、ご協力をいただき作成をした奥州金ヶ崎地域医療介護計画というふうな分のところは、恐らくその骨子は県の医療審議会においてもおおむね合意をいただける内容であるというふうに確信はしておりますので、ここのところを著しく離脱するようなことであると、我々として、「(案)」取って、これが成案ですと言ってもお認めをいただけるかどうかというふうな分のと

ころは極めて難しい状況になるのではないかということから、先ほど担当が申し上げましたとおり、骨子、その背骨になる部分のところは大きく変わるということはないのではないかというふうに考えているところであります。

また、今晚開催していただきます医療懇話会については、合計3回を用意しております。25番委員からご質問ありましたとおり、傍聴は可能ですし、場所の部分も秘匿していたというわけではなく、たまたま丁寧な説明に欠けていたということでありますけれども、今日6時40分から本庁舎3階の講堂で行うということですので、ご関心がある皆様はぜひ傍聴をいただければと。2回目、3回目についても開示して行うということを進めてまいりたいというふうに考えているものであります。でき得れば2回目の部分のところで、先ほど13番委員からご指摘がありました6つの項目、書いていないけれども、その項目の物差しが変わるということで書かなかったのかというふうなご質問ありましたが、決してそうではないので、そのめがねにというか、物差しに合う部分で検討した上で内容的にこれだというふうな分が結論が導き出されれば、そのときにはご提示を申し上げたいというふうなこととして考えておりますが、いかんせん最終的には一番具体的な場所というのが賛否を問う部分の最も重要なポイントになるわけですので、どのようにご説明をして、どのように客観性があったにしても、ええ、というふうなことになるとうとうと、また大幅にその新しい場所を選定するというふうな部分の作業も大きく時間がかかるということも十分に予測されますので、ここは慎重にかなければならないと思っておりますが、結論的に申し上げますと、13番委員がお話しされた部分に尽きるような気がします。建てる場所、建てる面積、建てる内容が分からなくて、経営計画立てられるんですかというふうな分がございますので、このところは様々な状況を十分に勘案しながら適切な時期を失しない形の中でしっかりとお示しできるように努力をしてまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。

○委員長（高橋政一君） 19番阿部加代子委員。

○19番（阿部加代子君） 19番阿部加代子です。1点だけもう一度確認をさせていただきたいというふうに思います。

水沢病院、まごころ病院、前沢診療所を1つにすると、統合するというところは骨子であって、ここは変わらないということによろしいでしょうか。多分今後、場所とか様々なことが明確になってきますと、それなりにまたその賛成、反対、今でも診療所をなくすことに対する、また病院をなくすことに対する反対意見があるわけですのでございまして、それら様々ご意見、住民の方々からも出るというふうには思われますけれども、市として医療局として、この部分は変わらないということによろしいでしょうか。といいますのも、一般質問のときに市長から前沢診療所はなくさない旨のご答弁があったように記憶をしておりますので、その部分どう対応されるのか、もう一度確認をさせていただきたいというふうに思います。

○委員長（高橋政一君） 小沢市長。

○市長（小沢昌記君） 言葉足らずだったというふうに思います。後段の分の話ですけれども、今、水沢であるとか、まごころであるとか、前沢の診療所であるかというふうな分をそれぞれ残すというだけの時間というか、力はもう奥州市には残っていないと思っております。5年残るか、6年残るかというふうな話でありますし、また特に今、医療従事者で一生懸命頑張っている先生方、スタッフの皆さんは新しい組織、施設ができること、それを約束してもらえているというふうに考えているので、じゃ頑張ろうというモチベーションを強く持って、このコロナ禍においても奮迅の努力をし

ていただいているということでもありますから、これがまた目に見えない遠くのゴールになってしまうと、恐らくもうそのモチベーションさえなくなって、霧のように消えてしまうと。今の存在さえ消えてしまうというような状況になってしまうを得ないということでもあります。

前沢の分について、私がお話をいたしましたのは、医療局として今よりも多くの力を持てば、最終的に施設をなくすということではないので、再開という可能性もゼロではないですねという話をしたまでで、再開を前提にしたものではありません。今明らかにできることは、まごころのあの場所、それから前沢診療所のあの場所については、医療ではないにしろ介護の施設として十分住民の皆様にお役に立てる、センター組織と言えいいのか、いずれ極めて重要な組織として、統合後も維持をしていくと。医療ではなく介護あるいは福祉、保健というふうな部分でその施設を有効利用していこうということは医療局内部でもお話をしておりますし、そのことについて保健福祉の分野も携わっているということでございます。

ですから、統合がなったから、あの施設が全く何もなくなって、後は解体してなくなる、更地になるというようなことではなく、いずれ今まで非常に大きな役割を果たしていた部分については、医療、介護という大きな面を分野として十分にその価値を発揮していただけるような施設として、引き続き住民の皆様のためのサービスを展開していきたいという方向で今、組立てをしているということだけは間違いございませんので、診療所がまた再開するかどうかというのはもうお医者様の数にもよるわけでございますけれども、いずれそういうふうな希望もつなげるというふうなことなども含めてお話をしたということでもありますので、誤解があったとすれば、今の話で訂正をさせていただきたいと思えます。

一番最初の分であります。統合するののかというふうな分でありますけれども、これは流れとして致し方ない。積極的にしたいわけではありません。けれども、これは致し方ない部分だと。要するに生き残る、あるいは奥州市としての医療局をしっかり守っていくという意味ではもう避けて通ることができない選択、その道であろうというふうに思っております。例えとして、決していい例えではないと思いつつ改めて申し上げますけれども、例えば人口減少の中で地元にあった学校をなくすということは何にも代えがたい悲しみであり、戸惑いであろうと思えますけれども、将来の子供たちのことを思えばこそ、やはり学校も統合の方向でかじ取りをしていかなければならない。これが現実です。医療においても、働き方の改革が加速的に行われる。病院の医師についても専門医制度という新しい制度の中でなかなか小さな病院にはお医者様が集まらないという、これも事実であります。こういうふうな部分の中で病院等で働いていただく方々の待遇をしっかりと守りつつ、適切な医療サービスと言えいいんでしょうか、医療を提供できる施設を、あるいはその仕組みを今、遅きに失している感もありますけれども、今構築しなくて果たして何年先まで市民の医療と安心・安全を守れるかと考えたときに、ここは苦しい思い、様々な思いはあろうと思えますけれども、私はこの方向で進め、そして様々な分については至らぬところもありますけれども、そこはみんなの知恵を寄せながら、よりよき改善を図り、5年後、10年後やはりこれでまとまっていて奥州市の医療は守られたというふうな部分の土台を今つくらなければならないと思うからこそ、この基本的な部分については曲げずにお諮りをいたしたいというふうに考えているものでございます。

○委員長（高橋政一君） 2番及川春樹委員。

○2番（及川春樹君） 2番及川春樹です。2点ほどお聞きしたいと思います。

1つ目は、今の阿部委員にちょっと関連しているんですけども、いわゆるその今回、改革プラン

(案)が出されまして、今後その懇話会であったり、また議会で議論進むのかというふうに思います。そのうちいずれ県・国へ出して何らかの判断を仰ぐんだらうというふうに思うんですけども、もともとその最初に出されましたその地方の公立病院のほう、424病院指摘されている部分がありますね。例えば診療数が少ないとか、または新公立病院改革ガイドラインに示されています、例えばその数値目標をしっかりと持ってほしいとか、またその判断基準というのがやはりちゃんと明確に示されているべきだというような内容で書いていると思うんですけども、今回示された案を見ますと、なかなかその数字的なところのものが少ないなと思っていまして、やはり今後、県・国に上げていく際にはその裏づけとなるようなものがしっかりと、いわゆる及第点に達していないというような判断されかねないと思いますので、もう少しブラッシュアップするような考えというのはあればというふうに思います。それちょっと1点お聞きしたいと思います。

もう1点は、午前中その建設費についてお話があったんですけども、大体90億円程度かかるということなんですけれども、現在国のほうで病床ダウンサイジング支援というのがあるようなんですけども、例えばその病床削減に伴う財源支援であったり、またその統廃合に伴う財政支援、こういったものをやはりある程度加味して検討していくのかということ、もしあれば、たとえその90億円かかりますよというだけだと、やはりその市民負担が大きくなるんだらうというような懸念があるんですけども、やはりその国の制度をうまく活用してその分負担を減らしていくんだというような方向性が見えると安心感といいますか、そういったもの市民の方々理解できるのかなというふうに思うんです。その点をお聞きしたいと思います。

○委員長（高橋政一君） 岩渕経営管理課長。

○医療局経営管理部経営管理課長（岩渕清彦君） 今2点ほどご質問を頂戴したかというふうに思います。

この本プランにおいては、数値目標が少ないのではないかとご指摘でございます。

こういったところは、今後さらに検討したいというふうに思うんですが、前回までのプランについては、国のほうからこういった形で作りなさいというのが示されておりますが、それ以降については、追ってそういったものをお示しするというのを頂戴してから、そのままちょっと止まった感じがあって、具体的にどういったものを作りなさいというのが今ないような状況です。そういったところがありますので、前プラン案を参考にして、今、形としてこういった格好等々を作っているというものでございます。数値目標として、もうちょっと出したほうがいいと、もっと精査すべきだということに関しては、もうちょっと詰めていきたいというふうに思います。

それから、いわゆるダウンサイジング、病床の削減による負担、補助金、補助というんですか、そういうのがあるのではないかとご指摘でございます。

それについては、2025年度までの計画について、そういった補助を出します、継続しますという連絡を頂戴してございます。その補助につきましては、病床の削減数において、どの程度削減するかということで1週当たり幾らという金額なんでございますが、そういったのをこの計画では見込んでおるのでございますが、実際の申請になる際にはどういった病院をどこに建てるのかという、本当に具体的なものをお示ししないと、そういった補助を受けられないという今、状況ですので、今後いろんな建設場所とかそういったところを詰めて、計画がもう少し詰まった段階で補助金を頂きたいというふうに私のほうで考えておるところでございます。

以上でございます。



○委員長（高橋政一君） ほかに。

16番飯坂一也委員。

○16番（飯坂一也君） 1点お伺いしますが、今回のプランを外部の医療系コンサルタント、こういったところにも見てもらい、そして助言をもらう。こういった考えはないものですか。あるかないか伺います。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） 今回のこのプランに関しましてといいますよりも、地域医療介護計画が昨年策定になったわけですが、その計画を検討している中で、実は並行して医療局としてのその再編というものの考え方などを検討した時期もございまして、その際にはそのプランの評価委員をやっていただいている先生がおりまして、ご意見を頂戴したという場面もございました。結果的にそれと実はあまり遠くない今、方向性に今なっているんですけれども。実は私どもとしまして、この方針が再編の方針に関しましては特に今年になってから大きく変わって、このような形に今なっているという流れもございまして、あまりコンサルタントなり、経営アドバイザー的な形の情報をいただくような場面、時間がちょっとなかなかつくられておりませんでした。実はその辺はもう医療局内部でも実は議論がございまして、並行してご意見をいただくようにしたらいいのかなというふうに今は考えておりまして、その作業はちょっとこれからになります。いずれ経営アドバイザー的な方のご意見もいただくつもりでおります。

○委員長（高橋政一君） 16番飯坂一也委員。

○16番（飯坂一也君） 私もこういった外部からの意見も重要だなというふうに思っておりました。ただ今、先ほど来スケジュール聞きますと、いつどこでやったらいいのか、もう早いほうがいいと思うんですけれども、そういったところは難しくないでしょうか、そのスケジュール的なところで。本当にずっと押してきてからやるなんていうのではなく、もうやるんだったら早くやらなければならないと思います。いかがでしょうか。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） おっしゃるとおりでございまして、時間的なことはあまり余裕がないのは事実でございまして。ですので、ちょっと例えばよくあるようなプロポーザルであったり、幾つかのコンサルタントさんをピックアップしてというふうな形まではちょっと時間的に取れないのかなと思ひまして、今考えておりますのはやはりこちらとちょっと今つてがございまして、これまでもご協力いただいている学者さんおりますので、そういった方にちょっと協力を求めようかと今、方針としては考えておりまして、これは早速にでも動きたいというふうに思っています。

○委員長（高橋政一君） ほかに。

12番廣野富男委員。

○12番（廣野富男君） 12番廣野富男です。何点かお伺いします。

まず1つは、3月の特別委員会でその再編方針案出されたときに当時質問をした内容について、今回盛り込まれていなかったの、改めて1つお伺いするんですが、1つ、前回の改革プランのときの目玉というのは、市内の医療機関を全て全部適用したと。全部適用して、現在のその医療経営を改善させるということで進められたんですが、この部分の総括が一切今回の提示されたプランにも全然総括されていないわけです。特にこの全部適用した場合の効果がどうだったんですかと。併せてその病

院経営の自主性というのはあったんですかと。事業管理者の経営責任はどうなんですかと。こういうのきちんと総括をした上でやはり今回のプランをやっぱり整理されるべき。たしか当時、私伺ったとき、今回の改革プランの中にそれらにきちんと盛り込むというふうに私は記憶しております。その辺が今までの議論を聞いていますと、今回出されたものについては大方といいますか、大きな修正箇所がないと、このままいくということですよ。結局建てるということです。今回のプランの場合は経営がどうのこうのではなくて、新市立病院を建てるというのがもう最終的な目標ですから、それは変わらないということになると、私はきちんとその総括はきちんとした上で市民説明をすべきだというふうに思うことから、その点についてどうなのか。

それと、前回の改革プランの改定版には、新市立病院の整備方針としてうたっている項目があります。それはそのまま読みますと、病院事業会計、市財政事情、基本厳しい中、病院建設による後年度負担は病院経営や一般会計に及ぼす影響が大きいことから、費用対効果を十分検証し、市財政負担の少ない整備・運営方法を見きわめながら検討すると。これについては、今回のプランについて、それを触れているのかどうか。私はなかなか読み切れなかったと。特に運営方針については、従来の運営方針でやるということですね。全部適用のまま、医療局でやっていくと。早い話が直営です。前にも言った、その民間企業の指定管理とか、独立行政法人等については全然検討されていないです。何で検討しないんですか。それらが総括をした上でされると、私は当時は伺って期待をしておりました。一切そういうのは含まれておりません。それはいつ検証して、我々議員なり市民に説明するんですかということ、これは管理者にお尋ねしたいというふうに思います。

それと、この間7月2日、これ胆日さんの新聞に、衣川地域振興会連絡会さんが再編方針案に対する質問書というのを市長さんに提出をされたという記事が載っておりました。そのときの取材に市長がお答えしたんだと思います。「小沢市長は、今のままでは市長や病院事業管理者が束になって取り組んでも医師を集められない現実がある」という、こういうお話をしています。今までは新市立病院が出れば、医師が集まるというふうに言っておりました。でも、午前中の13番委員の話が明らかになったわけですが、医師が1人ですか、増えるの。医師が1人増えても医業収益がそれほど増えるわけでもないし、損益も従来と変わらないという状況なんですけど、こういう現状認識をしながらもやはりこれはその病院を新たに建てなければならない。例えば私1つ思うのは、例えば必ずしもその建て替えてなくても、現在の市立病院をうまく活用すると。例えば、まごころ病院を例えば増設をして例えばやるとか、そういう手法もあるのではないかと。そういう様々な検討して、なお、いや、それには無理がありますということなので、ぜひこういうところに病院を建てるという説明がないと、なかなかこれは私としてはなかなか、はい、どうぞ建ててくださいという話にはならないということで、その辺の検証もされたのかどうか。された場合に、このプランにきちんと盛り込むのかどうか、その辺をお伺いします。

最後です。

今まで市長は、その市民合意が得たら建てるという答弁をされてまいりました。この市民合意というのは、間もなく市長選、市議選があるんですが、そういう選挙でのその市民合意を得られるということなのか、あるいはその市民説明会で、そこでその賛否が何か取ってその市民合意を取ることなのか、その市民合意を得る方法というのはどういうふうに考えておられるのかお伺いをいたします。

○委員長（高橋政一君） 小沢市長。

○市長（小沢昌記君） 最後の段の分のところについて、考え方をお示しさせていただきたいと思えます。

また、1番、2番の質問にも少し言及をさせていただきたいというふうに思うところでもありますけれども、最終的には市民合意というふうな分は、いろんな方々からお話を聞き、改善できる分についてはしっかりとそれを改善した部分をプランに入れながら、よりよき案をつくるということ、これがまず前段の作業になります。最終的な合意というのは、予算に絡まる部分も含めて、私は市民の代表である議会の皆さんに委ねるといふことしかないと思えます。私の考え方はそこにあります。

それから、例えば独法であるとか、委託であるとか、あるいは全適という直営に似た形であるとかというふうな様々な形態があるのだけれども、その部分をしっかりと検証されたのかということ、しました。しかしながら、独立法人で受けてくれるというふうなところがあるのか、あるいはどこかの大学の完全附属で受けてくれるというふうなところがあるのかというふうな部分は検討はしましたけれども、このような状況の中でこのような力の程度が限りがあるというふうな分からすれば、市立の医療機関を残すということとして考えたときには、今の形を踏襲する以外にやり方がないというふうに私としては判断をしたということでもあります。結果として、極めて乱暴なやり方ではありますが、公立であるとか、ご納得をしていただけるというふうな部分、12番委員に。というふうな分のその全てをご提示することは極めて難しいのだけれどもというふうに思っております。

結果的に今のご質問を私なりに解釈をさせていただくと、イエスかノーかという話になります。イエスとノー、それは市立の病院経営をいろいろ問題はあるけれども、しっかりと続けていこうというのをイエスとすれば、ではどのように考えても費用対効果、その他の分、それから先行きというふうな分を考えたときには明らかな展開が望めないの、この際、市立の医療機関はやめたほうがいいのではないかとこの二者択一になってしまうような気がしてならないのです。私は、昨日今日この話を考えたのではなく、私は合併時における最大の課題が競馬、病院、そして土地開発公社、この3つに最大の課題が集約されたというふうに思っております。その中でもやはり病院の問題は極めて重要であるというふうな分のところでもありますけれども、私とすれば市立の医療機関はたとえ形が変わろうともしっかりと残していきたいという思いはいまだに変わりありません。そのような意味で、これは政策的な分として、やはり市立の医療機関を市立の組織として、しっかりと残すということが奥州市の今後の発展につながる。経費はかかるかもしれませんが、これはそれにつながるというふうな思いを抱いております。

よって、このお話をする際に、現状における分析ではやめたほうがいいよねと言ってやめてしまったとして、では市立の医療機関を再開できるかといえば、一度やめてしまえば、ほとんど不可能だと思えます。この辺のところを大きな視点、あるいは市として果たすべき役割が何なのかというふうなものを、これ私の考えでありますけれども、考えたとき、命を守るというふうな分における行政の役割は極めて大きいのではないかとこのように思えてならないわけでもあります。病院があればそれでいいということではなく、市立の病院があったことによって、安心ができる分野というのは極めて大きな範囲に影響を及ぼすというふうな考えているからであります。この辺の観念的なお話をしても、十分な答えにはなっていないわけでもありますけれども、私とすれば後段の部分のところのことに関しては、そのような部分で考えているということでもあります。

それから、もう一つでありますけれども、病院を建てることイコール医師確保を確実な約束としてできるのかということでもありますけれども、これもプラスアルファとしての分というのは確実ではな

いと思います。しかし、逆説的に言えば、今のまま何もしなければ確実に奥州市の医療機関は消滅してしまいます。消滅することによって何が起こるか。いろいろありますけれども、負担しなくて済むようになったねということはあるかもしれませんが、このたびのようなコロナがあったときに水沢病院が果たした役割というのはお金に代えられないほど大きな役割を果たしていただいたと、私は感謝しておりますし、ありがたく感じているというふうな分、このような現実を知ったときに、まさかのときに様々なときにやはり頼れる場所があるというふうなものが市内にあるということは極めて重要ではないかというふうに改めて感じているところであります。

十分な答えになっていないかもしれませんが、そういうふうな観点から対応しているということでもあります。詳しくは担当のほうから再度答弁をいたさせます。

○委員長（高橋政一君） 岩村病院事業管理者。

○病院事業管理者（岩村正明君） ただいまのご質問にお答え申し上げます。

経営の直営以外もいろいろ検証しなかったのかということ、ただいまの市長のことに尽きるわけですけれども、例えば独立行政法人、大体500床、600床以上の病院でないとなかなか費用対効果というんですか、メリットは出てこないというふうに言われております。それから、50床、60床あるいは100床で、例えば公設民営といった場合ですと、今回のコロナ問題とかのときに公設民営ですので、なかなか指揮命令権が出せないというようなこともありまして、いざというときやっぱり公立病院というのは必要だろうなというふうな気持ちもございます。

今回この改革プランにその辺が載っていないということで、載せ方についてはちょっと検討させていただきたいと思いますが、いずれいろんな経営の仕方についてはそれなりに考えたものでございませう。今現状の直営でいくのが一番いいだろうというふうに思っているところでございませう。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 12番廣野富男委員。

○12番（廣野富男君） 私言っているのその希望的な部分言っているんじゃないかと、前回のプランで先ほど言った前段の2項目については、検討しますと記述しているんです。記述している以上はきちんと今回のプランの中で評価、今回できるプランからすれば、前期プランでの総括あるいはその検討、検証した結果については、きちんと整理しておかないと、全然その評価、点検にならないじゃないですか。それをきちんと私は経営者として事業者として、きちんとそこはしていただかないとうまくないんじゃないですかということ、これを改めてお伝えしながら、これについてはきちんと載せてくださいということ、ということです。

それと、その運営形態について検証された、検討されたということだとすれば、せめてきちんと、今答弁された中身でも結構ですけれども、それもきちんと独法については難しいとか、指定管理については難しいというのきちんとその根拠を示して、やっぱり総括をすると。そのために今回は全部適用で従来どおりやるんだよというのをきちんとどうすべきだということを確認しておきたいと思えます。

それと、先ほどちょっとどういうふうに受け取ったらいいか、市長、前段にその市民合意の部分については、最終的には予算にかかると。それが市民合意だということですが、実際この新市立病院に関する予算というのは、我々に提示なる時期っていつなんでしょうか。例えば先ほどの全体のスケジュールでいいますと、9月には県の地域医療調整会議ですか、それが9月にかかって、その後に県の医療審議会がかかる。それがその11月なのか、12月に結論出たとしても、早くて12月、遅ければ2月

ですよね。そのときに出てくる予算というのは何なんですか。要は実施計画のその委託料ですか、その分ぐらいですか。そのときに議員が市民の総意として表明する時期はその時期で、そこで反対なれば当然駄目になると思うんですが、そういう進行管理ということになるのでしょうか。お伺いします。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） では、ただいまのご質問にお答えをします。

委員がおっしゃったようなスケジュールで、早ければ12月の予算という言い方でございましたが、私どもが想定している範囲でも、早くて、うまくいけばということにはなりますけれども、12月の議会中の補正予算という形になるのではないかと今想定はしてございます。ただ、いろんなその審査、審議等の場面をうまく経て、それをクリアした後ということにはなるわけですけれども、プランが確定して補正という形でお出しできればというふうなことは考えております。内容としては、この年度中にやれるとしても、基本構想、基本計画といった段階と思っております。実施設計等々については次年度以降になるというふうな想定をしてございます。

ですので、なかなかこの、はっきり言ってそのプランとして議員の皆様のご同意をいただく場面というの、じゃどういふところなんだということになるのではないかというふうに思うんですけれども、今のこの仕組みからいくと、そういった場面がないのかなと。この特別委員会のような場でご議論いただく中で、後はそれぞれ議員さん方の判断ということに委ねるしかないのかなと、私どもは思っております。ですので、公の場で皆様方のご審議、ご判断をいただく場面としては、予算という場面なのかなというふうに想定してございます。

先ほど前プランの総括という部分につきましては、管理者もちょっと申しあげましたけれども、確かに前にも同じ質問をいただいて、やはり前プランあって、今度のプランにどう生かすかというような、そのつながりというものを必要な部分もございまして。ちょっと今回は足りていないところがあると思いますので、その辺については記載の仕方等はちょっとこれから工夫させていただきますけれども、いずれ最終的にはそこに掲載するようにしていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 廣野富男委員。

○12番（廣野富男君） 最後にしますが、今の部長の答弁ですと、通常のルール、予算上でのその審査というのは12月の補正でしょうけれども、市民の意見等々についてはできれば特別委員会でそれぞれご議論いただいたほうが良いというふうに受け取ったんですが、そうではないですか。ちょっとそこ、もし誤解があればですが、もう一度その点、私もどこかで要は予算枠まで立てるか、立てないだけの議論なので、じゃその経営はどうなるのというのは、なかなかその予算の中で議論できるわけではないので、これはもうちょっときちっと本当に大丈夫ですかと。病院が大丈夫ですか。本体での市の財政も本当に大丈夫ですかと。午前中のお話ですと、財政計画上、100億円見ているから大丈夫だという議論にはなるのかもしれませんが、そうでなくて本当に期待は期待値としての本当にやりくりできるのかという議論を、本当にこの特別委員会でできるのかどうかも私自身もちょっと疑問には思うんですが、もし当局がそこまでその特別委員会に求めてされているとすれば、我々がその特別委員会での議論の在り方というのも当然考えていかなければならないと思いましたので、若干真意を聞いて終わります。

○委員長（高橋政一君） 小沢市長。

○市長（小沢昌記君） これは議会の皆さんでお決めいただくという、非常に何かずるい答弁ですけども、ただ特別委員会というのは年長議員さんもたくさんいらっしゃいますし、軽々に存在している委員会ではない。意思決定ができる委員会であります。要するに委員会で諮られて賛否を問うという形の形式を取って、それでどうだというのであれば、委員会としての意思表示イコールそれは議会としての意思表示、議員の皆様は市民の代表であるという皆様から構成された特別委員会での意思表示ということになれば、これはたやすく我々が覆すなどということはできないというほど重みのある内容のものであります。一たび議会が請願を採択されれば、これまで我々が言ってきたことと多少色合いが違って、議会の判断イコールそれは市民の判断でありますから、それには従わなければならないということでもあります。言われたからやってみるかというふうなやり方もあろうと思いますけれども、二元代表の一方の責任者である議会がどのようにご判断をなさるのかというふうな部分については、我々のほうでぜひこうしてほしいかということではなく、自らがお決めいただき、そしてそれを我々のほうにしっかりとご提案をいただくということ、それがルールであろうかというふうに思うところでございます。

よって、例えば1回にのみならず、予算は何回も出てくる可能性はあります。例えばコンサル頼みたいとなれば、コンサルの予算はどうだと。コンサル頼まないとしても、実施設計をするための予算、それから建設費の予算、様々な予算が幾たびか出てくるということになるわけでありましてけれども、その都度に意思表示を求めるわけでありまして、根本の部分、12番委員がおっしゃる根本の部分というのはそうではないだろうと言われれば、確かにそのとおりだなというふうな部分ありますので、根本部分をどういうふうにするのかということは、ここにいらっしゃる委員お一人お一人のご判断の中で、まさに公に論じ、方向性を決していただき、その決していただいた方向に我々執行部はさお差すことはできないというのが、これが原理原則であります。

求められた資料についてはしっかりと提出をさせていただきます。しかし、意思決定は最終的には議会における議論によって賛否を決定するという原理原則は曲がらないものというふうに思いますので、それほどの権能を議会は与えられ、そして実行する権利を持っているということとして考えておりますので、ぜひその旨で確実なご議論をしていただき、不足する部分の説明があれば、我々にお命じいただければしっかりと対応させていただきたいと思うのであります。

○委員長（高橋政一君） あと質疑がある方、何人いらっしゃいますか。挙手願います。

それでは、2時20分まで休憩をいたします。

午後2時10分 休憩

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

午後2時20分 再開

○委員長（高橋政一君） 再開します。

引き続き、質疑を続けます。

高橋浩委員。

○6番（高橋 浩君） 6番高橋浩です。

私は一般質問でも何度か病院関係質問いたしました。私自身は必ずしもその再編ですとか、そういうものに否定しているとか、そういうものではございません。水沢病院の存続等についても一定の理解を示すところでありまして。

そこで、今までも質問してきましたけれども、確認ということでお尋ねしたいのは、午前中のところでパブリックコメントのお話のところ、9月の連携会議の前に市民のパブリックコメントを集めてというようなお話しされました。以前の特別委員会においては、8月あたりまでのその連携会議と並行しながら地域説明を実施し、そこでパブリックコメントを集めるやのお話だったとちょっと記憶しておりまして、その辺の整合性といいますか、もし地域説明会をするのであれば、9月のその地域連携会議直前でのパブリックコメントを募集して修正であったり、それをどうこうするというのではなくて、なるべく早い時点からパブリックコメントを募集するなりされたほうがよろしいのではないかとこのところでございます。その辺の確認と、もう一つは、この資料の件ですが、先ほどほかの委員からも出されましたけれども、数字等なかなか厳しいところはあろうかと思えます。具体的などころが非常に希望的観測の部分も多くて、例えば役割分担のようなところの表現もあるのですが、こういうところももうちょっと踏み込んだような具体的などのような役割分担、例えば地域医療の県立病院と、もしくは民間との役割分担をどのようにするのかというような、もうちょっと踏み込んだ具体的などころが見えたりすればもっと非常に分かりいいのかなと。

そしてさらには、建設費の関係ですけれども、確かに収支のところを見れば、建設費がおおむね90億円前後かかるんであろうなというようなところも出てくるころではありますけれども、なかなかこの最初の説明の文の中には建設費であったり、人件費と適切なその人員配置による適正化、人員配置の適正化であったり、コスト削減に向けたというようなところで表現は非常にあるんですけれども、もうほんのちょっと踏み込んだ表示があると、一般の方初め分かりやすいのではないかと思います。

そのような、申し訳ないんですが、最終的な判断はやはり政治判断になろうかと思うんですけれども、ここでの情報公開というようなことから見ますと、負に近いような情報も含めてやはり正直なところを出していただいたほうが、その中でも市長は、もしくは医療局はこういう判断をしたのだと、市民に対して。市民の安心・安全を守るためにこういう判断をして、こういうふうにしているのだというのが分かりますかと思えます。その辺も含めて、先ほどこの修正は修正する点は修正はするけれども、取り下げることはない旨のお話がありましたけれども、修正すべき点として、その辺もご配慮いただければなと思ひまして、その辺のお考えについてお尋ねして終わります。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） それでは、今のご質問にお答えをさせていただきます。

まず、パブリックコメント等々の要はスケジュールといいますか、タイミングということでの質問だったかと思いますが、今そこ以外はお話繰り返になりますけれども、予定として今考えているスケジュールを申し上げますと、まず地域医療懇話会は今日が第1回目を予定しておりまして、2回目、3回目は8月中に行いたいと思って、スケジュールは組んでございます。そして、地域に出向いての説明会は8月下旬に一応その日時、場所を何とか今スケジュールを組み終わったような段階でございますが、広報等でお知らせをしながら開催をしていきたいと思っております。そして、9月にたしか下旬というふうにはなっていると思うんですけれども、連携会議、胆江地域の医療連携会議が9月下旬に想定をされております。ちょっとその会議がどう動くかがはっきり分かんないところもあるんですけれども、まずそれを見ながらということに来ておりました。

私どもの考えとしては、地域に出向いての説明会、それと並行して今回、地域医療懇話会という設定もさせていただいておりますので、この懇話会終了後、懇話会でもいろいろご意見いただくとと思

うんです。そういったことも含めて必要な修正加えるという前提で、その後に行けるタイミングでパブリックコメントをやっていきたいと思っております。しかし、ちょっとはっきりいつとはなかなかちょっと今のところ言いづらいですけれども、その連携会議のほうも見ながら、もしかするとその並行してという形になるかと思っておりますけれども、あんまり遅くならないようにはしていきたいというふうに考えております。

また、資料の作り方に関しましては、いろいろご意見あろうと思っております。私どもも今の作りが完璧だとは思っておりません。ですので、いただいたご意見はまず真摯にそこは対応できる範囲で何とかしていきたいというふうに思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○委員長（高橋政一君） 27番及川善男委員。

○27番（及川善男君） ちょっと気になった点があるので、お伺いをいたします。

まず1つは、市長、先ほどご答弁で、当委員会は非常に議会として意思決定のできる重い委員会だというふうにお話をされました。私全くそのとおりだと思います。ただ、先ほどのご答弁の中で、いわゆる住民説明会を開いても、この計画を取り下げるつもりはありませんとか、そういうご答弁をされているんですけれども、この間、病院建設について住民説明会というの1回もやっていない。そういう中で住民説明会を開く前から、そういうことを言明して開くのであれば、住民サイドからすれば何のための説明会なのだということになるのではないかと私は思います。部分修正だけを求める、そういうことではないんだと思います。病院建設の是非も含めて広く市民の意見を聞くための説明会ではないかと思っております。そして、その結果については最終的に議会で結論を出すということになるわけですから、今日この委員会の場で住民説明会の開き方について、そのような答弁をするというのは適当ではないんじゃないかと思っておりますので、お伺いをします。

もう1点、公営企業法の全部適用で病院経営の黒字化といいますか、収支の改善がかなり議論されております。私はこの間、たしかさきの胆江地域の医療連携会議でも県の望月アドバイザーが、病院の収支を考えたときに200床以下は非常に厳しいと。いわゆる病院の収支をよくするには200床以上の病院でないと、なかなか改善は見込めないようなお話をされておりました。今回111床削減案なんですけど、この根拠は何なのか。それから、病院経営に当たって収支を考えたときに、いわゆる200床以上の病床については全然考慮しなかった、考えなかったのか。病床数について経営との関係でどのように考えたのかお伺いします。

それからもう1点、私はこの間しつこく主張してきたんですが、令和2年度の決算を大体見ているようなんですけれども、今後の見通しとして、令和3年度以降、いわゆるこのコロナ関連の重点医療機関との指定を受けて、一定の国からの交付金等も当て込めるのではないかと思っておりますが、それらについては収支の見通しについて、どのように反映されているのかお伺いします。

○委員長（高橋政一君） 小沢市長。

○市長（小沢昌記君） 少し思いが強く発言をしてしまったわけで、今のご質問で少し反省をしているところであります。いずれ予断を許さず、ただ説明をするというアライバイワークをしようということのためだけに説明会などを開くと言え、それは市民の方々に大変失礼な話でありまして、その部分については十分に真摯に耳を傾げるつもりで伺うというのは全く当たり前のことであります。私が申し上げたかったのは、今回、奥州金ヶ崎医療介護計画の中における骨子について、私はこれを支持したいと思うので、その本筋をまずはしっかりとご説明を申し上げたいといった、それを言いたかったということでございまして、ご説明を申し上げて、やはりそれはちょっと違うのではないかというふ

うな分があれば、どうすればご理解をいただけるのかという、再度それは考えなければなりませんけれども、いずれ一丁目一番地のこの分のところに関しては、しっかりと意を尽くしてお話を申し上げたいという意味での発言でありましたので、今の言をもって、決して前言を翻すつもりはございませんけれども、そもそも前言といったって、私は聞きませんよと言っているわけではないというふうに思ってしゃべったものですから、少し補足をさせていただきました。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） それでは、2点目、3点目につきまして、お答えをさせていただきます。

まず、今回その病床数、124床程度というふうなことでご提示をさせていただきました。何でこれが導かれたんだというふうなことになるわけですけれども、おっしゃるように経営の面から見れば違う数字が出てくるんだろうとは思いますが、ただ現実的なお話をさせていただかなければならなくなるんですけれども、現状で全部合わせて235床になります。つまり200床をキープしようとする、そんなにはまず大きくは減ずることはないということになるんですが、現実的にその病床がどうなっているかというのを見てしまうと、残念ながら医師の確保がままならないということが先に立っておりますが、病床がそれほど利用できていないと、活用できていないというのが実態になってしまっております。ですから、先ほど医師数の話もございましたが、今いらっしゃる医師を基本の数として、そういったことを基本に考えた場合に何とかやっつけような病床数という見方は一つあります。そして、なおかつ、地域医療構想のほうにそぐわない形にならないようなというふうなところも見なければならぬということもございまして、簡単に言えば過剰に抱えるわけにもいかず、抱えてしまうと経営のほうが大変になるという可能性が大きいということもあって、まず124床程度というふうな数字に今のところは考えとしてはなっているというものでございます。

また、3点目でございます。

重点医療機関、これまでいろいろとご指摘をいただいております。おかげさまで今年度の部分につきましては、一定のめどがついたために、これもなかなかその幅があるんですけれども、金額的なことはちょっと幅があって、これならオーケーという数字が今ないんですけれども、ある程度見込めるであろうという金額につきましては、3年度の収入の部分で見いております。これが延びれば延びるだけまた、もしかすると来年度もという可能性もないわけじゃないんですが、その辺はプラスとしては考えられる可能性は今後あると思っております。今年度の見方に関しましても、取りあえず国の考え方が9月までという制度の考え方がありまして、ですから、最大値そこまでの分ということでの4月から9月までという期間に関するのそういった補助という部分を今当て込んでおります。その分は見ております。ですから、今年度ももしかすると延びればまた半年分ということは可能性としてはございますし、来年度に関しても、まだコロナが落ち着かなければということも可能性としてはあるというふうになっております。

以上でございます。

○委員長（高橋政一君） 27番及川善男委員。

○27番（及川善男君） 説明会については、ぜひ前提を置くのではなくて、広く市民の意見を聞くという立場でやってほしいなというふうに思います。

病床について、ちょっと今よく分からなかったんですが、私は病院経営を考えたときに医師確保も全力を挙げてやると言っているわけですから、計画をつくる段階で現状に合わせることも大変大事な

んですけれども、経営改善を図るという視点からの病床数も考えるべきだというふうに思います。

そこで、5ページのところに、その後において医師確保の状況を踏まえながら必要とされる病床機能の充実を図ってまいりますとありますが、これは以後において、病床を増やすことが可能だという意味なのですか。お伺いいたします。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 病床数の今現在の考え方、今、部長が答弁させたとおりでございまして、それでこの5ページのところにあるのは、委員さんお見込みのおりと私どもも理解しております。今後5年後開業を目指して、この内容が詰まれば引き続き在宅医療についても5年後、医師も5年を取るということもあって、定年を迎えるドクターも入ってくるということで、やはりスタッフを増やさないと駄目だよねというような具体的な話も出ておりますので、医師の募集も含めて並行して進めていくものというふうに思っておりますので、そういったような状況の中で、新病院に向けて医師が増えるので、見通しが立てばやはり診療の充足も考えていけるし、病床もすぐ変えられるということにはならないと思いますけれども、いずれ将来展望としてそんなことも含めて開けていくのかなと思っております。

以上でございます。

○委員長（高橋政一君） 27番及川善男委員。

○27番（及川善男君） 私の認識では、病床は一旦削減すると、元に戻すあるいは増やすというのはかなり困難だというふうに認識していますが、違う認識ですか。私はこれ、そういう意味でも削減については慎重にすべきだというふうに思うんですよ。このように何か将来増やしていける、内容が充実されるというような表現だと、実態をどう見ているのかなと、制度的な問題をどう見ているのかなというふうに疑問に思わざるを得ない。もしこういう表現をされるのであれば、病床削減そのものを見直すべきだと私は思いますが、そういうことにはならないのですか。何回も言うようですけども、専門家が言っているのは200床以上の病院でないと、なかなか黒字化していくのは大変だと言っているわけですから、将来を見越した病院建設をするわけでしょう。であれば、それを目指すべきではないですかということです。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） 若干先ほどの答弁の修正も含めてお答えをさせていただきますが、基本的に今回私どもで計画する中身が、先ほど市長も申しましたけれども、県のほうでオーケーをもらえないと何も進められないものになります。その際には、先ほど言いました地域医療構想、こちらとの絡みが重要視されます。その意味では、必要以上の病床数を抱える病院を造ることの是非というのも出てきます。逆に私どもの立場としては、病床を増やすという、言葉としては簡単に行くんですけども、じゃそのために医師をどの程度確保しなければいけないかというの付きまといまして、併せて。そちらのほうの要はその確保というものが確実でない限りはそこもうたえないと。目標値としてだけ何人集めるので、じゃ病床は何床にしたいですというようなことを言っても、結局は収支の見通しが全く根拠がないものと見られる可能性が高いということもございまして、やや現実に即した形のプランでしかいけないというふうに思っております。ですから、先ほど答弁の中では、病床を増やすことが後からできるやにまずそのようなお答えをしておりましたけれども、現実的には難しいと思っております。ですので、今そこも含めて、要は胆江地域に必要な病床数というふうな見方で、その範囲でないと新しい病院の建設というのはか

なわないだろうと、そのような認識でおりますので、ちょっと訂正をさせていただきたいと思います。

○委員長（高橋政一君） 27番及川善男委員。

○27番（及川善男君） こういう具体的な数字を出すのであれば、県との事前協議はされたのですか、具体的に。私はやっぱり例えば我々が言っている情報では、県のほうは地域医療構想についての病床、急性期幾ら増やせとか減らせとかとありますよね。あれについては必ずしもやれということを行っているのではないというのが県の見解だというふうに私は聞いているんですが、県の表向きの建前の話と実際は違うのであれば違いますと言ってもらえばいいんですが、そうではないんじゃないですか。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） 県がどこかの場所でそのような発言をなさったということは聞いたことも私もございます。ただそれは地元向けといいますか、内輪向けの話だろうかというふうに聞いています。といいますのは、今回の病院建設というような場面でありますと、最終的に起債の関係などもございまして、国のほうのオーケーがいただけないことには進められないという環境がございまして、ですので、そのときには国が当然、地域医療構想というものは条件として示しておるわけですから、そこに沿った流れでないともそもそもが建設等々の事業というのは進められないものと私のほうは認識してございます。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 27番及川善男委員。

○27番（及川善男君） これでやめますが、私はこの100床削減というものの発端はどこにあったかという、奥州金ケ崎地域医療介護計画をつくる際に出されてきた数字ですよね。地域医療構想を検討して出されてきた数字ではないでしょう。130床ほどの空きベッドが出てくるということが一つの論拠だったですよね。ですから、県と協議した結果、県からぎりぎりこうしなさいというふうに言われて出された数字ではないというふうに認識しますが、そうではないのですか。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 地域医療介護計画において、地域医療構想の中で2025年の展望、基準病床を比較したときに胆江圏域は230床ほど多いという数字がございまして、その230床のうち今回、市立医療施設として100床程度減らしていくというふうな考え方で地域医療介護計画ではそういう結論に至ったというふうに認識してございます。それを踏まえて今回このプランでは結果として111床ということにはなりましたけれども、そういったような経過で導き出してきたというふうに理解してございます。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 27番及川善男委員。

○27番（及川善男君） ちょっと私の認識が違ってあったら教えてほしいんですが、地域医療計画の中で、市立病院110床ほど減らせという、そういう指摘だったのですか。私は具体的にそういう指摘はなかったように思うんですが。今、専門監が答弁されたように230床ほどなんですね、問題は残るなど思ったんですが。地域医療連携会議や、あるいは地域医療構想の中で市立病院で100床以上減らせという指摘があったのですか。あったとすれば、いつどういう形であったかお願いします。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 奥州金ケ崎地域医療介護計画の中のいわゆる病床規模という中で、この中の文章では、先ほど言いましたように139床が圏域の減少

数の基本と考へ、そこから今後の病床変動要素のほか、感染症対応の病床確保が必要であることなどを考慮し、市立医療施設全体として100床程度を減少することとするということで、このように書いてございます。一応それを基にこのプランで検討したということでございます。

〔「県から言われたの」と呼ぶ者あり〕

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 県から言われたものではございません。

〔発言する者あり〕

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） そういうことです。県から言われてこうしたということではございません。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 27番及川善男委員。

○27番（及川善男君） やはりそういうのはきちっとしないと駄目だと思うんです。先ほど来の答弁だと、地域医療構想で100床程度減らせというふうに言われたようにご答弁されたように私は思ったので、それはあくまでも奥州市が金ケ崎町と独自に検討した奥州金ケ崎医療介護計画の中で出された数字であって、県が示している地域医療構想の中で出された数字ではないということですよね。それをお伺いしますので、もう1回きちっと答弁してください。

○委員長（高橋政一君） 家子新市立病院建設準備室行政専門監。

○医療局経営管理部新市立病院建設準備室行政専門監（家子 剛君） 数字は県の医療構想を参考にしましたが、判断はこの計画、市が判断をしたと。市が考えた結果ですということで申し上げます。お見込みのとおりです。

○委員長（高橋政一君） 28番佐藤郁夫委員。

○28番（佐藤郁夫君） 28番佐藤郁夫です。

先ほどは、あと何人ありますかというときに手を挙げなかったんですが、聞いていましてちょっと確認をしたいことと、最後に私の考え方ちょっと述べて、なぜこういうことを聞くかということです。

まず1点は、12番、13番委員のいろいろな質問あるいは指摘事項があったわけですが、その中で1つは、これは病院事業管理者の答弁だと思いますが、まず総括と独立行政法人、形態ですね、それから指定管理の形態、それについての検討結果と結論、これについては私はプランに明記をすべきだと思っておりますが、そこ先ほどはちょっとどうなのか聞き取れなかったもので、再度お伺いをいたします。

それから2点目ですが、13番委員のいろいろな指摘事項、改革とはこういうことではないかとか、いわゆる数字上の問題が出ました。問題というか、在り方が出ました。これについて、朝日田部長は、対応できる範囲内でこれはいろいろ検討したいといいますか、加除したいと言ったか、ちょっとそこは分かりませんが、この内容についてちょっと伺いたいと思います。やっぱり改革プランというのは、やっぱり数字できちっと出されないと、概念とか観念的とかそういう形で私はないと思います。そういうことでお聞きをします。

それから、なぜ私がこういうことを言うかという、私、今3期目なんです、いわゆる特別委員会は設置をかなりいろいろありました。その中で1つ、地域自治区の特別委員会が設置をされまして、あそこではこれは本会議で自治区を存続か廃止かということは、特別委員会あるいは本会議でいわゆる議決事項でしたから、そういう流れになっていったわけです。したがって、この議員がこのた

びの病院建設に当たってはそれぞれ議員の中で考え方がいろいろあると思いますが、私は予算の段階で例えば最初の補正予算で出てきた、次に病院建設の何か出てきた、委託料で出てきたと。そこでいちいち賛成とか反対とかという内容で私はないと思うんですよ。したがって、特別委員会で十分議論して、どういう形になるか分かりませんが、市長がここで先ほど答弁したとおり、市長はそういう考え方だと思います。当たり前といえば当たり前だと思いますが。我々議員が判断をして建設するのか、しないのか、結論はです。それから、どうあるべきか。それが我々に今課せられております。したがって、そういうことを議論するにもこういう前段申し上げましたものがないと、判断ができません。あるいはできないということはないかもしれませんが、判断の材料になります。

それから、27番委員の中にもありましたが、住民説明会で議論というか、説明した中でいろいろな意見が出てくると思います。今日午前中、ここ満杯になるくらい傍聴者が来ました。私はそれぐらい関心があるというよりも重要な問題だと思っていますから、お聞きをいたしました。したがって、その1点目、2点目の答弁あるいはもし市長が27番委員等含めて、もし特別委員会の在り方について、やっぱり特別委員会で決めるべきだよということは言えないと思いますので、そういうことを十分私の言っていることを酌み取っていただければ幸いです。

質問は2点です。以上です。

○委員長（高橋政一君） 岩村病院事業管理者。

○病院事業管理者（岩村正明君） ただいまのご質問にお答えいたします。

先ほど12番委員さんからの総括の検証の記載についてですが、検討しますということにしたんですが、記載する方向で検討させていただきます。

以上です。

○委員長（高橋政一君） 小沢市長。

○市長（小沢昌記君） まず、前段の2点については、確かに判断材料としては幾らでも正確な資料がないと正しい判断ができないので、28番委員がおっしゃられたような部分の資料を調製するよう、私からも指示をさせていただきます。これで1番目、2番目のお答えということであります。

3番目の部分については、結果、28番委員がお見込みでお話しされたことと私の思いは大きな違いはないものというふうに理解をして、お聞き取りをさせていただきました。

○委員長（高橋政一君） 28番佐藤郁夫委員。

○28番（佐藤郁夫君） 市長の件は了解いたしました。

この質問の内容で総括と独立行政法人あるいは指定管理の検討、経過、結論、これは文章で明確にするということの理解をいたしましたので、よろしくお願いをしたいと思います。

それで、これはいつ出されるのでしょうか、時期ですね。この時期はいつ出されるのかということについて、お伺いをいたします。

○委員長（高橋政一君） 朝日田経営管理部長。

○医療局経営管理部長兼医師確保推進室長兼新市立病院建設準備室長（朝日田倫明君） ただいまご指摘いただきました部分の資料の追加といたしますか、修正に関しましては遅くとも2回目に予定しております地域医療懇話会のそのときまでに、要はその会議に間に合うようなスケジュールで、できれば事前送付などもできるようにということの意味ですけれども、そのように調整をさせていただきたいと思います。

○委員長（高橋政一君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高橋政一君） 質疑を終結いたします。

当局におかれましては、ここで退席願います。大変お疲れさまでした。

暫時休憩いたします。

午後 2 時 56 分 休憩

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

午後 2 時 57 分 再開

○委員長（高橋政一君） 再開いたします。

それでは、本委員会の委員長報告の文案につきましては、委員長、副委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高橋政一君） 異議なしと認め、そのように決しました。

それでは、その他について、皆さんから何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高橋政一君） それでは、本日の会議はこの程度にとどめ、閉会したいと思います、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高橋政一君） それでは、異議なしと認めます。

よって、新市立病院建設調査特別委員会はこれをもって閉会といたします。

長い間ご苦労さまでした。

午後 2 時 59 分 閉会

# 新市立病院建設調査特別委員会

日時 令和3年7月26日（月）  
午前10時

場所 6階 議場

1 開 会

2 調査事項

奥州市立病院・診療所改革プランの素案について

3 その他

4 閉 会

## 【説明者側の出席者】

|      |        |                       |
|------|--------|-----------------------|
| 市長部局 | 小沢 昌記  | 市長                    |
| 医療局  | 岩村 正明  | 病院事業管理者               |
|      | 朝日田 倫明 | 経営管理部長 兼 新市立病院建設準備室長  |
|      | 岩渕 清彦  | 経営管理部 経営管理課長          |
|      | 家子 剛   | 経営管理部 新市立病院建設準備室行政専門監 |
|      | 山形 直見  | 総合水沢病院 事務局 事務長        |
|      | 高橋 功   | まごころ病院 事務局 事務長        |
|      | 高橋 純   | 前沢診療所 事務局 事務長         |
|      | 高橋 馨   | 衣川診療所 事務局 事務長         |

## 奥州市立病院・診療所改革プラン（案）

### はじめに

胆江二次医療圏の医療資源の現状を把握し、将来にわたる医療・介護体制の確立に向けた議論を進めていくため、金ケ崎町と連携し、奥州医師会の協力を得て「奥州金ケ崎地域医療介護計画」の策定に平成31（2019）年3月から取り組み、令和2（2020）年11月に策定しました。当該計画では、市立医療機関の連携・再編の基本的な考え方や病床規模、取り組むべき重点施策を示し、具体の機能分担及び再編については本改革プランにおいて定めることとしたものであります。

一方、令和元（2019）年9月、厚労省から再編統合の再検証が必要な病院として、総合水沢病院、まごころ病院が公表され、検討結果の報告を求められているところでもあります。また、市立医療機関においては、医師数の減少等により患者数減少に歯止めがかからず、病院経営は大変厳しい状況にあり、施設全体の再編を含めた抜本的な経営改善が急務となっています。

このままでは、近い将来、運営継続が困難になることが懸念されることから、将来にわたり安定的な医療体制を構築するため、市立医療施設の再編について、策定済みの奥州金ケ崎地域医療介護計画を基本に据え「奥州市立病院・診療所改革プラン（計画年度：令和3～7年度）」を策定するものです。

## 第1章 市立医療施設を取り巻く状況

### 1. 胆江地域の医療の現状に対する課題

「奥州金ケ崎地域医療介護計画」において胆江圏域の医療の現状分析をしていますが、ここでは詳細を割愛し、現状に対する課題について同計画の記述を要約し再掲載しました。

#### (1) 人口推計と地域毎の疾病動向／(2) 医療施設等の状況／(3) 医療需給の状況

胆江圏域の医療機能は、現時点で充足しているものの、人口の減少や急速に進展する高齢化傾向の中、将来の医療需要を見据えた提供体制の構築や適切な医療情報の提供、地元完結型の医療提供体制が求められており、その役割の明確化や関係機関との連携体制の維持・継続により、持続可能で安定した医療提供体制の構築が必要です。

また、医師の地域的な偏在や医療従事者の減少傾向の中、安定した医療提供体制を今後とも確保することが必要であり、県や市による医師養成事業や医療介護従事者に対する奨学金返済支援事業などにより、医師確保や医療介護従事者減少傾向の抑制に努める必要があります。

#### (4) 在宅医療と介護の状況

人口減少や高齢化率の上昇により、高齢者のみの世帯が増加傾向を示しているため、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築や在宅医療や訪問看護体制の強化が求められていると同時に、在宅医療連携拠点の機能を生かした多職種連携体制の強化を図っていくことが必要です。

#### (5) 救急対応

基幹病院である胆沢病院に救急患者が集中している状況から、負担軽減を図ることが必要であり、休日・夜間診療所を含めた診療所による初期救急体制の継続が求められます。また、胆江圏域では公立病院と民間医療施設の協力や連携による医療提供体制が構築されており、今後も救急医療体制の充実に



努めていく必要があります。

#### (6) 高額医療機器の保有状況

胆江圏域の高額医療機器の保有台数は全国平均を上回っており、十分な診療提供能力があることから、共同利用による効率的な活用を進めるため、県が策定した医療計画における共同利用の方針に基づき、関係機関等と協議を行っていく必要があります。

## 2. 市立医療施設の現状と課題

近年、多くの公立病院における経営状況の悪化、医師不足に伴う診療体制の縮小など、経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっています。市立医療施設のほとんどにおいても医業収益で赤字を計上しており、医業外収益や繰入金に頼った運営となっており、このままでは将来、医療施設の経営は立ち行かなくなると危惧されます。

このように医療現場を取り巻く環境はますます厳しさを増している中、全国に蔓延している新型コロナ感染症について、患者への対応はじめワクチン接種も進んでいるところです。本市においても奥州医師会の多大なご協力をいただき、一日も早い感染の収束に向け一丸となって対応しているところであります。

以下は各市立医療施設の役割等を中心とした記述ですが、民間の施設で担うことができず、かつ住民にとって必要な政策医療を提供することを基本と考え運営する必要があります。

### (1) 総合水沢病院

総合水沢病院は、市の中心位置にある人口密集地域にあり、最も医療従事者が多い医療施設です。昨年から新型コロナ感染症の流行下において、胆江医療圏域における感染症対応病院として、病床を拡充して患者への対応も行ってきました。感染症対応は公立医療機関の重要な役割の一つでもあることから、今後も引き続き感染症病床の継続及び新たな感染症患者への対応が求められます。

県立胆沢病院・江刺病院などと協力し、急性期医療や不採算医療の役割を担ってきましたが、常勤医師の減少などで外来及び入院患者の減少が続いていることから、経営の健全化に向けた取り組みが急務であります。

高齢化が一層進む中、今後も需要の増加が見込まれる訪問看護については、平成28年に開設した「訪問看護ステーションきらり」の、機能強化型訪問看護ステーションへの移行も視野に、訪問看護の提供体制の拡充が求められています。医療と介護の連携のため、多職種間の調整を行うことで市が設置した「在宅医療介護連携拠点」については、専門的、効率的な観点や市立医療機関の担うべき役割の観点から、院内設置が求められるとともに、診療所、開業医の訪問診療対応を促進するため、バックベットの機能及び24時間対応の機能を有する在宅療養支援病院の役割も求められています。

平成20年度から義務化された特定健康診査や長寿検診、各種がん検診などは、市民の健康増進に大きく貢献することから、現在実施している人間ドック事業を含め、一層の積極的な貢献が求められています。胆江圏域の周産期医療や小児医療を取り巻く環境が厳しい状況の中、病後児保育所の再開や産後ケア事業の継続及び拡大が求められています。

### (2) まごころ病院

まごころ病院は、民間医療機関が少ない胆沢地域において、地域住民のかかりつけ医としての役割と救急外来を中心とした救急医療などのほか、地域に密着した病院として、年間約1,500件の訪問診療

や訪問看護を実施しており、胆江圏域の在宅医療の中核施設としての役割が求められています。また、近年の傾向として、訪問診療や回復期を中心とした地域包括ケアの充実を図ることも必要と考えられます。

### (3) 前沢診療所

前沢診療所は、地域住民の心身両面からの外来診療を行うとともに、介護予防や認知症対策の普及啓発を行っています。一方、前沢地域の診療所配置や医師数を見ると、同規模地域である胆沢地域や金ヶ崎地域との比較でも、十分な医療提供体制が確保されている状況にあることから、市立診療所としての役割や位置づけを検討する時期に来ています。

※病院・診療所数、常勤医師数（歯科医除く）、病床数の順に比較すると、前沢 10. 17. 249、胆沢 3. 8. 48、金ヶ崎 5. 8. 0

### (4) 衣川診療所

衣川診療所は、同地域におけるへき地診療所であり、地域における一次医療施設として、また隣接する介護施設と共に地域包括ケアの拠点施設としての役割が求められています。一方 19 床ある病床については、利用率が低調であることから、病床のあり方について検討する必要があります。

### (5) 衣川歯科診療所

衣川歯科診療所も地域で唯一のへき地歯科診療所であり、一般歯科診療のほか、これまで取り組んでいる保健活動をさらに充実させ、地域住民の健康増進に取り組むことが求められています。

### (6) 奥州市国民健康保険直営診療所

江刺地域の診療所（米里除く）の廃止に伴い、平成 29 年 4 月より移動診療車による巡回診療方式に移行した国保直営診療所（田原、米里、伊手、梁川）については、江刺地域のへき地医療診療体制の確保・充実を図るため、移動診療車の機動力を生かした柔軟な対応が求められています。住民の初期医療や慢性疾患の患者等を受け入れているほか、従来にも増して地域医療の本質である訪問診療や予防医療も期待されています。今後は従来から行っている地域密着型医療に加え、診察場所増設の検討などより多くの方が受診しやすい環境づくりが求められています。

## 第 2 章 市立医療施設の今後の方向性

### 1. 基本的な方向性

#### (1) 国・県の情勢について

厚生労働省は令和元年 9 月 26 日、地域医療構想に関するワーキンググループを開催し、再編統合について特に議論が必要な「診療実績が少ない病院」「類似・近接した病院機能を持つ病院」として 424 病院を公表しました。当圏域では、県立江刺病院と総合水沢病院、まごころ病院の 3 病院が該当しており、今後、具体的対応方針について、診療科や病床機能の集約化など、地域の実情に見合った在り方の検討が必要となっています。

また近年、多くの公立病院において経営状況が悪化するとともに、医師不足に伴い診療体制縮小を余儀

なくされるなど、経営や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっています。病院を設置する地方公共団体ではこの状況を踏まえ、平成 27 年 3 月に総務省から新公立病院改革ガイドラインが示され、新たな公立病院改革プランの策定や現プランの見直しを行い、経営改革に総合的に取り組んできたところですが、歯止めがかからない人口減による患者数の減少や、地域偏在による医師数の減少に起因した医療機能低下など、依然として厳しい経営状況が続いています。

## (2) 基本方針

これまでに記載した胆江医療圏域の現状や課題、医療介護体制における各医療機関の役割、国県の方針や施設の経営状況、市の財政状況などを総合的に勘案すると、市立医療機関の連携・再編等に係る基本的な視点は、「厳しい財政状況の中にあっても地域に必要な医療を守るため、各医療機関の機能分担と連携を強化し、他の病院と重複し過剰と認められる機能を見直し、地域に不足が見込まれる機能へ特化するとともに、経営・財政ともに持続可能な組織体制に変えていく」とするものがあります。この視点で検討すると医療局全体において、相応のダウンサイジングは避けて通れず、以下のとおり機能分担、再編することで推進するものとします。

## (3) 市立医療施設の再編方針

限られた医師・スタッフ・財源のもと、市立医療機関として求められる地域医療を持続できる体制を構築するため、市立医療機関を次の通り再編します。併せて、県立医療機関との役割分担・連携を強化し、奥州市全体の医療体制の再構築を図ることによって、将来にわたり安心して医療を受け、住み続けられる奥州市を目指します。

◎総合水沢病院、まごころ病院及び前沢診療所を統合した新病院を建設することとし、令和 7 年度中の完成を目指す。なお、新病院開院までの間、現施設での診療を継続します。

◎衣川診療所は新病院への統合を基本に病床を新病院へ集約するとともに、へき地医療維持のため、衣川診療所及び衣川歯科診療所の外来機能を維持します。

## (4) 新病院運営ビジョンは「面倒見のよい病院として、全人的医療を担う」

患者個人に合った総合的な疾病予防や診断・治療を行うと共に、回復期機能のみならず急性期機能、感染症など幅広く対応できる病院を目指します。また、まごころ病院がこれまで担ってきた在宅医療を継承し、医療と介護の橋渡しを担う病院として、今後、需要が高まる在宅医療の充実・強化を図ります。

## (5) 新病院の機能

市立医療機関の再編を進めるにあたっては、今日の社会情勢をとらえた地域包括ケアシステムを推進し、医療機能の再編と県立病院や民間医療施設との連携、機能分担を行い、市民の安心安全な暮らしを守るために必要な医療を提供する、公的医療機関としての使命を果たします。

特にも、総合水沢病院、まごころ病院及び前沢診療所がこれまで担ってきた「急性期から回復期医療及び感染症への対応」「地域包括医療」そして「予防医学の機能」など、各施設の特長的な取組みを新病院が引継ぎ、回復期を中心に急性期にも対応できる病院を目指し、医療局スタッフ一丸となって取り組んでいきます。

しかし、令和 6 年度からは医師の働き方改革への対応が必要になり、医師の負担を軽減していかなければなりません。このため、現在ある診療科は維持していくことを基本とし、住民ニーズの多い診療科に

については拡充を検討する一方、人材の確保及び医療の質の確保が困難な診療科については、採算性も含めて総合的に考量し、縮小または廃止や休止の検討を併せて行います。

(6) 病床規模

奥州金ヶ崎地域医療介護計画で示された市立医療施設の病床数削減方針を踏まえ、新市立病院における病床機能の再編成を行います。新市立病院においては、市民が住み慣れた地域で身体の状態に応じた医療を受けることができる地域医療提供体制の構築と、市民の安心と安全を提供する公立医療施設としての役割、災害や感染症発生時に必要な対応が行える役割を担います。また、近隣に急性期機能を有する医療施設が存在するため、回復期機能としての役割と、在宅医療推進の中心的役割として、地域包括ケア病床の充実を図ります。

上記新病院の目指す機能及び稼働病床数の現状を踏まえ、医師をはじめとする医療提供資源の状況を勘案しつつ、過剰である急性期病床を縮小する一方、包括ケア病床を含む回復期を拡充するなど、開院当初の病床数を124床とし、その後においては医師確保の状況を踏まえながら必要とされる病床機能の充実を図っていきます。

○機能別病床数の再編案

| 施設       | 再 編 前 (R3.4.1 現在)         |      |    |    |      | 再 編 後     |    |
|----------|---------------------------|------|----|----|------|-----------|----|
|          | 総合水沢                      | まごころ | 前沢 | 衣川 | 計    | 新病院       | 衣川 |
| 急性期      | 115                       |      | -  | -  | 115  | 36        | -  |
| 回復期      | 30                        | 48   | -  | 19 | 97   | 84        | -  |
| (うち包括ケア) | (30)                      | (18) | -  | -  | (48) | (48)      | -  |
| 慢性期      | -                         | -    | 19 | -  | 19   | -         | -  |
| 感 染      | 4                         | -    | -  | -  | 4    | 4         | -  |
| 計        | 149                       | 48   | 19 | 19 | 235  | 124       | -  |
| 合 計      | 235(うち総合水沢 50、前沢 19 が休床中) |      |    |    |      | 124(-111) |    |

なお、無床化する衣川診療所については、入院を要する場合は新病院が積極的に受け入れるとともに、外来診療についても応援診療を行うなど連携を強めます。衣川歯科診療所についても新病院と連携を取りつつ運営を継続します。

(7) 胆江医療圏における市立医療施設の連携方針

市民に安心安全な医療提供を進めるためには、かかりつけ医を中心とした一次医療、救急・急性期医療、入院などを中心とした二次医療、さらに在宅医療と介護の実施等について、できるだけ地域で完結できる体制の構築が必要です。

胆江圏内においても人口減少や高齢化が急速に進んでいる中、公的医療機関として民間では担うことができない医療提供の体制構築に取り組む必要があり、その役割として県立胆沢病院は救急・急性期及び専門医療、県立江刺病院及び市立病院は急性期及び回復期、さらに市立病院は感染症や災害対応を担うほか、在宅医療体制の強化を進めるものとします。

地域医療ネットワークを構築し、医師会、介護事業所等との密接な連携・協力体制を敷き、本人や家族に寄り添った医療・介護を提供し、安心して最期を迎えることができる体制の実現を図ります。

以上の連携体制の構築に向け、市立医療施設として以下の項目について取り組みます。

- ① 救急・急性期及び回復期の機能連携（基幹病院である県立胆沢病院の軽減支援）
- ② 予防医学と健康保健活動との連携（保健行政との連携推進）

- ③ 在宅療養支援病院の検討（24時間訪問看護、関連病院との連携）
- ④ 在宅医療（訪問診療・看護）対応、及び民間医療機関、介護施設との連携
- ⑤ 感染症病床の対応（医師会、保健所等との連携）
- ⑥ 医療・介護関係の職員を対象にしたコミュニティサポート研修会の開催（顔が見える連携から気持ちの分かる連携を目指す）
- ⑦ 県立胆沢病院からの地域医療連携パスの推進（スムーズな在宅医療支援や地域包括ケア病床への受入れ）
- ⑧ かかりつけ医やケアマネジャー等との連携によるレスパイト入院の受入れ

#### (8) 医師確保の取組み

市立医療機関の医師を安定的に確保するため、医師養成奨学資金貸付制度の対象範囲や貸付金額の見直しにより利用者の拡充を進めていますが、更なる義務履行基準の緩和を検討するとともに、研修医の派遣や応援診療、県立病院や医科を持つ大学との連携強化を図るなど、安定的な医師提供体制の構築に引き続き取り組めます。

※奥州市医師奨学生による義務履行の状況（令和3年4月1日現在）

常勤医師1名、非常勤医師3名（いずれも総合水沢病院）、他に義務履行予定者5名

#### (9) その他

- ・新市立病院建設後の既存施設について、介護福祉施設などの有効活用を検討します。
- ・建設候補地においては、通院の継続や高齢化の進展等に配慮し公共交通の利便性を高めていくため、新病院と各地域を繋ぐバス交通網の見直しや再構築を図ります。

## 2. 重点施策への対応

奥州金ケ崎地域医療介護計画の「市立医療施設の連携・再編」を受け、以下の8つの重点施策に対して市立医療施設全体として対応または検討していきます。なお、新市立病院開院前でも取り組みを開始できるものは、その実現を図っていきます。

### (1) 在宅医療介護連携拠点の設置

今後とも重要性が増すと考えられる在宅医療と介護との連携について、令和元年9月に市在宅医療介護推進協議会の決定により、市福祉部内に在宅医療介護連携拠点を設置しています。

この拠点を市立医療施設の再編に合わせ、医療の最前線に立つ新市立病院に移すことによって、医療と介護のサービス資源情報を一元管理し、病院と介護施設、在宅医療と介護をつなぐ拠点として、本人や家族に寄り添った医療や介護を受ける機会の確保と、安心して最期を迎えることができる支援の一層の充実を目指していきます。

### (2) 地域包括ケア病床の拡大及び在宅療養支援病院の検討

胆江医療圏の中核病院である県立胆沢病院との連携を図り、回復期機能の強化及び地域包括ケア病床の拡大を図ります。また在宅医療の推進に伴い、在宅療養支援病院の設置について検討し、前述の市の在宅医療介護連携拠点とともに在宅医療の中核施設としてその役割を担います。

### (3) 訪問看護ステーションの体制強化及び拡充

高齢化が進む中で今後も需要の増加が見込まれる訪問看護については、訪問看護ステーションの機能強化とともに、訪問看護提供体制の拡充が求められます。そのため人員や体制の強化を行い、機能強化型訪問看護ステーションの指定を取得し、より手厚い訪問看護提供体制を推進します。

#### (4) 病後児保育事業所の再開

子どもの病後に支援が必要であり自宅での保育が困難な場合の対応として、平成30年までは総合水沢病院内の病後児保育事業所「こぐま園」がその役割を担ってきましたが、小児科休診に伴い休園となっています。しかし、令和2年に総合水沢病院は小児科診療を再開したため、病後児保育事業の再開について検討し、新市立病院開院後も病後児保育事業を引き継ぐとともに、他の医療施設からの病後児の受入れについても検討するなど、病後児保育支援の充実を図ります。

#### (5) 妊産婦支援、子育て支援の整備

胆江圏域の分娩取扱医療機関が減少し、出生数に対する地元診療所の分娩取扱件数も減少傾向となっています。地元での出産・育児が困難となっており、総合水沢病院ではこれら課題の解決に対して、妊産婦の負担軽減を目的とした産後ケアとしての宿泊ケアや日帰りケア、助産師による心と体のケアを実施しています。新市立病院開院後においても、総合水沢病院が行ってきた妊産婦や子育て支援事業を引き継ぎます。

#### (6) 感染症病床の維持、新たな感染症等への対応を考慮した体制構築

感染症の対応については、胆江圏域で総合水沢病院が唯一の指定病院となっており、近隣医療機関を含め中心的な役割が期待されています。そのため、新市立病院では総合水沢病院が行ってきた感染症への対応体制を引き継ぎ、緊急時の病床の拡大、患者動線や陰圧設備の整備、感染症対策に必要な物品の確保、人材の育成など、新たな感染症への対応を考慮した体制について検討・整備します。

#### (7) 急性期機能の機能分化による再編の検討

医療機能の分化・再編に伴い、新市立病院は総合水沢病院が担ってきた胆江圏域の急性期医療の役割も従来通り担うとともに、まごころ病院が担ってきた在宅医療の役割も担います。そのため、救急医療や手術、感染症、災害医療の対応などに係る設備や人材を新市立病院に移し、機能を集約します。さらに特定健康診断や長寿健診、各種がん検診、精密健診、人間ドック事業など、市民の健康をチェックし守っていく市立医療施設として、市の健康増進事業も引き続き担います。

#### (8) へき地医療提供体制の維持

江刺東部地域においては、移動診療車による診療を奥州病院の協力をいただき行っていますが、今後も医師会や他の医療施設との理解、協力を得ながら継続して実施します。

衣川診療所・衣川歯科診療所においては、それぞれ衣川地域唯一の診療所として、今後も同地域の一次医療施設として、安定して医療提供が行える体制構築に努めます。

### 3. 経営の健全化

#### (1) 経営状況

##### ア 総合水沢病院

水沢病院の医業収益は平成 27 年度から減少しており、入院・外来ともに収益が低下しています。給与費は平成 29 年度より減少しているものの、医業費用における給与費率は医業収益と比較して、上昇傾向となっています。そのため医業利益は平成 27 年度から令和元年度までにおいて約 3 億円から 9 億円の赤字となっています。医業外収益・費用を加えた経常利益・当年度純利益は平成 27 年度から平成 28 年度までは黒字でしたが、平成 29 年度以降は赤字となりも同じ推移となっています。

##### イ まごころ病院

まごころ病院の医業収益は入院収益より外来収益が高い傾向となっています。平成 27 年度からの収益推移は大きな変化はみられていません。医業費用においても給与費・材料費ともに大きな変化はみられていません。給与費率は増減があるものの、約 80%~95%で推移しています。平成 27 年度から令和元年度における医業利益は赤字傾向であり、経常利益・当年度純利益も赤字を計上しています。

##### ウ 前沢診療所

前沢診療所は外来診療のみ行っております。医業収益は外来収益が約 80%を占め、その他医業収益が約 20%となっています。医業収益は平成 27 年度から令和元年度まで増加傾向となっています。医業費用における人件費・材料費ともに減少傾向となっています。

平成 27 年度より医業利益は赤字傾向となっていますが、経常利益は平成 28 年度が赤字となっています。

##### エ 衣川診療所

衣川診療所は有床診療所として 19 床の入院機能を有しています。しかし、医業収益における入院・外来の割合をみると、外来収益が約 70%を占め、入院は約 20%となっています。平成 28 年度より医業収益は減少傾向となっています。医業費用における給与費は一定であり、材料費のみ減少となっています。

医業利益は平成 27 年度から赤字傾向となっており、経常利益は平成 29 年度と令和元年度のみ赤字を計上しています。

##### オ 衣川歯科診療所

衣川歯科診療所は外来のみの歯科診療を行っています。そのため、医業収益の約 80%は外来収益が占め、医業収益は平成 28 年度から減少傾向となっています。医業費用における給与費・材料費ともに減少傾向となっています。

医業利益は平成 27 年度から赤字傾向となっており、経常利益は平成 28 年度と令和元年度のみ赤字となっています。

## (2) 収益確保に向けた取り組み

市立医療施設の再編に伴い、収益確保に向けた以下の取り組みを行い、健全経営の実現を図ります。

## ①病床利用率の向上（新規入院患者の確保）

現在、市立医療施設の病床利用率は各施設ともに低い利用率となっています。病床利用率の向上を図るために、地域に求められる医療資源の提供を行うとともに、地域の医療施設や介護施設との連携を強化し、新規入院患者数の増加を図ります。

## ②診療報酬制度への的確な対応

各医療施設において、新たな施設基準の取得及び診療報酬算定余地の検討を進めるなど、診療報酬制度に的確に対応するとともに医療の質の向上を図ります。

## ③高額医療機器の共同利用

市立医療施設のみならず、胆江圏域の県立医療施設や民間医療施設との医療連携を強化し、高額医療機器の1台あたりの稼働件数の増加を図ります。

## (3) コスト削減に向けた取り組み

市立医療施設の再編に伴い、コスト削減に向けた以下の取り組みを行い、健全経営の実現を図ります。

## ①人員配置の適正化

現在市立医療施設では、医業収益に対する給与費比率が極めて高い状況にあることから、給与と手当の状況について再点検を行います。今後、外部委託の拡大や施設基準に沿った人員配置及び新病院に向けた業務体制の見直しを図りながら、職員の再任用や新規採用及びキャリア職員の中途採用を効果的に行い、人件費の抑制を図るとともに計画的・効率的な職員配置に努めます。

## ②材料費の適正化

薬品や診療材料などについて、同種同効品の統一による採用品目数の削減や在庫数量の見直しなど在庫管理を徹底します。また、個別に先発薬品との効果効用の比較検討を行い、代替可能な医薬品については後発薬（ジェネリック）への切り替えを行います。

## ③委託経費の適正化

現在、市立医療施設では様々な業務委託を実施しており、類似の業務を個々の病院で契約しているケースもあります。このため、委託契約業務の洗い出しを行い、長期継続契約の導入や業務内容（仕様書の内容）・契約方法の見直しを行い委託経費の削減、適正化を図ります。また、医療機器などの保守についても、複数年契約等を検討し費用削減を図ります。

## ④効率的な医療機器の更新

市立医療施設の再編に伴い、同一医療機器が重複するため、更新や購入など重複した費用が必要となります。今後、医療資源の集約化に伴い、医療機器の耐用年数とのバランスを取りつつ、効率的な業務運営と経費削減に取り組めます。

## 4. 新病院開業までの準備等

新しい市立医療施設の再編・整備まで一定の期間を要することから、これまでの間、新体制の円滑な運営に向けた準備等を、下記により進めます。



## (1) 新体制までのスケジュール

新市立病院の建設は令和7年度の竣工、8年度の開院を目標とし、以下のスケジュールにより実施を予定します。

- ・基本構想、基本計画 ⇒令和3～4年度
- ・基本設計、実施設計 ⇒令和4～5年度
- ・実施設計、各種申請等⇒令和5～6年度
- ・発注手続き ⇒令和6年度
- ・建設工事、完成 ⇒令和6～7年度
- ・開 院 ⇒令和8年度～

## (2) 新病院の建設候補地

候補地選定の考え方として、2病院1診療所の統合施設という背景の下、その地理的条件を加味するとともに、市内各地からの幹線道路・公共交通のアクセスが良く、必要な駐車場を十分に確保できる用地を候補とします。

以上の考え方を基に、総合水沢病院とまごころ病院、前沢診療所、休床となる衣川診療所からも交通アクセスの利便性を考慮した場所を想定し現在選定中です。

## (3) 病院間・診療所間の連携

- ・再編統合の円滑化に向けた取り組み

市立医療施設の再編統合を円滑に推進するため、準備組織を立ち上げ、医療情報システム・薬剤・医療機器の統一、労務・医療安全対策等、各種ワーキングや研修の準備を進めます。

## (4) 市民への情報提供と意見聴取

## ア 情報提供

市民に対し事業の進捗状況や方向性について、適宜、市の広報やホームページ等を活用し、情報提供に努めます。

## イ 意見聴取

市民への情報提供とともに、市民からの市立医療施設等についての意見を積極的に伺うよう努めます。

### 第3章 医療局市立医療施設の収支計画

改革プランの着実な推進のため、数値目標を掲げるとともに、開業前及び開業後における新市立病院・診療所の収支見を別紙のとおり試算しました。

### 第4章 点検・評価・公表

## 1 点検・評価・公表等の体制等

本改革プランを効果的に推進し確実な実現を図るため、これまでと同様に年1回以上点検・評価

を行います。点検評価の項目として、①病院運営の視点、②財務の視点、③総合評価の視点から各市立医療施設の点検・評価を行います。また、結果に基づき経営改善の検討、次年度予算編成等の参考とします。

## 2 視点

点検・評価は次の3つの視点で行うものとします。

### (1) 病院運営の視点

地域医療における病院・診療所の役割、各医療施設との連携、組織と管理体制（人事・労務管理）について内部点検・評価。

### (2) 財務の視点

数値目標及び収支計画等について内部点検・評価。

### (3) 総合評価

上記(1)(2)をもとに、外部点検・評価。

## 3 対象

奥州市立病院及び診療所

## 4 体制

点検・評価について、次の体制で実施します。

### (1) 内部点検・評価

施設を運営する部署の長において、2視点の(1)(2)について点検・評価を実施。

### (2) 外部点検・評価

内部点検・評価を基に、有識者や医療関係者で構成する病院事業の「運営評価委員会」において点検・評価を実施。

## 5 スケジュール

(1) 内部点検・評価…8月目途に実施

(2) 外部点検・評価…9月目途に実施

(3) 結果の公表…点検評価後に実施

## 6 結果の公表

点検・評価の結果は、ホームページ等へ掲載します。

別紙

1 令和元年度までの経営状況

ア 総合水沢病院

水沢病院の医業収益は平成27年度から減少しており、入院・外来ともに収益が低下しています。給与費は平成29年度より減少しているものの、医業費用における給与費率は医業収益と比較して、上昇傾向となっています。そのため医業利益は平成27年度から令和元年度までにおいて約3億円から9億円の赤字となっています。医業外収益・費用を加えた経常利益・当年度純利益は平成27年度から平成28年度までは黒字でしたが、平成29年度以降は赤字となりも同じ推移となっています。

【総合水沢病院 医療機能数値目標・実績】

【総合水沢病院 経営数値目標・実績】

| 項目          | 年度 |    | 27年度   | 28年度   | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    |
|-------------|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|             | 目標 | 実績 |        |        |        |        |        |        |
| 医師数(人)      | 目標 | 実績 | 19     | 19     | 19     | 19     | 19     | 19     |
|             | 目標 | 実績 | 19     | 20     | 19     | 13     | 14     | 10     |
| 入院患者数(人)    | 目標 | 実績 | 47,791 | 47,997 | 47,997 | 47,997 | 47,997 | 47,997 |
|             | 目標 | 実績 | 48,411 | 46,535 | 45,071 | 36,948 | 26,793 | 19,023 |
| 外来患者数(人)    | 目標 | 実績 | 88,938 | 87,480 | 87,480 | 87,480 | 87,480 | 87,480 |
|             | 目標 | 実績 | 88,952 | 85,573 | 83,219 | 71,770 | 64,353 | 51,309 |
| 平均在院日数(日)   | 目標 | 実績 | 14.0   | 14.0   | 14.0   | 14.0   | 14.0   | 14.0   |
|             | 目標 | 実績 | 14.0   | 14.2   | 12.9   | 14.2   | 19.0   | 19.0   |
| 紹介率(%)      | 目標 | 実績 | 35.0   | 36.0   | 36.0   | 36.0   | 36.0   | 36.0   |
|             | 目標 | 実績 | 36.8   | 37.5   | 36.5   | 45.3   | 62.7   | 49.8   |
| 救急車搬送患者数(人) | 目標 | 実績 | 850    | 865    | 865    | 865    | 865    | 865    |
|             | 目標 | 実績 | 870    | 870    | 904    | 851    | 740    | 590    |
| 訪問診療件数(件)   | 目標 | 実績 | 360    | 396    | 396    | 396    | 396    | 396    |
|             | 目標 | 実績 | 388    | 413    | 602    | 611    | 552    | 426    |
| 訪問看護件数(件)   | 目標 | 実績 | 1,080  | 1,212  | 1,212  | 1,212  | 1,212  | 1,212  |
|             | 目標 | 実績 | 1,196  | 1,903  | 2,818  | 3,653  | 4,527  | 5,034  |

| 項目              | 年度 |    | 27年度   | 28年度   | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    |
|-----------------|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                 | 目標 | 実績 |        |        |        |        |        |        |
| 入院診療単価(円)       | 目標 | 実績 | 36,117 | 36,084 | 36,084 | 37,000 | 37,000 | 37,000 |
|                 | 目標 | 実績 | 35,904 | 35,518 | 35,768 | 36,824 | 37,833 | 37,265 |
| 外来診療単価(円)       | 目標 | 実績 | 9,100  | 9,300  | 9,300  | 9,500  | 9,500  | 9,500  |
|                 | 目標 | 実績 | 9,323  | 9,443  | 9,559  | 10,345 | 11,227 | 11,785 |
| 病床利用率(%)        | 目標 | 実績 | 90.1   | 90.7   | 90.7   | 90.7   | 90.7   | 90.7   |
|                 | 目標 | 実績 | 91.2   | 87.9   | 85.2   | 69.8   | 50.5   | 54.8   |
| 医業収支比率(%)       | 目標 | 実績 | 86.3   | 83.5   | 83.6   | 85.4   | 85.7   | 85.7   |
|                 | 目標 | 実績 | 88.2   | 83.1   | 80.9   | 76.7   | 67.6   | 57.7   |
| 経常収支比率(%)       | 目標 | 実績 | 98.7   | 98.0   | 98.0   | 99.8   | 100.1  | 100.1  |
|                 | 目標 | 実績 | 101.4  | 103.9  | 102.3  | 96.2   | 88.3   | 88.3   |
| 職員給与費対医業収益比率(%) | 目標 | 実績 | 67.4   | 70.2   | 70.2   | 68.9   | 68.9   | 68.9   |
|                 | 目標 | 実績 | 62.0   | 66.3   | 67.7   | 70.3   | 80.5   | 92.2   |
| 材料費対医業収益比率(%)   | 目標 | 実績 | 21.0   | 18.5   | 18.5   | 18.5   | 18.5   | 18.5   |
|                 | 目標 | 実績 | 20.9   | 20.3   | 20.5   | 22.1   | 22.2   | 19.4   |

【経営状況の概要（総合水沢病院）】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度 | 決算書   |       |       |       |       | 決算見込    |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
|             |     | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年   |
|             |     | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2      |
| 医 業 収 益     |     | 2,818 | 2,735 | 2,661 | 2,361 | 1,914 | 1,463   |
| (1) 入院収益    |     | 1,736 | 1,647 | 1,603 | 1,358 | 1,010 | 686     |
| (2) 外来収益    |     | 829   | 826   | 796   | 743   | 672   | 559     |
| (3) その他医業収益 |     | 253   | 262   | 262   | 260   | 233   | 218     |
| 医 業 費 用     |     | 3,193 | 3,291 | 3,288 | 3,077 | 2,833 | 2,555   |
| (1) 給与費     |     | 1,886 | 1,944 | 1,934 | 1,780 | 1,655 | 1,432   |
| (2) 材料費     |     | 590   | 556   | 545   | 522   | 425   | 293     |
| (3) 経費      |     | 548   | 628   | 651   | 632   | 621   | 705     |
| (4) 減価償却費   |     | 154   | 149   | 141   | 132   | 118   | 109     |
| (5) 資産減耗費   |     | 6     | 6     | 7     | 2     | 5     | 8       |
| (6) 研究研修費   |     | 10    | 10    | 9     | 8     | 9     | 6       |
| (7) 本部費配賦額  |     | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 2       |
| 医 業 利 益     |     | △ 376 | △ 557 | △ 627 | △ 716 | △ 919 | △ 1,092 |
| 医 業 外 収 益   |     | 519   | 783   | 812   | 694   | 686   | 880     |
| 医 業 外 費 用   |     | 96    | 94    | 716   | 92    | 93    | 92      |
| 5 訪問看護事業収益  |     | 0     | 0     | 26    | 32    | 40    | 46      |
| (1) 入院収益    |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| (2) 外来収益    |     | 0     | 0     | 26    | 32    | 40    | 46      |
| (3) その他医業収益 |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| 6 訪問看護事業費用  |     | 0     | 0     | 36    | 40    | 64    | 58      |
| (1) 給与費     |     | 0     | 0     | 34    | 38    | 62    | 56      |
| (2) 材料費     |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| (3) 経費      |     | 0     | 0     | 2     | 2     | 2     | 2       |
| (4) 減価償却費   |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| (5) 資産減耗費   |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| (6) 研究研修費   |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| 7 訪問看護事業外収益 |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| 8 訪問看護事業外費用 |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |
| 経 常 利 益     |     | 47    | 132   | △ 541 | △ 122 | △ 351 | △ 316   |
| 特 別 利 益     |     | 378   | 11    | 0     | 113   | 1     | 1       |
| 特 別 損 失     |     | 1     | 0     | 1     | 238   | 3     | 2       |
| 当年度純利益      |     | 424   | 143   | △ 542 | △ 247 | △ 353 | △ 318   |
| 前年度繰越欠損金    |     | 1,982 | 1,557 | 1,415 | 1,337 | 1,584 | 1,937   |
| 当年度未処理欠損金   |     | 1,557 | 1,415 | 1,337 | 1,584 | 1,937 | 2,255   |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分        | 年 度 | 決算書   |       |       |       |       | 決算見込  |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|            |     | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|            |     | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |
| 資本的収入      |     | 33    | 25    | 19    | 18    | 21    | 74    |
| (1) 企業債    |     |       |       |       |       |       |       |
| (2) 出資金    |     | 30    | 23    | 18    | 16    | 20    | 51    |
| (3) 国・県補助金 |     | 2     | 2     | 1     | 2     | 1     | 23    |
| (4) その他    |     |       | 0     |       |       |       |       |
| 資本的支出      |     | 437   | 33    | 31    | 29    | 33    | 77    |
| (1) 建設改良費  |     | 53    | 27    | 25    | 23    | 26    | 69    |
| (2) 企業債償還金 |     | 384   | 6     | 6     | 7     | 7     | 7     |
| (3) その他    |     |       |       |       |       |       |       |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度 | 決算書   |       |       |       |       | 決算見込  |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       |     | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|       |     | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |
| 収益的収支 |     | 990   | 862   | 910   | 798   | 783   | 745   |
| 資本的収支 |     | 30    | 23    | 18    | 16    | 20    | 51    |
| 合 計   |     | 1,020 | 885   | 928   | 815   | 802   | 796   |

イ まごころ病院

まごころ病院の医業収益は入院収益より外来収益が高い傾向となっています。平成27年度からの収益推移は大きな変化はみられていません。医業費用においても給与費・材料費ともに大きな変化はみられていません。給与費率は増減があるものの、約80%~95%で推移しています。

平成27年度から令和元年度における医業利益は赤字傾向であり、経常利益・当年度純利益も赤字を計上しています。

【まごころ病院 医療機能数値目標・実績】

| 項目          | 年度 | 27年度   | 28年度   | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    |
|-------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|             |    |        |        |        |        |        |        |
| 医師数(人)      | 目標 | 9      | 9      | 9      | 9      | 9      | 9      |
|             | 実績 | 9      | 9      | 10     | 9      | 8      | 8      |
| 入院患者数(人)    | 目標 | 13,295 | 14,235 | 14,600 | 14,965 | 14,965 | 14,965 |
|             | 実績 | 14,524 | 13,764 | 11,790 | 14,094 | 12,479 | 11,338 |
| 外来患者数(人)    | 目標 | 49,995 | 53,946 | 54,189 | 54,432 | 54,432 | 54,432 |
|             | 実績 | 52,785 | 53,505 | 52,721 | 52,915 | 51,111 | 45,144 |
| 平均在院日数(日)   | 目標 | 21.5   | 20.0   | 20.0   | 19.0   | 19.0   | 19.0   |
|             | 実績 | 21.3   | 19.3   | 16.8   | 19.0   | 18.4   | 17.9   |
| 紹介率(%)      | 目標 | 7.0    | 7.0    | 7.0    | 7.0    | 7.0    | 7.0    |
|             | 実績 | 11.6   | 7.5    | 11.3   | 14.0   | 16.2   | 22.3   |
| 救急車搬送患者数(人) | 目標 | 160    | 160    | 160    | 160    | 160    | 160    |
|             | 実績 | 172    | 172    | 134    | 142    | 142    | 159    |
| 訪問診療件数(件)   | 目標 | 1,400  | 1,400  | 1,400  | 1,400  | 1,400  | 1,400  |
|             | 実績 | 1,443  | 1,309  | 1,422  | 1,473  | 1,502  | 1,533  |
| 訪問看護件数(件)   | 目標 | 1,830  | 1,830  | 1,830  | 1,830  | 1,830  | 1,830  |
|             | 実績 | 2,009  | 1,838  | 1,411  | 1,425  | 1,416  | 1,646  |

【まごころ病院 経営数値目標・実績】

| 項目              | 年度 | 27年度   | 28年度   | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    |
|-----------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                 |    |        |        |        |        |        |        |
| 入院診療単価(円)       | 目標 | 23,994 | 29,963 | 29,963 | 30,165 | 30,165 | 30,165 |
|                 | 実績 | 22,600 | 23,487 | 24,969 | 25,003 | 27,603 | 28,862 |
| 外来診療単価(円)       | 目標 | 7,775  | 7,775  | 7,775  | 8,033  | 8,033  | 8,033  |
|                 | 実績 | 7,289  | 7,413  | 7,485  | 7,615  | 7,575  | 7,812  |
| 病床利用率(%)        | 目標 | 75.7   | 81.3   | 83.3   | 85.4   | 85.4   | 87.5   |
|                 | 実績 | 82.7   | 78.6   | 67.3   | 80.0   | 71.0   | 64.7   |
| 医業収支比率(%)       | 目標 | 76.2   | 78.3   | 80.0   | 83.5   | 84.7   | 88.0   |
|                 | 実績 | 80.0   | 72.1   | 68.9   | 77.0   | 76.4   | 72.8   |
| 経常収支比率(%)       | 目標 | 90.3   | 91.0   | 92.2   | 95.9   | 97.2   | 100.8  |
|                 | 実績 | 95.4   | 86.9   | 84.1   | 94.0   | 93.6   | 92.2   |
| 職員給与費対医業収益比率(%) | 目標 | 81.4   | 81.2   | 80.0   | 77.9   | 77.5   | 75.0   |
|                 | 実績 | 73.7   | 83.2   | 87.8   | 78.0   | 79.7   | 83.5   |
| 材料費対医業収益比率(%)   | 目標 | 12.5   | 11.3   | 10.9   | 10.3   | 10.0   | 9.6    |
|                 | 実績 | 14.2   | 14.5   | 14.7   | 13.0   | 12.3   | 11.3   |

【経営状況の概要（まごころ病院）】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|             |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 医 業 収 益     |     | 860          | 795          | 761          | 824          | 798         | 750         |
| (1) 入院収益    |     | 328          | 323          | 294          | 352          | 344         | 327         |
| (2) 外来収益    |     | 385          | 397          | 395          | 393          | 378         | 343         |
| (3) その他医業収益 |     | 147          | 75           | 72           | 78           | 76          | 80          |
| 医 業 費 用     |     | 1,076        | 1,102        | 1,106        | 1,066        | 1,044       | 1,030       |
| (1) 給与費     |     | 685          | 709          | 716          | 693          | 684         | 668         |
| (2) 材料費     |     | 122          | 116          | 112          | 108          | 98          | 86          |
| (3) 経費      |     | 177          | 186          | 182          | 182          | 184         | 203         |
| (4) 減価償却費   |     | 87           | 87           | 86           | 80           | 76          | 67          |
| (5) 資産減耗費   |     | 3            | 1            | 6            | 1            | 1           | 5           |
| (6) 研究研修費   |     | 2            | 3            | 3            | 2            | 2           | 1           |
| (7) 本部費配賦額  |     |              |              |              | 0            | 0           | 1           |
| 医 業 利 益     |     | △ 216        | △ 307        | △ 344        | △ 242        | △ 246       | △ 280       |
| 医 業 外 収 益   |     | 208          | 200          | 209          | 213          | 218         | 231         |
| 医 業 外 費 用   |     | 44           | 43           | 42           | 40           | 40          | 35          |
| 5 訪問看護事業収益  |     | 0            | 0            | 7            | 9            | 10          | 10          |
| (1) 入院収益    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (2) 外来収益    |     | 0            | 0            | 7            | 9            | 10          | 10          |
| (3) その他医業収益 |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 6 訪問看護事業費用  |     | 0            | 0            | 13           | 13           | 12          | 12          |
| (1) 給与費     |     | 0            | 0            | 13           | 13           | 11          | 12          |
| (2) 材料費     |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (3) 経費      |     | 0            | 0            | 1            | 1            | 1           | 0           |
| (4) 減価償却費   |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (5) 資産減耗費   |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (6) 研究研修費   |     | 0            | 0            |              |              | 0           | 0           |
| 7 訪問看護事業外収益 |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 8 訪問看護事業外費用 |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 経 常 利 益     |     | △ 52         | △ 151        | △ 184        | △ 72         | △ 70        | △ 86        |
| 特 別 利 益     |     | 5            | 1            | 1            | 2            | 0           | 1           |
| 特 別 損 失     |     | 0            | 1            | 1            | 1            | 0           | 0           |
| 当年度純利益      |     | △ 47         | △ 151        | △ 184        | △ 71         | △ 70        | △ 85        |
| 前年度繰越欠損金    |     | 44           | 3            | 154          | 338          | 409         | 480         |
| 当年度未処理欠損金   |     | 3            | 154          | 338          | 409          | 480         | 565         |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分        | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|            |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 資本的収入      |     | 83           | 50           | 59           | 58           | 55          | 48          |
| (1) 企業債    |     |              |              |              |              |             |             |
| (2) 出資金    |     | 47           | 48           | 59           | 54           | 53          | 47          |
| (3) 国・県補助金 |     | 36           | 3            |              | 3            | 2           | 1           |
| (4) その他    |     |              |              |              |              |             |             |
| 資本的支出      |     | 75           | 75           | 97           | 88           | 84          | 73          |
| (1) 建設改良費  |     | 14           | 17           | 39           | 32           | 26          | 13          |
| (2) 企業債償還金 |     | 61           | 58           | 58           | 56           | 58          | 59          |
| (3) その他    |     |              |              |              |              |             |             |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|       |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 収益的収支 |     | 293          | 213          | 227          | 234          | 242         | 250         |
| 資本的収支 |     | 47           | 48           | 59           | 54           | 53          | 47          |
| 合 計   |     | 340          | 261          | 286          | 289          | 295         | 296         |

ウ 前沢診療所

前沢診療所は外来診療のみ行っております。医業収益は外来収益が約80%を占め、その他医業収益が約20%となっています。医業収益は平成27年度から令和元年度まで増加傾向となっています。医業費用における人件費・材料費ともに減少傾向となっています。

平成27年度より医業利益は赤字傾向となっていますが、経常利益は平成28年度が赤字となっています。

【前沢診療所 目標・実績】

| 項目        | 年度 | 27年度  | 28年度   | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    |
|-----------|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           |    |       |        |        |        |        |        |
| 医師数(人)    | 目標 | 0     | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      |
|           | 実績 | 0     | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      |
| 入院患者数(人)  | 目標 | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|           | 実績 | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 外来患者数(人)  | 目標 | 0     | 17,171 | 17,171 | 17,171 | 17,171 | 17,171 |
|           | 実績 | 1,578 | 3,991  | 6,096  | 6,727  | 7,399  | 7,104  |
| 入院診療単価(円) | 目標 | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|           | 実績 | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 外来診療単価(円) | 目標 | 0     | 6,066  | 6,066  | 6,066  | 6,066  | 6,066  |
|           | 実績 | 9,708 | 7,017  | 5,491  | 6,971  | 7,218  | 7,676  |
| 病床利用率(%)  | 目標 | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
|           | 実績 | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
| 訪問診療件数(件) | 目標 | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|           | 実績 | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 訪問看護件数(件) | 目標 | 1,600 | 1,616  | 1,632  | 1,648  | 1,664  | 1,664  |
|           | 実績 | 1,578 | 1,265  | 1,175  | 1,069  | 1,109  | 940    |

【経営状況の概要（前沢診療所）】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度   |       | 決算書   |       |       |       |  | 決算見込 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|------|
|             | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |  |      |
|             | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |  |      |
| 医 業 収 益     | 23    | 49    | 51    | 59    | 64    | 67    |  |      |
| (1) 入院収益    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (2) 外来収益    | 15    | 39    | 40    | 47    | 50    | 51    |  |      |
| (3) その他医業収益 | 8     | 10    | 11    | 12    | 14    | 15    |  |      |
| 医 業 費 用     | 120   | 206   | 183   | 186   | 186   | 187   |  |      |
| (1) 給与費     | 47    | 100   | 88    | 89    | 83    | 88    |  |      |
| (2) 材料費     | 1     | 8     | 8     | 8     | 9     | 9     |  |      |
| (3) 経費      | 40    | 67    | 57    | 58    | 63    | 59    |  |      |
| (4) 減価償却費   | 31    | 30    | 30    | 31    | 31    | 31    |  |      |
| (5) 資産減耗費   | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (6) 研究研修費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (7) 本部費配賦額  |       |       |       | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 医 業 利 益     | △ 97  | △ 158 | △ 132 | △ 127 | △ 122 | △ 120 |  |      |
| 医 業 外 収 益   | 174   | 169   | 152   | 149   | 149   | 131   |  |      |
| 医 業 外 費 用   | 18    | 19    | 19    | 17    | 17    | 16    |  |      |
| 5 訪問看護事業収益  | 0     | 0     | 12    | 12    | 12    | 10    |  |      |
| (1) 入院収益    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (2) 外来収益    | 0     | 0     | 12    | 12    | 12    | 10    |  |      |
| (3) その他医業収益 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 6 訪問看護事業費用  | 0     | 0     | 12    | 13    | 14    | 18    |  |      |
| (1) 給与費     | 0     | 0     | 11    | 12    | 12    | 17    |  |      |
| (2) 材料費     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (3) 経費      | 0     | 0     | 1     | 2     | 2     | 2     |  |      |
| (4) 減価償却費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (5) 資産減耗費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (6) 研究研修費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 7 訪問看護事業外収益 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     |  |      |
| 8 訪問看護事業外費用 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 経 常 利 益     | 58    | △ 8   | △ 0   | 4     | 8     | △ 13  |  |      |
| 特 別 利 益     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 特 別 損 失     | 3     | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     |  |      |
| 当年度純利益      | 56    | △ 8   | △ 0   | 3     | 7     | △ 13  |  |      |
| 前年度繰越欠損金    | △ 31  | 38    | △ 30  | △ 29  | △ 32  | △ 25  |  |      |
| 当年度未処理欠損金   | 25    | 30    | △ 30  | △ 27  | △ 25  | △ 37  |  |      |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分        | 年 度   |       | 決算書   |       |       |       |  | 決算見込 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|------|
|            | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |  |      |
|            | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |  |      |
| 資本的収入      | 35    | 36    | 48    | 39    | 35    | 39    |  |      |
| (1) 企業債    |       |       |       |       |       |       |  |      |
| (2) 出資金    | 35    | 36    | 48    | 39    | 35    | 39    |  |      |
| (3) 国・県補助金 |       |       |       |       |       |       |  |      |
| (4) その他    |       |       |       |       |       |       |  |      |
| 資本的支出      | 53    | 55    | 77    | 60    | 54    | 60    |  |      |
| (1) 建設改良費  |       | 1     | 23    | 5     | 1     | 6     |  |      |
| (2) 企業債償還金 | 53    | 54    | 54    | 55    | 53    | 54    |  |      |
| (3) その他    |       |       |       |       |       |       |  |      |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度   |       | 決算書   |       |       |       |  | 決算見込 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|------|
|       | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |  |      |
|       | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |  |      |
| 収益的収支 | 180   | 175   | 159   | 156   | 158   | 139   |  |      |
| 資本的収支 | 35    | 36    | 48    | 39    | 35    | 39    |  |      |
| 合 計   | 215   | 211   | 208   | 195   | 193   | 178   |  |      |



エ 衣川診療所

衣川診療所は有床診療所として19床の入院機能を有しています。しかし、医業収益における入院・外来の割合をみると、外来収益が約70%を占め、入院は約20%となっています。平成28年度より医業収益は減少傾向となっています。医業費用における給与費は一定であり、材料費のみ減少となっています。

医業利益は平成27年度から赤字傾向となっており、経常利益は平成29年度と令和元年度のみ赤字を計上しています。

【衣川診療所 目標・実績】

| 項目        | 年度 | 27年度   | 28年度   | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    |
|-----------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           |    |        |        |        |        |        |        |
| 医師数(人)    | 目標 | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      |
|           | 実績 | 2      | 2      | 2      | 2      | 1.95   | 1      |
| 入院患者数(人)  | 目標 | 1,654  | 2,183  | 2,117  | 2,150  | 2,150  | 2,150  |
|           | 実績 | 1,592  | 1,776  | 1,673  | 2,153  | 1,897  | 1,579  |
| 外来患者数(人)  | 目標 | 13,989 | 14,080 | 14,094 | 14,000 | 14,000 | 14,000 |
|           | 実績 | 13,852 | 13,684 | 13,760 | 13,230 | 12,041 | 10,476 |
| 入院診療単価(円) | 目標 | 17,951 | 17,951 | 17,951 | 17,951 | 17,951 | 17,951 |
|           | 実績 | 18,818 | 20,192 | 20,009 | 18,242 | 17,646 | 18,654 |
| 外来診療単価(円) | 目標 | 12,216 | 12,216 | 12,216 | 12,216 | 12,216 | 12,216 |
|           | 実績 | 11,648 | 12,114 | 11,087 | 10,109 | 10,064 | 9,996  |
| 病床利用率(%)  | 目標 | 23.8   | 31.5   | 30.5   | 31.0   | 30.9   | 30.9   |
|           | 実績 | 22.9   | 25.6   | 24.1   | 31.0   | 27.3   | 22.8   |
| 訪問診療件数(件) | 目標 | 36     | 36     | 48     | 48     | 48     | 48     |
|           | 実績 | 48     | 19     | 22     | 0      | 0      | 0      |
| 訪問看護件数(件) | 目標 | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|           | 実績 | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |

【経営状況の概要（衣川診療所）】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|             |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 医 業 収 益     |     | 211          | 222          | 208          | 197          | 179         | 159         |
| (1)入院収益     |     | 30           | 36           | 33           | 39           | 33          | 29          |
| (2)外来収益     |     | 161          | 166          | 153          | 134          | 121         | 105         |
| (3)その他医業収益  |     | 20           | 20           | 22           | 24           | 25          | 25          |
| 医 業 費 用     |     | 360          | 349          | 350          | 338          | 336         | 307         |
| (1)給与費      |     | 202          | 199          | 203          | 200          | 206         | 190         |
| (2)材料費      |     | 85           | 79           | 68           | 62           | 55          | 40          |
| (3)経費       |     | 44           | 41           | 49           | 47           | 49          | 53          |
| (4)減価償却費    |     | 28           | 30           | 30           | 28           | 25          | 23          |
| (5)資産減耗費    |     | 0            | 0            | 1            | 1            | 0           | 0           |
| (6)研究研修費    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (7)本部費配賦額   |     | 0            |              |              | 0            | 0           | 0           |
| 医 業 利 益     |     | △ 149        | △ 127        | △ 142        | △ 141        | △ 157       | △ 148       |
| 医 業 外 収 益   |     | 172          | 150          | 151          | 155          | 150         | 151         |
| 医 業 外 費 用   |     | 16           | 14           | 13           | 13           | 13          | 12          |
| 5 訪問看護事業収益  |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (1)入院収益     |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (2)外来収益     |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (3)その他医業収益  |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 6 訪問看護事業費用  |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (1)給与費      |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (2)材料費      |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (3)経費       |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (4)減価償却費    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (5)資産減耗費    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (6)研究研修費    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 7 訪問看護事業外収益 |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 8 訪問看護事業外費用 |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 経 常 利 益     |     | 8            | 9            | △ 4          | 0            | △ 20        | △ 8         |
| 特 別 利 益     |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 特 別 損 失     |     | 10           | 1            | 1            | 0            | 0           | 0           |
| 当年度純利益      |     | △ 2          | 8            | △ 5          | △ 0          | △ 20        | △ 9         |
| 前年度繰越欠損金    |     | 0            | △ 2          | 16           | 11           | 11          | △ 9         |
| 当年度未処理欠損金   |     | △ 2          | 16           | 11           | 11           | △ 9         | △ 18        |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分       | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-----------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|           |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 資本的収入     |     | 31           | 19           | 16           | 29           | 14          | 15          |
| (1)企業債    |     | 8            | 1            |              | 7            |             |             |
| (2)出資金    |     | 15           | 17           | 16           | 16           | 14          | 15          |
| (3)国・県補助金 |     | 8            | 1            |              | 7            | 0           |             |
| (4)その他    |     |              |              |              |              |             |             |
| 資本的支出     |     | 39           | 30           | 27           | 38           | 22          | 27          |
| (1)建設改良費  |     | 15           | 5            | 1            | 16           | 1           | 6           |
| (2)企業債償還金 |     | 24           | 25           | 26           | 23           | 21          | 21          |
| (3)その他    |     |              |              |              |              |             |             |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|       |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 収益的収支 |     | 143          | 123          | 124          | 124          | 126         | 125         |
| 資本的収支 |     | 15           | 17           | 16           | 16           | 14          | 15          |
| 合 計   |     | 158          | 140          | 140          | 140          | 140         | 140         |

オ 衣川歯科診療所

衣川歯科診療所は外来のみの歯科診療を行っています。そのため、医業収益の約80%は外来収益が占め、医業収益は平成28年度から減少傾向となっています。医業費用における給与費・材料費ともに減少傾向となっています。

医業利益は平成27年度から赤字傾向となっており、経常利益は平成28年度と令和元年度のみ赤字となっています。

【衣川歯科診療所 目標・実績】

| 項目        | 年度 |    | 27年度  | 28年度  | 29年度  | 30年度  | 元年度   | 2年度   |
|-----------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 目標 | 実績 |       |       |       |       |       |       |
| 医師数(人)    | 目標 |    | 1.0   | 1.4   | 1.4   | 1.2   | 1.0   | 1.0   |
|           | 実績 |    | 1.0   | 1.4   | 1.4   | 1.0   | 1.0   | 1.0   |
| 入院患者数(人)  | 目標 |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|           | 実績 |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 外来患者数(人)  | 目標 |    | 7,007 | 8,403 | 8,160 | 7,917 | 7,395 | 7,395 |
|           | 実績 |    | 7,211 | 7,003 | 6,713 | 6,779 | 5,997 | 5,370 |
| 入院診療単価(円) | 目標 |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|           | 実績 |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 外来診療単価(円) | 目標 |    | 7,412 | 7,555 | 7,555 | 7,555 | 7,555 | 7,555 |
|           | 実績 |    | 6,934 | 7,439 | 7,760 | 6,989 | 7,369 | 7,968 |
| 病床利用率(%)  | 目標 |    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|           | 実績 |    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 訪問診療件数(件) | 目標 |    | 12    | 12    | 12    | 12    | 24    | 24    |
|           | 実績 |    | 6     | 3     | 20    | 19    | 10    | 3     |
| 訪看護件数(件)  | 目標 |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|           | 実績 |    | 0     | 0     | 0     | 58    | 0     | 0     |

【経営状況の概要（衣川歯科診療所）】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度   |       | 決算書   |       |       |       |  | 決算見込 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|------|
|             | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |  |      |
|             | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |  |      |
| 医 業 収 益     | 59    | 61    | 58    | 57    | 55    | 54    |  |      |
| (1) 入院収益    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (2) 外来収益    | 50    | 52    | 49    | 47    | 44    | 43    |  |      |
| (3) その他医業収益 | 9     | 9     | 9     | 10    | 11    | 11    |  |      |
| 医 業 費 用     | 89    | 98    | 93    | 87    | 87    | 85    |  |      |
| (1) 給与費     | 69    | 77    | 73    | 65    | 64    | 65    |  |      |
| (2) 材料費     | 8     | 8     | 7     | 6     | 7     | 7     |  |      |
| (3) 経費      | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 7     |  |      |
| (4) 減価償却費   | 6     | 7     | 5     | 6     | 6     | 5     |  |      |
| (5) 資産減耗費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     |  |      |
| (6) 研究研修費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (7) 本部費配賦額  |       |       |       | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 医 業 利 益     | △ 30  | △ 37  | △ 35  | △ 30  | △ 32  | △ 31  |  |      |
| 医 業 外 収 益   | 42    | 34    | 42    | 40    | 35    | 36    |  |      |
| 医 業 外 費 用   | 3     | 3     | 3     | 2     | 3     | 2     |  |      |
| 5 訪問看護事業収益  | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (1) 入院収益    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (2) 外来収益    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (3) その他医業収益 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 6 訪問看護事業費用  | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (1) 給与費     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (2) 材料費     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (3) 経費      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (4) 減価償却費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (5) 資産減耗費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| (6) 研究研修費   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 7 訪問看護事業外収益 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 8 訪問看護事業外費用 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 経 常 利 益     | 9     | △ 6   | 4     | 7     | 0     | 3     |  |      |
| 特 別 利 益     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 特 別 損 失     | 4     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |  |      |
| 当年度純利益      | 5     | △ 6   | 4     | 7     | 0     | 3     |  |      |
| 前年度繰越欠損金    | 0     | 10    | △ 4   | △ 8   | △ 15  | △ 15  |  |      |
| 当年度未処理欠損金   | 5     | 4     | △ 8   | △ 15  | △ 15  | △ 18  |  |      |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分        | 年 度   |       | 決算書   |       |       |       |  | 決算見込 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|------|
|            | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |  |      |
|            | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |  |      |
| 資本的収入      | 7     | 11    | 9     | 4     | 7     | 10    |  |      |
| (1) 企業債    |       | 2     | 3     |       | 1     | 5     |  |      |
| (2) 出資金    | 7     | 6     | 4     | 4     | 4     | 5     |  |      |
| (3) 国・県補助金 |       | 2     | 3     |       | 1     |       |  |      |
| (4) その他    |       |       |       |       |       |       |  |      |
| 資本的支出      | 11    | 13    | 11    | 6     | 9     | 16    |  |      |
| (1) 建設改良費  | 2     | 5     | 5     | 0     | 3     | 10    |  |      |
| (2) 企業債償還金 | 9     | 9     | 6     | 6     | 6     | 6     |  |      |
| (3) その他    |       |       |       |       |       |       |  |      |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度   |       | 決算書   |       |       |       |  | 決算見込 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|------|
|       | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |  |      |
|       | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |  |      |
| 収益的収支 | 40    | 31    | 39    | 38    | 34    | 33    |  |      |
| 資本的収支 | 7     | 6     | 4     | 4     | 4     | 5     |  |      |
| 合 計   | 47    | 37    | 43    | 42    | 38    | 38    |  |      |

カ【経営状況の概要（医療局）】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|             |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 医 業 収 益     |     | 3,971        | 3,861        | 3,739        | 3,498        | 3,012       | 2,496       |
| (1)入院収益     |     | 2,094        | 2,006        | 1,931        | 1,750        | 1,388       | 1,043       |
| (2)外来収益     |     | 1,441        | 1,479        | 1,432        | 1,364        | 1,265       | 1,100       |
| (3)その他医業収益  |     | 437          | 375          | 377          | 384          | 359         | 353         |
| 医 業 費 用     |     | 4,839        | 5,047        | 5,020        | 4,755        | 4,545       | 4,215       |
| (1)給与費      |     | 2,889        | 3,029        | 3,015        | 2,829        | 2,733       | 2,477       |
| (2)材料費      |     | 806          | 765          | 740          | 706          | 594         | 435         |
| (3)経費       |     | 816          | 928          | 947          | 927          | 943         | 1,044       |
| (4)減価償却費    |     | 306          | 303          | 293          | 276          | 256         | 235         |
| (5)資産減耗費    |     | 9            | 8            | 14           | 5            | 6           | 13          |
| (6)研究研修費    |     | 13           | 13           | 13           | 11           | 12          | 7           |
| (7)本部費配賦額   |     | 0            | 0            | 0            | 1            | 1           | 3           |
| 医 業 利 益     |     | △ 868        | △ 1,186      | △ 1,281      | △ 1,257      | △ 1,534     | △ 1,719     |
| 医 業 外 収 益   |     | 1,115        | 1,335        | 1,366        | 1,250        | 1,296       | 1,479       |
| 医 業 外 費 用   |     | 177          | 173          | 794          | 165          | 166         | 159         |
| 5 訪問看護事業収益  |     | 0            | 0            | 45           | 54           | 61          | 66          |
| (1)入院収益     |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (2)外来収益     |     | 0            | 0            | 45           | 54           | 61          | 66          |
| (3)その他医業収益  |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 6 訪問看護事業費用  |     | 0            | 0            | 62           | 66           | 90          | 88          |
| (1)給与費      |     | 0            | 0            | 58           | 63           | 86          | 84          |
| (2)材料費      |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (3)経費       |     | 0            | 0            | 4            | 4            | 4           | 4           |
| (4)減価償却費    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (5)資産減耗費    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| (6)研究研修費    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 7 訪問看護事業外収益 |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 1           |
| 8 訪問看護事業外費用 |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 経 常 利 益     |     | 70           | △ 24         | △ 726        | △ 183        | △ 433       | △ 420       |
| 特 別 利 益     |     | 383          | 12           | 1            | 116          | 1           | 1           |
| 特 別 損 失     |     | 18           | 2            | 3            | 241          | 4           | 4           |
| 当年度純利益      |     | 435          | △ 14         | △ 729        | △ 308        | △ 436       | △ 423       |
| 前年度繰越欠損金    |     | 1,994        | 1,607        | 1,551        | 1,649        | 1,957       | 2,368       |
| 当年度未処理欠損金   |     | 1,587        | 1,619        | 1,649        | 1,962        | 2,368       | 2,747       |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分       | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-----------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|           |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 資本的収入     |     | 188          | 141          | 152          | 148          | 146         | 193         |
| (1)企業債    |     | 8            | 3            | 3            | 7            | 1           | 5           |
| (2)出資金    |     | 134          | 129          | 146          | 130          | 140         | 163         |
| (3)国・県補助金 |     | 46           | 8            | 4            | 12           | 5           | 25          |
| (4)その他    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 0           | 0           |
| 資本的支出     |     | 614          | 207          | 243          | 222          | 216         | 260         |
| (1)建設改良費  |     | 84           | 56           | 92           | 76           | 58          | 105         |
| (2)企業債償還金 |     | 530          | 151          | 150          | 146          | 144         | 148         |
| (3)その他    |     | 0            | 0            | 0            | 0            | 14          | 7           |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度 | 決算書          |              |              |              |             | 決算見込        |
|-------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|
|       |     | 2015年<br>H27 | 2016年<br>H28 | 2017年<br>H29 | 2018年<br>H30 | 2019年<br>R1 | 2020年<br>R2 |
| 収益的収支 |     | 1,646        | 1,406        | 1,459        | 1,435        | 1,398       | 1,357       |
| 資本的収支 |     | 134          | 129          | 146          | 130          | 140         | 163         |
| 合 計   |     | 1,780        | 1,535        | 1,605        | 1,565        | 1,537       | 1,520       |

2 数値目標及び事業収支計画

ア【総合水沢病院の数値目標及び事業収支計画】(令和7年度まで)

【総合水沢病院 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目        | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度   | R4年度   | R5年度   | R6年度   | R7年度   |
|-----------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 医師数(人)          | 14           | 10           | 10     | 10     | 10     | 10     | 10     |
| 入院患者数(人)        | 26,793       | 19,023       | 16,418 | 24,501 | 24,472 | 24,447 | 24,422 |
| 外来患者数(人)        | 64,353       | 51,309       | 47,169 | 47,453 | 48,595 | 48,759 | 49,188 |
| 平均在院日数(日)       | 19           | 19           | 19     | 19     | 19     | 19     | 19     |
| 紹介率(%)          | 62.7         | 49.8         | 50.0   | 52.0   | 52.0   | 52.0   | 52.0   |
| 救急車搬送患者数<br>(人) | 740          | 590          | 650    | 650    | 650    | 650    | 650    |
| 訪問診療件数(件)       | 552          | 426          | 450    | 450    | 480    | 500    | 500    |
| 訪問看護件数(件)       | 4,527        | 5,034        | 6,000  | 6,000  | 6,000  | 6,000  | 6,000  |

【総合水沢病院 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目            | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度   | R4年度   | R5年度   | R6年度   | R7年度   |
|---------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 入院診療単価(円)           | 37,833       | 37,265       | 26,449 | 29,147 | 30,404 | 30,477 | 30,543 |
| 外来診療単価(円)           | 11,054       | 11,785       | 12,581 | 12,627 | 12,664 | 12,680 | 12,710 |
| 病床利用率(%)            | 50.5         | 54.8         | 47.3   | 70.7   | 70.6   | 70.5   | 70.4   |
| 医業収支比率(%)           | 67.6         | 57.7         | 49.4   | 58.9   | 60.1   | 61.9   | 62.2   |
| 経常収支比率(%)           | 88.3         | 88.3         | 94.9   | 91.1   | 81.4   | 83.4   | 83.7   |
| 職員給与費対医業収<br>益比率(%) | 80.5         | 92.2         | 110.3  | 92.2   | 88.4   | 87.0   | 85.8   |
| 材料費対医業収<br>益比率(%)   | 22.2         | 19.4         | 25.3   | 21.3   | 20.7   | 20.3   | 22.8   |
| 訪問看護事業収<br>支比率(%)   | 61.6         | 79.7         | 75.8   | 75.8   | 75.8   | 75.8   | 75.8   |

【水沢病院 収支計画】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度 | 試算          |             |             |             |             |             |             |
|-------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|             |     | 決算見込        |             |             |             |             |             |             |
|             |     | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 |
| 医 業 収 益     |     | 1,463       | 1,306       | 1,565       | 1,610       | 1,638       | 1,645       | 新病院に統合      |
| (1)入院収益     |     | 686         | 434         | 714         | 744         | 745         | 746         |             |
| (2)外来収益     |     | 559         | 593         | 599         | 615         | 618         | 625         |             |
| (3)その他医業収益  |     | 218         | 279         | 252         | 251         | 275         | 274         |             |
| 医 業 費 用     |     | 2,555       | 2,689       | 2,679       | 2,701       | 2,666       | 2,665       |             |
| (1)給与費      |     | 1,432       | 1,527       | 1,518       | 1,496       | 1,496       | 1,482       |             |
| (2)材料費      |     | 293         | 346         | 346         | 346         | 346         | 390         |             |
| (3)経費       |     | 705         | 690         | 698         | 768         | 768         | 745         |             |
| (4)減価償却費    |     | 109         | 107         | 99          | 73          | 38          | 33          |             |
| (5)資産減耗費    |     | 8           | 6           | 6           | 6           | 6           | 5           |             |
| (6)研究研修費    |     | 6           | 12          | 12          | 12          | 12          | 9           |             |
| (7)本部費配賦額   |     | 2           | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           |             |
| 医 業 外 収 益   |     | △ 1,092     | △ 1,382     | △ 1,114     | △ 1,091     | △ 1,028     | △ 1,020     |             |
| 医 業 外 費 用   |     | 880         | 1,349       | 973         | 669         | 667         | 668         |             |
| 5 訪問看護事業収益  |     | 92          | 92          | 93          | 92          | 92          | 92          |             |
| (1)入院収益     |     | 46          | 61          | 61          | 61          | 61          | 61          |             |
| (2)外来収益     |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (3)その他医業収益  |     | 46          | 61          | 61          | 61          | 61          | 61          |             |
| 6 訪問看護事業費用  |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (1)給与費      |     | 58          | 81          | 81          | 81          | 81          | 81          |             |
| (2)材料費      |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (3)経費       |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (4)減価償却費    |     | 2           | 5           | 5           | 5           | 5           | 5           |             |
| (5)資産減耗費    |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (6)研究研修費    |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 7 訪問看護事業外収益 |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 8 訪問看護事業外費用 |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 経 常 利 益     |     | △ 316       | △ 145       | △ 253       | △ 534       | △ 472       | △ 463       |             |
| 特 別 利 益     |     | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           |             |
| 特 別 損 失     |     | 2           | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           |             |
| 当年度純利益      |     | △ 318       | △ 146       | △ 254       | △ 535       | △ 473       | △ 463       |             |
| 前年度繰越欠損金    |     | 1,937       | 2,255       | 2,401       | 2,655       | 3,190       | 3,662       |             |
| 当年度未処理欠損金   |     | 2,255       | 2,401       | 2,655       | 3,190       | 3,662       | 4,126       |             |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分       | 年 度 | 試算          |             |             |             |             |             |             |
|-----------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|           |     | 決算見込        |             |             |             |             |             |             |
|           |     | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 |
| 資本的収入     |     | 74          | 11          | 25          | 12          | 6           | 0           | 新病院に統合      |
| (1)企業債    |     |             |             |             |             |             |             |             |
| (2)出資金    |     | 51          | 11          | 25          | 12          | 6           | 0           |             |
| (3)国・県補助金 |     | 23          |             |             |             |             |             |             |
| (4)その他    |     |             |             |             |             |             |             |             |
| 資本的支出     |     | 77          | 20          | 47          | 21          | 9           | 0           |             |
| (1)建設改良費  |     | 69          | 13          | 39          | 13          | 0           | 0           |             |
| (2)企業債償還金 |     | 7           | 7           | 8           | 8           | 9           | 0           |             |
| (3)その他    |     |             |             |             |             |             |             |             |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度 | 試算          |             |             |             |             |             |             |
|-------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|       |     | 決算見込        |             |             |             |             |             |             |
|       |     | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 |
| 収益的収支 |     | 745         | 758         | 749         | 777         | 774         | 775         | 新病院に統合      |
| 資本的収支 |     | 51          | 11          | 25          | 12          | 6           | 0           |             |
| 合 計   |     | 796         | 770         | 773         | 789         | 780         | 775         |             |

イ 【まごころ病院の数値目標及び事業収支計画】（令和7年度まで）

【まごころ病院 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目        | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度   | R4年度   | R5年度   | R6年度   | R7年度   |
|-----------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 医師数(人)          | 8            | 8            | 8      | 8      | 8      | 8      | 8      |
| 入院患者数(人)        | 12,479       | 11,338       | 11,500 | 11,730 | 11,847 | 11,966 | 12,085 |
| 外来患者数(人)        | 51,111       | 45,144       | 39,400 | 41,370 | 42,197 | 43,041 | 43,902 |
| 平均在院日数(日)       | 18.4         | 17.9         | 17.9   | 17.9   | 17.9   | 17.9   | 17.9   |
| 紹介率(%)          | 16.2         | 22.3         | 22.3   | 22.3   | 22.3   | 22.3   | 22.3   |
| 救急車搬送患者数<br>(人) | 142          | 159          | 150    | 150    | 150    | 150    | 150    |
| 訪問診療件数(件)       | 1,502        | 1,533        | 1,550  | 1,575  | 1,600  | 1,625  | 1,650  |
| 訪問看護件数(件)       | 1,416        | 1,646        | 1,550  | 1,550  | 1,550  | 1,550  | 1,550  |

【まごころ病院 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目            | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度   | R4年度   | R5年度   | R6年度   | R7年度   |
|---------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 入院診療単価(円)           | 27,603       | 28,862       | 28,600 | 28,772 | 28,944 | 29,118 | 29,293 |
| 外来診療単価(円)           | 7,575        | 7,812        | 8,700  | 8,717  | 8,735  | 8,752  | 8,770  |
| 病床利用率(%)            | 71.0         | 64.7         | 65.6   | 67.0   | 67.6   | 68.3   | 69.0   |
| 医業収支比率(%)           | 76.4         | 72.8         | 73.6   | 75.7   | 77.9   | 80.0   | 82.8   |
| 経常収支比率(%)           | 93.6         | 92.2         | 93.5   | 94.3   | 96.5   | 98.6   | 101.6  |
| 職員給与費対医業収<br>益比率(%) | 79.7         | 83.5         | 86.0   | 83.9   | 81.5   | 79.3   | 76.3   |
| 材料費対医業収<br>益比率(%)   | 12.3         | 11.3         | 11.6   | 10.9   | 10.7   | 10.4   | 10.3   |
| 訪問看護事業収<br>支比率(%)   | 83.6         | 82.6         | 77.2   | 73.2   | 73.2   | 73.1   | 73.1   |



【まごころ病院 事業収支計画】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度 | 決算見込        | 試算          |             |             |             |             |             |
|-------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|             |     | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 |
| 医 業 収 益     |     | 750         | 751         | 768         | 787         | 801         | 814         | 新病院に統合      |
| (1) 入院収益    |     | 327         | 329         | 337         | 343         | 348         | 354         |             |
| (2) 外来収益    |     | 343         | 343         | 361         | 369         | 377         | 385         |             |
| (3) その他医業収益 |     | 80          | 79          | 70          | 75          | 75          | 75          |             |
| 医 業 費 用     |     | 1,030       | 1,020       | 1,014       | 1,010       | 1,001       | 983         |             |
| (1) 給与費     |     | 668         | 686         | 686         | 682         | 675         | 662         |             |
| (2) 材料費     |     | 86          | 88          | 85          | 85          | 85          | 85          |             |
| (3) 経費      |     | 203         | 180         | 185         | 186         | 187         | 185         |             |
| (4) 減価償却費   |     | 67          | 61          | 54          | 52          | 49          | 46          |             |
| (5) 資産減耗費   |     | 5           | 2           | 2           | 2           | 2           | 2           |             |
| (6) 研究研修費   |     | 1           | 3           | 3           | 3           | 3           | 3           |             |
| (7) 本部費配賦額  |     | 1           | 0           | 0           | 0           | 0           | 2           |             |
| 医 業 利 益     |     | △ 280       | △ 270       | △ 246       | △ 223       | △ 200       | △ 169       |             |
| 医 業 外 収 益   |     | 231         | 234         | 217         | 215         | 213         | 212         |             |
| 医 業 外 費 用   |     | 35          | 33          | 31          | 29          | 28          | 27          |             |
| 5 訪問看護事業収益  |     | 10          | 10          | 11          | 11          | 11          | 11          |             |
| (1) 入院収益    |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (2) 外来収益    |     | 10          | 10          | 11          | 11          | 11          | 11          |             |
| (3) その他医業収益 |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 6 訪問看護事業費用  |     | 12          | 13          | 15          | 15          | 15          | 15          |             |
| (1) 給与費     |     | 12          | 12          | 12          | 12          | 12          | 12          |             |
| (2) 材料費     |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (3) 経費      |     | 0           | 1           | 3           | 3           | 3           | 3           |             |
| (4) 減価償却費   |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (5) 資産減耗費   |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| (6) 研究研修費   |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 7 訪問看護事業外収益 |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 8 訪問看護事業外費用 |     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 経 常 利 益     |     | △ 86        | △ 71        | △ 63        | △ 41        | △ 19        | 12          |             |
| 特 別 利 益     |     | 1           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 特 別 損 失     |     | 0           | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           |             |
| 当年度純利益      |     | △ 85        | △ 72        | △ 64        | △ 41        | △ 20        | 11          |             |
| 前年度繰越欠損金    |     | 480         | 565         | 637         | 701         | 743         | 762         |             |
| 当年度未処理欠損金   |     | 565         | 637         | 701         | 743         | 762         | 751         |             |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分        | 年 度 | 決算見込        | 試算          |             |             |             |             |             |
|------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|            |     | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 |
| 資本的収入      |     | 48          | 55          | 47          | 48          | 50          | 46          | 新病院に統合      |
| (1) 企業債    |     |             |             |             |             |             |             |             |
| (2) 出資金    |     | 47          | 55          | 47          | 48          | 50          | 46          |             |
| (3) 国・県補助金 |     | 1           |             |             |             |             |             |             |
| (4) その他    |     |             |             |             |             |             |             |             |
| 資本的支出      |     | 73          | 71          | 73          | 75          | 77          | 71          |             |
| (1) 建設改良費  |     | 13          | 10          | 10          | 10          | 10          | 10          |             |
| (2) 企業債償還金 |     | 59          | 61          | 63          | 65          | 67          | 61          |             |
| (3) その他    |     |             |             |             |             |             |             |             |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度 | 決算見込        | 試算          |             |             |             |             |             |
|-------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|       |     | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 |
| 収益的収支 |     | 250         | 269         | 242         | 245         | 243         | 242         | 新病院に統合      |
| 資本的収支 |     | 47          | 55          | 47          | 48          | 50          | 46          |             |
| 合 計   |     | 296         | 323         | 289         | 294         | 293         | 288         |             |

ウ【前沢診療所の数値目標及び事業収支計画】（令和7年度まで）

【前沢診療所 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目  | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度  | R4年度  | R5年度  | R6年度  | R7年度  |
|-----------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 医師数(人)    | 1            | 1            | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| 外来患者数(人)  | 7,399        | 7,104        | 7,180 | 7,180 | 7,252 | 7,324 | 7,398 |
| 訪問看護件数(件) | 1,109        | 940          |       |       |       |       |       |

【前沢診療所 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目            | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度  | R4年度  | R5年度  | R6年度  | R7年度  |
|---------------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 外来診療単価(円)           | 7,218        | 7,678        | 7,713 | 7,790 | 7,868 | 7,947 | 8,026 |
| 医業収支比率(%)           | 37.8         | 37.6         | 36.8  | 37.6  | 38.8  | 39.6  | 40.4  |
| 経常収支比率(%)           | 103.5        | 94.2         | 95.2  | 99.4  | 101.2 | 102.3 | 103.3 |
| 職員給与費対医業収<br>益比率(%) | 117.4        | 126.7        | 109.0 | 110.7 | 107.3 | 105.6 | 103.8 |
| 材料費対医業収<br>益比率(%)   | 11.9         | 11.5         | 15.6  | 16.0  | 15.5  | 15.2  | 15.0  |
| 訪問看護事業収支比<br>率(%)   | 83.5         | 56.2         |       |       |       |       |       |

※訪問看護事業はR3～総合水沢病院へ

【前沢診療所 事業収支計画】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年 度 | 試算    |       |       |       |       |       |        |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
|             |     | 決算見込  |       |       |       |       |       |        |
|             |     | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年  |
|             | R2  | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    |        |
| 医 業 収 益     |     | 67    | 70    | 68    | 70    | 72    | 73    | 新病院に統合 |
| (1) 入院収益    |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (2) 外来収益    |     | 51    | 55    | 56    | 57    | 58    | 59    |        |
| (3) その他医業収益 |     | 15    | 14    | 12    | 13    | 13    | 13    |        |
| 医 業 費 用     |     | 187   | 189   | 181   | 181   | 180   | 180   |        |
| (1) 給与費     |     | 88    | 81    | 81    | 81    | 81    | 81    |        |
| (2) 材料費     |     | 9     | 11    | 11    | 11    | 11    | 11    |        |
| (3) 経費      |     | 59    | 64    | 59    | 59    | 59    | 59    |        |
| (4) 減価償却費   |     | 31    | 32    | 30    | 30    | 29    | 28    |        |
| (5) 資産減耗費   |     | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (6) 研究研修費   |     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |        |
| (7) 本部費配賦額  |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| 医 業 利 益     |     | △ 120 | △ 120 | △ 113 | △ 111 | △ 109 | △ 107 |        |
| 医 業 外 収 益   |     | 131   | 123   | 125   | 125   | 124   | 123   |        |
| 医 業 外 費 用   |     | 16    | 13    | 13    | 12    | 10    | 10    |        |
| 5 訪問看護事業収益  |     | 10    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (1) 入院収益    |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (2) 外来収益    |     | 10    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (3) その他医業収益 |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| 6 訪問看護事業費用  |     | 18    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (1) 給与費     |     | 17    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (2) 材料費     |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (3) 経費      |     | 2     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (4) 減価償却費   |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (5) 資産減耗費   |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (6) 研究研修費   |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| 7 訪問看護事業外収益 |     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| 8 訪問看護事業外費用 |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| 経 常 利 益     |     | △ 13  | △ 10  | △ 1   | 2     | 4     | 6     |        |
| 特 別 利 益     |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| 特 別 損 失     |     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| 当年度純利益      |     | △ 13  | △ 10  | △ 1   | 2     | 4     | 6     |        |
| 前年度繰越欠損金    |     | △ 25  | △ 37  | △ 47  | △ 49  | △ 47  | △ 43  |        |
| 当年度未処理欠損金   |     | △ 37  | △ 47  | △ 49  | △ 47  | △ 43  | △ 37  |        |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分        | 年 度 | 試算    |       |       |       |       |       |        |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
|            |     | 決算見込  |       |       |       |       |       |        |
|            |     | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年  |
|            | R2  | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    |        |
| 資本的収入      |     | 39    | 40    | 38    | 37    | 38    | 39    | 新病院に統合 |
| (1) 企業債    |     |       |       |       |       |       |       |        |
| (2) 出資金    |     | 39    | 40    | 38    | 37    | 38    | 39    |        |
| (3) 国・県補助金 |     |       |       |       |       |       |       |        |
| (4) その他    |     |       |       |       |       |       |       |        |
| 資本的支出      |     | 60    | 55    | 57    | 56    | 57    | 58    | 0      |
| (1) 建設改良費  |     | 6     |       | 0     | 0     | 0     | 0     |        |
| (2) 企業債償還金 |     | 54    | 55    | 57    | 56    | 57    | 58    |        |
| (3) その他    |     |       |       |       |       |       |       |        |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年 度 | 試算    |       |       |       |       |       |        |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
|       |     | 決算見込  |       |       |       |       |       |        |
|       |     | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年  |
|       | R2  | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    |        |
| 資本的収入 |     | 39    | 40    | 38    | 37    | 38    | 39    | 新病院に統合 |
| 収益的収支 |     | 139   | 133   | 165   | 134   | 132   | 153   |        |
| 資本的収支 |     | 39    | 40    | 38    | 37    | 38    | 39    |        |
| 合 計   |     | 178   | 173   | 203   | 171   | 170   | 192   |        |

エ【衣川診療所の数値目標及び事業収支計画】

【衣川診療所 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目        | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度   | R4年度  | R5年度  | R6年度  | R7年度   | R8年度  | R9年度  | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
|-----------------|--------------|--------------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 医師数(人)          | 1.95         | 1            | 1      | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| 入院患者数(人)        | 1,897        | 1,579        | 1,575  | 1,653 | 1,686 | 1,720 | 1,754  | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 外来患者数(人)        | 12,041       | 10,476       | 10,055 | 9,456 | 9,661 | 9,870 | 10,084 | 9,975 | 9,867 | 9,760 | 9,655 | 9,550 |
| 平均在院日数(日)       | 13.9         | 15.4         | 15.0   | 15.0  | 15.0  | 15.0  | 15.0   |       |       |       |       |       |
| 紹介率(%)          | 15.8         | 26.3         | 21.0   | 21.0  | 21.0  | 21.0  | 21.0   | 21.0  | 21.0  | 21.0  | 21.0  | 21.0  |
| 救急車搬送患者数<br>(人) | 10(受入6)      | 7(受入3)       | 8      | 9     | 10    | 10    | 10     |       |       |       |       |       |
| 訪問診療件数(件)       |              |              |        |       |       |       |        |       |       |       |       |       |

【衣川診療所 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目            | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度   | R4年度   | R5年度   | R6年度   | R7年度   | R8年度  | R9年度  | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
|---------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入院診療単価(円)           | 17,646       | 18,654       | 18,431 | 18,376 | 18,321 | 18,266 | 18,211 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 外来診療単価(円)           | 10,064       | 9,996        | 9,796  | 9,894  | 9,894  | 9,894  | 9,894  | 9,894 | 9,894 | 9,894 | 9,894 | 9,894 |
| 病床利用率(%)            | 27.3         | 22.8         | 22.7   | 23.8   | 24.3   | 24.8   | 25.3   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 医業収支比率(%)           | 53.3         | 51.8         | 52.2   | 49.9   | 50.9   | 50.9   | 53.6   | 55.6  | 54.5  | 53.5  | 52.5  | 52.0  |
| 経常収支比率(%)           | 94.3         | 97.3         | 98.8   | 94.8   | 96.8   | 96.7   | 101.7  | 107.4 | 106.5 | 105.1 | 104.4 | 104.2 |
| 職員給与費対医業収<br>益比率(%) | 107.4        | 111.6        | 109.2  | 114.0  | 110.7  | 110.5  | 101.3  | 90.3  | 92.2  | 94.1  | 96.0  | 97.8  |
| 材料費対医業収支比<br>率(%)   | 23.4         | 25.5         | 27.4   | 30.5   | 30.7   | 30.9   | 31.3   | 36.9  | 37.7  | 38.5  | 39.2  | 40.0  |

【衣川診療所 事業収支計画】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年度 | 試算    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             |    | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 |
|             |    | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   | R12   |
| 医 業 収 益     |    | 159   | 152   | 150   | 151   | 151   | 151   | 115   | 113   | 110   | 108   | 106   |
| (1)入院収益     |    | 29    | 29    | 30    | 31    | 31    | 32    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (2)外来収益     |    | 105   | 95    | 95    | 95    | 95    | 95    | 92    | 90    | 88    | 86    | 84    |
| (3)その他医業収益  |    | 25    | 27    | 25    | 25    | 25    | 24    | 23    | 23    | 23    | 23    | 23    |
| 医 業 費 用     |    | 307   | 291   | 300   | 296   | 296   | 281   | 207   | 206   | 206   | 206   | 204   |
| (1)給与費      |    | 190   | 178   | 183   | 179   | 179   | 165   | 109   | 109   | 109   | 109   | 109   |
| (2)材料費      |    | 40    | 42    | 46    | 46    | 47    | 47    | 42    | 42    | 42    | 42    | 42    |
| (3)経費       |    | 53    | 48    | 50    | 50    | 50    | 50    | 37    | 37    | 37    | 37    | 37    |
| (4)減価償却費    |    | 23    | 22    | 20    | 19    | 19    | 17    | 16    | 16    | 16    | 16    | 14    |
| (5)資産減耗費    |    | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (6)研究研修費    |    | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| (7)本部費配賦額   |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 医 業 利 益     |    | △ 148 | △ 139 | △ 150 | △ 145 | △ 145 | △ 131 | △ 92  | △ 94  | △ 96  | △ 98  | △ 98  |
| 医 業 外 収 益   |    | 151   | 148   | 146   | 147   | 146   | 146   | 117   | 116   | 115   | 115   | 115   |
| 医 業 外 費 用   |    | 12    | 12    | 12    | 11    | 11    | 11    | 9     | 9     | 8     | 8     | 8     |
| 5 訪問看護事業収益  |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (1)入院収益     |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (2)外来収益     |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (3)その他医業収益  |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 6 訪問看護事業費用  |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (1)給与費      |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (2)材料費      |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (3)経費       |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (4)減価償却費    |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (5)資産減耗費    |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (6)研究研修費    |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 7 訪問看護事業外収益 |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 8 訪問看護事業外費用 |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 経 常 利 益     |    | △ 8   | △ 4   | △ 16  | △ 10  | △ 10  | 5     | 16    | 14    | 11    | 9     | 9     |
| 特 別 利 益     |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 特 別 損 失     |    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 当年度純利益      |    | △ 9   | △ 4   | △ 16  | △ 10  | △ 10  | 5     | 16    | 14    | 11    | 9     | 9     |
| 前年度繰越欠損金    |    | △ 9   | △ 18  | △ 21  | △ 38  | △ 48  | △ 58  | △ 53  | △ 37  | △ 24  | △ 13  | △ 4   |
| 当年度未処理欠損金   |    | △ 18  | △ 21  | △ 38  | △ 48  | △ 58  | △ 53  | △ 37  | △ 24  | △ 13  | △ 4   | 5     |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分       | 年度 | 試算    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           |    | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 |
|           |    | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   | R12   |
| 資本的収入     |    | 15    | 22    | 13    | 13    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 11    | 7     |
| (1)企業債    |    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| (2)出資金    |    | 15    | 22    | 13    | 13    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 11    | 7     |
| (3)国・県補助金 |    |       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| (4)その他    |    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 資本的支出     |    | 27    | 39    | 20    | 20    | 20    | 21    | 21    | 22    | 22    | 21    | 14    |
| (1)建設改良費  |    | 6     | 18    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 14    | 14    |
| (2)企業債償還金 |    | 21    | 21    | 20    | 20    | 20    | 21    | 21    | 22    | 22    | 8     | 1     |
| (3)その他    |    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年度 | 試算    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       |    | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 |
|       |    | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   | R12   |
| 収益的収支 |    | 125   | 116   | 151   | 152   | 151   | 151   | 119   | 119   | 117   | 117   | 117   |
| 資本的収支 |    | 15    | 22    | 13    | 13    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 11    | 7     |
| 合 計   |    | 140   | 138   | 164   | 165   | 165   | 165   | 133   | 133   | 131   | 129   | 124   |

オ【衣川歯科診療所の数値目標及び事業収支計画】

【衣川歯科診療所 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目  | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度  | R4年度  | R5年度  | R6年度  | R7年度  | R8年度  | R9年度  | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
|-----------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 医師数(人)    | 1            | 1            | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| 外来患者数(人)  | 5,997        | 5,370        | 5,520 | 5,852 | 5,779 | 5,725 | 5,666 | 5,613 | 5,564 | 5,518 | 5,476 | 5,436 |
| 訪問診療件数(件) | 10           | 3            | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    |

【衣川歯科診療所 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目        | R1年度<br>(実績) | R2年度<br>(見込) | R3年度  | R4年度  | R5年度  | R6年度  | R7年度  | R8年度  | R9年度  | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
|-----------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 外来診療単価(円)       | 7,635        | 7,968        | 7,800 | 7,878 | 7,878 | 7,878 | 7,957 | 7,957 | 7,957 | 7,957 | 7,957 | 7,957 |
| 医業収支比率(%)       | 63.0         | 63.2         | 58.3  | 64.7  | 67.2  | 67.1  | 67.2  | 64.9  | 65.0  | 64.6  | 64.2  | 63.7  |
| 経常収支比率(%)       | 99.6         | 103.4        | 95.4  | 105.0 | 108.5 | 108.9 | 109.3 | 107.5 | 100.5 | 100.0 | 99.0  | 98.4  |
| 職員給与費対医業収益比率(%) | 109.6        | 114.2        | 113.6 | 110.4 | 105.7 | 106.6 | 106.6 | 112.2 | 113.0 | 114.0 | 114.7 | 115.4 |
| 材料費対医業収益比率(%)   | 12.5         | 12.2         | 12.1  | 12.0  | 11.8  | 11.9  | 11.9  | 12.5  | 12.6  | 12.7  | 12.8  | 12.9  |

【衣川歯科診療所 事業収支計画】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年度 | 決算見込        | 試算          |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
|-------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|             |    | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 | 2027年<br>R9 | 2028年<br>R10 | 2029年<br>R11 | 2030年<br>R12 |
| 医 業 収 益     |    | 54          | 54          | 55          | 56          | 55          | 55          | 53          | 52          | 52           | 51           | 51           |
| (1)入院収益     |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (2)外来収益     |    | 43          | 43          | 46          | 46          | 45          | 45          | 45          | 44          | 44           | 44           | 43           |
| (3)その他医業収益  |    | 11          | 11          | 9           | 10          | 10          | 10          | 8           | 8           | 8            | 8            | 8            |
| 医 業 費 用     |    | 85          | 92          | 86          | 83          | 83          | 82          | 81          | 80          | 80           | 80           | 80           |
| (1)給与費      |    | 65          | 65          | 65          | 63          | 63          | 63          | 63          | 63          | 63           | 63           | 63           |
| (2)材料費      |    | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7            | 7            | 7            |
| (3)経費       |    | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7           | 7            | 7            | 7            |
| (4)減価償却費    |    | 5           | 6           | 6           | 6           | 5           | 5           | 3           | 3           | 3            | 3            | 3            |
| (5)資産減耗費    |    | 1           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (6)研究研修費    |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (7)本部費配賦額   |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 医 業 利 益     |    | △ 31        | △ 39        | △ 30        | △ 27        | △ 27        | △ 27        | △ 28        | △ 28        | △ 28         | △ 29         | △ 29         |
| 医 業 外 収 益   |    | 36          | 36          | 37          | 36          | 37          | 37          | 36          | 30          | 30           | 29           | 29           |
| 医 業 外 費 用   |    | 2           | 2           | 2           | 2           | 2           | 2           | 2           | 2           | 1            | 1            | 1            |
| 5 訪問看護事業収益  |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (1)入院収益     |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (2)外来収益     |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (3)その他医業収益  |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 6 訪問看護事業費用  |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (1)給与費      |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (2)材料費      |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (3)経費       |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (4)減価償却費    |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (5)資産減耗費    |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (6)研究研修費    |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 7 訪問看護事業外収益 |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 8 訪問看護事業外費用 |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 経 常 利 益     |    | 3           | △ 4         | 4           | 7           | 8           | 8           | 6           | 0           | 0            | △ 1          | △ 1          |
| 特 別 利 益     |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 特 別 損 失     |    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 当年度純利益      |    | 3           | △ 4         | 4           | 7           | 8           | 8           | 6           | 0           | △ 0          | △ 1          | △ 1          |
| 前年度繰越欠損金    |    | △ 15        | △ 18        | △ 13        | △ 18        | △ 25        | △ 33        | △ 40        | △ 47        | △ 47         | △ 47         | △ 46         |
| 当年度未処理欠損金   |    | △ 18        | △ 13        | △ 18        | △ 25        | △ 33        | △ 40        | △ 47        | △ 47        | △ 47         | △ 46         | △ 45         |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分       | 年度 | 決算見込        | 試算          |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
|-----------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|           |    | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 | 2027年<br>R9 | 2028年<br>R10 | 2029年<br>R11 | 2030年<br>R12 |
| 資本的収入     |    | 10          | 4           | 4           | 4           | 4           | 4           | 5           | 4           | 10           | 2            | 2            |
| (1)企業債    |    | 5           |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| (2)出資金    |    | 5           | 4           | 4           | 4           | 4           | 4           | 5           | 4           | 10           | 2            | 2            |
| (3)国・県補助金 |    |             |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| (4)その他    |    |             |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| 資本的支出     |    | 16          | 6           | 7           | 7           | 7           | 7           | 8           | 7           | 18           | 3            | 3            |
| (1)建設改良費  |    | 10          | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 12           | 3            | 3            |
| (2)企業債償還金 |    | 6           | 6           | 7           | 7           | 7           | 7           | 8           | 7           | 6            | 1            | 1            |
| (3)その他    |    |             |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年度 | 決算見込        | 試算          |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
|-------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|       |    | 2020年<br>R2 | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 | 2027年<br>R9 | 2028年<br>R10 | 2029年<br>R11 | 2030年<br>R12 |
| 収益的収支 |    | 33          | 32          | 43          | 45          | 45          | 45          | 36          | 36          | 36           | 36           | 36           |
| 資本的収支 |    | 5           | 4           | 4           | 4           | 4           | 4           | 5           | 4           | 10           | 2            | 2            |
| 合 計   |    | 38          | 36          | 48          | 49          | 49          | 49          | 41          | 40          | 46           | 38           | 38           |

カ【新市立病院の数値目標及び事業収支計画】（令和8年度以降）

【新市立病院 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目        | R8年度   | R9年度   | R10年度  | R11年度  | R12年度  |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 医師数（人）          | 20     | 20     | 20     | 20     | 20     |
| 入院患者数（人）        | 39,277 | 40,232 | 40,185 | 40,138 | 40,092 |
| 外来患者数（人）        | 81,692 | 81,142 | 80,598 | 80,061 | 79,531 |
| 平均在院日数（日）       | 19     | 19     | 19     | 19     | 19     |
| 紹介率（％）          | 55.0   | 55.0   | 55.0   | 55.0   | 55.0   |
| 救急車搬送患者数<br>（人） | 700    | 700    | 700    | 700    | 700    |
| 訪問診療件数（件）       | 1,800  | 1,800  | 1,800  | 1,800  | 1,800  |
| 訪問看護件数（件）       | 7,000  | 7,000  | 7,000  | 7,000  | 7,000  |

【新市立病院 医療機能数値目標】

| 年度<br>項目            | R8年度   | R9年度   | R10年度  | R11年度  | R12年度  |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 入院診療単価（円）           | 39,405 | 38,796 | 38,863 | 38,926 | 39,080 |
| 外来診療単価（円）           | 12,370 | 12,653 | 12,775 | 12,946 | 12,694 |
| 病床利用率（％）            | 88.6   | 91.9   | 91.7   | 91.6   | 91.5   |
| 医業収支比率（％）           | 76.2   | 76.2   | 76.3   | 77.1   | 76.5   |
| 経常収支比率（％）           | 94.8   | 93.2   | 93.0   | 94.0   | 93.4   |
| 職員給与費対医業収<br>益比率（％） | 69.6   | 67.8   | 67.8   | 66.5   | 67.0   |
| 材料費対医業収益比<br>率（％）   | 14.7   | 14.6   | 14.5   | 14.5   | 14.6   |
| 訪問看護事業収支比<br>率（％）   | 75.2   | 83.9   | 83.9   | 83.9   | 83.9   |



【新市立病院 事業収支計画】

収益的収支

(単位：百万円)

| 年度区分        | 年 | 試算          |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
|-------------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|             |   | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 | 2027年<br>R9 | 2028年<br>R10 | 2029年<br>R11 | 2030年<br>R12 |
| 医業収益        |   |             |             |             |             |             | 2,838       | 2,868       | 2,870        | 2,878        | 2,855        |
| (1)入院収益     |   |             |             |             |             |             | 1,548       | 1,561       | 1,562        | 1,562        | 1,567        |
| (2)外来収益     |   |             |             |             |             |             | 1,011       | 1,027       | 1,030        | 1,036        | 1,010        |
| (3)その他医業収益  |   |             |             |             |             |             | 280         | 280         | 278          | 279          | 278          |
| 医業費用        |   |             |             |             |             |             | 3,822       | 3,865       | 3,858        | 3,824        | 3,822        |
| (1)給与費      |   |             |             |             |             |             | 2,116       | 2,088       | 2,088        | 2,056        | 2,056        |
| (2)材料費      |   |             |             |             |             |             | 429         | 429         | 429          | 429          | 429          |
| (3)経費       |   |             |             |             |             |             | 782         | 782         | 782          | 782          | 782          |
| (4)減価償却費    |   |             |             |             |             |             | 485         | 555         | 549          | 547          | 545          |
| (5)資産減耗費    |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (6)研究研修費    |   |             |             |             |             |             | 9           | 9           | 9            | 9            | 9            |
| (7)本部費配賦額   |   |             |             |             |             |             | 2           | 2           | 2            | 2            | 2            |
| 医業利益        |   |             |             |             |             |             | △ 984       | △ 997       | △ 989        | △ 947        | △ 968        |
| 医業外収益       |   |             |             |             |             |             | 762         | 772         | 761          | 762          | 760          |
| 医業外費用       |   |             |             |             |             |             | 124         | 122         | 122          | 121          | 122          |
| 5 訪問看護事業収益  |   |             |             |             |             |             | 69          | 77          | 77           | 77           | 77           |
| (1)入院収益     |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (2)外来収益     |   |             |             |             |             |             | 69          | 77          | 77           | 77           | 77           |
| (3)その他医業収益  |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 6 訪問看護事業費用  |   |             |             |             |             |             | 92          | 92          | 92           | 92           | 92           |
| (1)給与費      |   |             |             |             |             |             | 87          | 87          | 87           | 87           | 87           |
| (2)材料費      |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (3)経費       |   |             |             |             |             |             | 5           | 5           | 5            | 5            | 5            |
| (4)減価償却費    |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (5)資産減耗費    |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (6)研究研修費    |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 7 訪問看護事業外収益 |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 8 訪問看護事業外費用 |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| 経常利益        |   |             |             |             |             |             | △ 369       | △ 362       | △ 364        | △ 321        | △ 345        |
| 特別利益        |   |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| 特別損失        |   |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| 当年度純利益      |   |             |             |             |             |             | △ 369       | △ 362       | △ 364        | △ 321        | △ 345        |
| 前年度繰越欠損金    |   |             |             |             |             |             | 4,840       | 5,209       | 5,571        | 5,935        | 6,256        |
| 当年度未処理欠損金   |   |             |             |             |             |             | 5,209       | 5,571       | 5,935        | 6,256        | 6,601        |

資本的収支

(単位：百万円)

| 年度区分      | 年 | 試算          |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
|-----------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|           |   | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 | 2027年<br>R9 | 2028年<br>R10 | 2029年<br>R11 | 2030年<br>R12 |
| 資本的収入     |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 149          | 152          | 233          |
| (1)企業債    |   |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| (2)出資金    |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 149          | 152          | 233          |
| (3)国・県補助金 |   |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| (4)その他    |   |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
| 資本的支出     |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 297          | 304          | 466          |
| (1)建設改良費  |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 0            | 0            | 0            |
| (2)企業債償還金 |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 297          | 304          | 466          |
| (3)その他    |   |             |             |             |             |             |             |             |              |              |              |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 年度区分  | 年 | 試算          |             |             |             |             |             |             |              |              |              |
|-------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|       |   | 2021年<br>R3 | 2022年<br>R4 | 2023年<br>R5 | 2024年<br>R6 | 2025年<br>R7 | 2026年<br>R8 | 2027年<br>R9 | 2028年<br>R10 | 2029年<br>R11 | 2030年<br>R12 |
| 収益的収支 |   |             |             |             |             |             | 848         | 858         | 845          | 847          | 845          |
| 資本的収支 |   |             |             |             |             |             | 0           | 0           | 149          | 152          | 233          |
| 合計    |   |             |             |             |             |             | 848         | 858         | 994          | 999          | 1,078        |

キ【市立医療施設全体の事業収支計画 ※経営管理部を含む】

収益的収支

(単位：百万円)

| 区 分         | 年度      |         | 試算      |         |         |         |         |         |         |         |         |       |       |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
|             | 決算見込    |         | 2020年   | 2021年   | 2022年   | 2023年   | 2024年   | 2025年   | 2026年   | 2027年   | 2028年   | 2029年 | 2030年 |
|             | R2      | R3      | R4      | R5      | R6      | R7      | R8      | R9      | R10     | R11     | R12     |       |       |
| 医 業 収 益     | 2,496   | 2,334   | 2,608   | 2,675   | 2,717   | 2,742   | 3,008   | 3,036   | 3,034   | 3,040   | 3,015   |       |       |
| (1)入院収益     | 1,043   | 792     | 1,082   | 1,118   | 1,125   | 1,132   | 1,548   | 1,561   | 1,562   | 1,562   | 1,567   |       |       |
| (2)外来収益     | 1,100   | 1,130   | 1,157   | 1,181   | 1,193   | 1,210   | 1,148   | 1,161   | 1,161   | 1,166   | 1,136   |       |       |
| (3)その他医業収益  | 353     | 412     | 369     | 376     | 400     | 400     | 313     | 314     | 311     | 312     | 311     |       |       |
| 医 業 費 用     | 4,215   | 4,343   | 4,324   | 4,335   | 4,288   | 4,243   | 4,163   | 4,197   | 4,190   | 4,156   | 4,152   |       |       |
| (1)給与費      | 2,477   | 2,581   | 2,576   | 2,545   | 2,538   | 2,494   | 2,330   | 2,294   | 2,294   | 2,262   | 2,262   |       |       |
| (2)材料費      | 435     | 493     | 494     | 495     | 495     | 539     | 478     | 478     | 478     | 478     | 478     |       |       |
| (3)経費       | 1,044   | 1,008   | 1,020   | 1,090   | 1,090   | 1,056   | 838     | 838     | 838     | 838     | 838     |       |       |
| (4)減価償却費    | 235     | 228     | 209     | 179     | 140     | 129     | 505     | 574     | 568     | 566     | 562     |       |       |
| (5)資産減耗費    | 13      | 9       | 8       | 8       | 8       | 7       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| (6)研究研修費    | 7       | 17      | 17      | 17      | 17      | 14      | 10      | 10      | 10      | 10      | 10      |       |       |
| (7)本部費配賦額   | 3       | 2       | 2       | 2       | 1       | 3       | 3       | 3       | 3       | 3       | 3       |       |       |
| 医 業 利 益     | △ 1,719 | △ 2,009 | △ 1,716 | △ 1,660 | △ 1,571 | △ 1,502 | △ 1,155 | △ 1,161 | △ 1,155 | △ 1,116 | △ 1,137 |       |       |
| 医 業 外 収 益   | 1,479   | 1,952   | 1,562   | 1,255   | 1,251   | 1,258   | 967     | 962     | 950     | 951     | 948     |       |       |
| 医 業 外 費 用   | 159     | 154     | 152     | 147     | 145     | 165     | 136     | 134     | 133     | 132     | 132     |       |       |
| 5 訪問看護事業収益  | 66      | 71      | 72      | 72      | 72      | 72      | 69      | 77      | 77      | 77      | 77      |       |       |
| (1)入院収益     | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| (2)外来収益     | 66      | 71      | 72      | 72      | 72      | 72      | 69      | 77      | 77      | 77      | 77      |       |       |
| (3)その他医業収益  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| 6 訪問看護事業費用  | 88      | 94      | 96      | 96      | 96      | 96      | 92      | 92      | 92      | 92      | 92      |       |       |
| (1)給与費      | 84      | 88      | 88      | 88      | 88      | 88      | 87      | 87      | 87      | 87      | 87      |       |       |
| (2)材料費      | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| (3)経費       | 4       | 6       | 8       | 8       | 8       | 8       | 5       | 5       | 5       | 5       | 5       |       |       |
| (4)減価償却費    | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| (5)資産減耗費    | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| (6)研究研修費    | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| 7 訪問看護事業外収益 | 1       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| 8 訪問看護事業外費用 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| 経 常 利 益     | △ 420   | △ 234   | △ 330   | △ 575   | △ 489   | △ 431   | △ 347   | △ 347   | △ 353   | △ 312   | △ 336   |       |       |
| 特 別 利 益     | 1       | 1       | 1       | 1       | 1       | 1       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| 特 別 損 失     | 4       | 3       | 3       | 3       | 3       | 3       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |       |       |
| 当年度純利益      | △ 423   | △ 236   | △ 332   | △ 577   | △ 491   | △ 434   | △ 347   | △ 347   | △ 353   | △ 312   | △ 337   |       |       |
| 前年度繰越欠損金    | 2,368   | 2,747   | 2,955   | 3,252   | 3,813   | 4,292   | 4,747   | 5,125   | 5,501   | 5,875   | 6,206   |       |       |
| 当年度未処理欠損金   | 2,747   | 2,955   | 3,252   | 3,813   | 4,292   | 4,747   | 5,125   | 5,501   | 5,875   | 6,206   | 6,561   |       |       |

資本的収支

(単位：百万円)

| 区 分       | 年度   |     | 試算    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-----------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 決算見込 | 予算書 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 |
|           | R2   | R3  | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   | R12   |       |       |
| 資本的収入     | 193  | 163 | 138   | 308   | 4,062 | 5,131 | 46    | 46    | 184   | 176   | 253   |       |       |
| (1)企業債    | 5    | 0   | 0     | 136   | 2,955 | 3,749 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |       |       |
| (2)出資金    | 163  | 163 | 138   | 172   | 1,107 | 1,382 | 46    | 46    | 184   | 176   | 253   |       |       |
| (3)国・県補助金 | 25   | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |       |       |
| (4)その他    | 0    | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |       |       |
| 資本的支出     | 260  | 223 | 214   | 373   | 4,121 | 5,185 | 56    | 56    | 348   | 339   | 495   |       |       |
| (1)建設改良費  | 105  | 41  | 49    | 205   | 3,950 | 5,011 | 0     | 0     | 12    | 17    | 17    |       |       |
| (2)企業債償還金 | 148  | 151 | 155   | 157   | 160   | 147   | 29    | 29    | 325   | 312   | 467   |       |       |
| (3)その他    | 7    | 31  | 11    | 11    | 11    | 27    | 27    | 27    | 11    | 11    | 11    |       |       |

一般会計繰出金

(単位：百万円)

| 区 分   | 年度    |       | 試算    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 決算見込  | 予算書   | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 |
|       | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   | R12   |       |       |
| 収益的収支 | 1,357 | 1,369 | 1,411 | 1,414 | 1,406 | 1,428 | 1,053 | 1,055 | 1,041 | 1,042 | 1,040 |       |       |
| 資本的収支 | 163   | 163   | 138   | 172   | 1,107 | 1,382 | 46    | 46    | 184   | 176   | 253   |       |       |
| 合 計   | 1,520 | 1,532 | 1,549 | 1,586 | 2,513 | 2,810 | 1,099 | 1,101 | 1,224 | 1,218 | 1,293 |       |       |